

2016年度  
調査委員会報告書

2017年12月

調査委員会

## 【目次】

	ページ
00-はじめに	..... 1
01- eラーニング ユーザー面接調査「企業のeラーニングと人材育成戦略」	..... 2
① アクサ生命保険株式会社(2017年2月実施)	..... 3
② 株式会社ドミノ・ピザジャパン(2017年3月実施)	..... 7
01-「生活者のeラーニング利用状況実態調査」<第3回>(2017年3月実施) (2016年度および2016-15年度トレンド)	..... 13
・会社での利用	
・学校での利用	
・個人での利用	
・今後の利用	

## はじめに

本報告書は2016年度に日本イーラーニングコンソシアムの調査委員会が実施した調査結果をまとめたものです。

調査委員会では毎年定点観測として、eラーニングについての広く一般的な認知度、利活用の状況の調査を行ってきました。2016年度はこうした活動に加え、定量的な調査だけでは見えてこない、eラーニングの結果、成果を具体的にどのように活用しているのかについて、実際に2社を訪問しヒアリング調査を行いました。その結果も本報告書に含んでいますので是非ご覧ください。

本報告書がeラーニングに関わる、もしくは興味のあるすべての皆様に対し、有益な情報をご提供しご判断の一助なることができれば望外の喜びです。

調査委員会  
委員長 小橋岳史

## 01- eラーニング ユーザー面接調査

### 「企業のeラーニングと人材育成戦略」

- ① アクサ生命保険株式会社(2017年2月実施)
- ② 株式会社ドミノ・ピザジャパン(2017年3月実施)

## eラーニング ユーザー面接調査「企業のeラーニングと人材育成戦略」- その1: 『アクサ生命保険』



- ◆ 企業名：アクサ生命保険株式会社  
(AXA Life Insurance Co., Ltd.)
- ◆ 面接場所：本社（東京・港区白金）
- ◆ 被面接者：営業教育部 トレーニングナレッジグループ  
グループマネージャー 井上雅暢氏  
リーダー 山本恭子氏

- ◆ 面接日：2017年2月15日（水）
- ◆ 面接者：eLC 調査委員会  
小橋委員長  
小林委員  
高橋委員

### ◆ 保険業界とグローバル企業としての背景

AXA(アクサ)は、フランスに本社を置く生命保険および損害保険のグローバル企業で、この8年間、“世界No. 1の保険ブランド”の座を誇っている。日本におけるアクサ生命保険株式会社(以下、アクサ生命様)は1994年に設立され、2000年には日本団体生命と経営統合した。以降、日本団体生命から引き継いだ全国500以上の商工会議所および、大企業、官公庁との長期にわたるパートナーシップを基盤として、その他の中小企業や個人顧客を含めて幅広い保険ビジネスを展開している。今回の調査では、営業部門の研修を担当する営業教育部から、トレーニングナレッジGの井上グループマネージャーと山本リーダーのお二人から話をうかがった。



全国に拠点を持つアクサ生命様において、効果的かつ効率的にトレーニングを供給することは重要課題であった。「現行のeラーニングシステムを導入するまでは、研修と言えば受講者を集めるか講師が出向くかのいずれかの方法しかなく、十分とは言えない状況が続いていました」と当時を振り返る。

学習用のコンテンツとして今後映像が活用されるであろうことに着目し、システムの入替を行ったのが2013年10月。

当初は受講必須の研修に活用することで、システムに慣れてもらうことから取り組みが始まった。

#### ◆ 必要な時にいつでも受講ができる研修のモジュール化を目指して

生命保険営業として必要な知識・スキルを身につけるためには、どのようなコンテンツが必要なのかを念頭に置きながら、試行錯誤しつつコンテンツの制作を行っていった。

当初は既存のコンテンツも購入したが、アクサ生命様のスタイルには合わないことがわかり、ほとんどすべてのコンテンツを社内で企画する形となった。今では信頼できる制作会社と、スムーズにコミュニケーションが取れるようになったが、お互いに手探りの状態からのスタートだった。

ロールプレイングの教材では、営業教育部のスタッフ自身が出演し、製作会社から演技のアドバイスを受けながら撮影を行うこともあった。そんな中でも志は高く「必要な時にいつでも受講できる」ことを目指し、トレーナーへのアンケートなどを行いつつコンテンツの拡充と改善を続けた。

2014年5月の教育ITソリューションでは、「eラーニングで生命保険営業を変える！」と題して営業教育部長が講演を行うなど、eラーニングに対するなみなみならぬ思いが感じられる。

#### ◆ 現在は量から質への転換によって充実期に移行中

2014年から急速に推し進めてきたコンテンツの拡充の結果、現在では222コンテンツを数えるまでとなった。内容は商品説明にとどまらず外部講師による講義やロールプレイング映像など多様で、アニメーションも採用されている。また、会社のパソコンだけでなく、タブレット・スマートフォンによる社外での受講も可能とすることで、営業先に訪問する直前に、商品概要や提案のポイントをチェックすることもできる。また、時間外に学習したいという意欲のある社員のために、個人所有の端末からでも、いつでも自由に閲覧できるしくみとなっている。

さらに、自学自習だけにとどまらず、集合研修やWebを活用したLive配信研修との融合が積極的に行われるようになってきた。具体的には、集合研修の事前学習に使用され、集合研修に参加する前に、その前提となる知識をeラーニングによって学習してから参加する立てつけにしたり、集合研修の中で外部講師や専門的なトレーナーによる講義映像、またはロールプレイング映像などを組み合わせた研修も実施されている。

こうした取り組みの結果運営コストの面では、「eラーニングの採用によって2016年には2013年の2割程度の削減が実現できました」と説明した。営業教育部は「コンテンツ数は既に十分な状況に達していることから、最近では質の充実に目を向けるようにしています」と、量から質への転換期に入ったことを認識している。



AXAのมาสคอตキャラクター  
「保険をくるりと変える」

## ◆ 変額保険の積極販売

アクサ生命様は、お客さまの自助努力を支え、安心でより良い人生の実現に貢献するために、「保障と資産形成の再定義」という取り組みのもと、変額保険の提案に取り組んできた。しかしながら、この変額保険の販売には一般の保険商品と比べるとかなり高い知識とスキルが求められる。そこで「業界共通の資格試験に加えて独自の認定制度を設け、その認定者しか変額保険商品を買ってはいけない」という厳しいルールを社内にした。それを受けて営業教育部は、eラーニングによる12単元の研修プラス認定テストによるカリキュラムを組んで実施しており、その結果、2016年6月～12月期でほぼ100%の営業マンを合格に導いた。

## ◆ 社内におけるeラーニングの浸透

このようにアクサ生命様ではeラーニングを活用した研修が、着実に社内に浸透してきている。「ミーティングなどで研修方法について検討していると『その研修はeラーニングではできないのですか？』といった発言が必ずと言っていいほど出てきます」と言われるほど、今や社内ではなくてはならないツールとして認知されている。

実際に、年8回営業スタッフ全員に対して実施される「継続研修」、先述の変額保険販売資格者に対する年4回の「特定保険契約継続研修」はeラーニングを通じて行われ、毎回受講率が100%となるまで徹底した受講管理が行われている。



AXAはブラインドサッカーを支援。  
ボールの中に鈴が入っている。

## ◆ 募集代理店へのeラーニングへの展開

さらに、次のステップとして募集代理店に対してのeラーニングの導入を進めている。現在、募集代理店は複数の保険会社の商品が取扱可能な乗合代理店が主流となっている。営業教育部では、競合他社への差別化戦略の一つとして、「トレーニングによって選ばれる会社」を掲げている。現在行われている、経験豊かなトレーナーによる集合研修に加え、直販社員向けに蓄積した様々なバリエーションのeラーニングコンテンツを提供することで、代理店にとって「最高のパートナー」となることを目指して、2017年中の稼働に向け開発を進めている。

## ◆ 今後の課題は研修・教育効果の評価システムの確立

ただし、「順風満帆と言うわけではなく、課題が存在するのも現実です」との話も聞くことができた。その一つに、研修や教育の効果を評価するシステムが完成していない点がある。従来から集合研修の最後には理解度テストやアンケートを実施し、その結果を分析してその後に活用することは無論行なわれている。しかしながら、「研修内容と業績や営業成績との相関関係を分析する効果測定が十分に行われているとは言えません。」と言う。

その他、受講者同志のコミュニティの創設、受講者が一目で自分の進捗度合を確認できるインターフェースの導入など、研修におけるデジタルの効果を最大限に発揮できるインフラ整備・トレーニング体系の構築を日々模索している。

## ◆ 企業プロフィール

### 【アクサ生命保険株式会社(2016年10月時点)】

- ・ 本 社 : 東京都港区白金1-17-3  
NBFプラチナタワー
- ・ ホームページ : [www.axa.co.jp/](http://www.axa.co.jp/)
- ・ 社 員 数 : 7,774人
- ・ 営業社員数 : 5,577人
- ・ 代理店等 : 2,688代理店、29提携金融機関
- ・ 顧 客 数 : 約233万人
- ・ 保有契約数 : 約400万件
- ・ 顧客基盤 : 商工会議所、大企業、官公庁

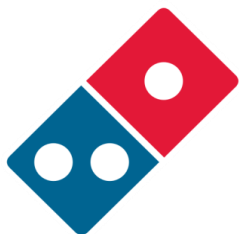
### 【AXAグループ(2015年指標)】

- ・ 本 社 : フランス
- ・ 総 売 上 高 : 13.3兆円
- ・ 総 顧 客 数 : 1億300万人
- ・ 展 開 国 数 : 64カ国
- ・ 従 業 員 数 : 16万6千人

- ・ 沿 革 :  
1994年 アクサ生命設立  
1998年 アクサ損害保険  
(アクサダイレクト)設立  
2000年 日本団体生命と経営統合し、  
現在に至る。



## eラーニング ユーザー面接調査「企業のeラーニングと人材育成戦略」- その2 : 『ドミノ・ピザ ジャパン』



- ◆ 企業名：株式会社ドミノ・ピザ ジャパン  
(Domino's Pizza Japan, Inc.)
- ◆ 面接場所：本社（東京・千代田区岩本町）
- ◆ 被面接者：Domino's University  
課長 小原健一氏

- ◆ 面接日：2017年3月8日(水)
- ◆ 面接者：eLC 調査委員会  
小橋委員長  
小林委員  
高橋委員

### ◆ スコット・オルカー社長によるフランチャイズ戦略の始動によって今日のeラーニングが誕生！



今からさかのぼること32年前の1985年、ハワイ生まれの日系3世ヒガ・アーネスト・マツオ氏の株式会社ヒガ・インダストリーズが米国ドミノ・ピザ社とライセンス契約を結び、東京・恵比寿に第1号店をオープン。これが我が国における宅配ピザチェーンの始まりである。その四半世紀後の2010年、スコット・オルカー氏が代表取締役社長に就任し、翌年2011年に株式会社ドミノ・ピザ ジャパンが設立されて今日に至っている。多店舗展開しているチェーンでは人材育成が重要なことは言うまでもない。そこで今回の調査では、株式会社ドミノ・ピザ ジャパン様においてeラーニングを担当されているDomino's Universityの小原健一課長からお話をうかがった。

ドミノ・ピザ ジャパン様は、現在では業界トップの座に君臨しているものの2010年の設立当時には、後発のピザーラに首位の座を譲り渡し、ピザハットに次ぐ第3位となっていた。小原様は「その後首位に返り咲いたのは、売上拡大にはFC(フランチャイズ)展開による店舗拡大とデリバリーサービスからキャリアアウトビジネス(※)へのビジネス転換が重要課題であると考えたオルカー社長の新戦略の成果でした」と振り返る。そしてそれを支えた柱の一つが、大量のアルバイトや社員を効果的・効率的に教育するために独自に開発した“マンモス”と称されるeラーニングプログラムであった。

※:来店してお客様に商品を持ち帰ってもらう形態。リロケーションや新店舗はロードサイト等の目立つ場所へ出展している。

#### ◆ “マンモス”は前任の課長による命名

2000年に店舗教育のプログラムを全面的に変えていくという大方針によって壮大なプロジェクトが始まった。以前に流行っていたアニメの“ギャートルズ”からヒントを得たそうで、壮大なプロジェクトを巨大な動物のマンモスに例え、原始人がマンモスの肉を少しずつ食べていくように、教育プログラムも少しずつコツコツと作り上げていこうという狙いがあったそうである。



#### ◆ FC戦略による店舗拡大においてアルバイトの高い離職率をどう克服するか!?

各店舗には正社員の店長が1人いて、その他は例外店舗を除いてすべてがアルバイトで構成されている。無論、店長1人ではすべての営業日、営業時間帯を見切れないので、アルバイトの中から“時間帯責任者”を任命して店長を補佐する体制が作られている。

店長は平均24、25歳と若い。現場は兎にも角にも実力主義のもようで、「高校出たての18歳の女性店長もいます。彼女は高校時代のアルバイトを経て入社して店長になり、年上のアルバイトを指導しながら活躍しています」と、小原様は希少な例を紹介してくれた。

アルバイトの人数は1店舗20~30人程度である。しかしながら、そのアルバイトに関しては「離職率が極めて高く、会社としては出来るだけ長期間働いて欲しいと願ってはいますが、業界では決して珍しくはないのが現実です」と小原様は現場の苦勞を明かす。したがってそれを前提とした教育計画を立てなくてはならない。

アルバイトが辞める原因については様々で、「当社は挨拶や礼儀などが厳しいので、それも考えられますが、バイトさん側の事情もあるようで、例えば年末には人数が最も多いのですが、2月、3月あたりが少なくなり、4月に入ると再び増えていくといった感じです。これには学校の入学や休みの時期、さらには卒業、就職などとも関係があるようです。それに最近では採用自体が厳しくなっています」と説明を加えた。また、店長のコミュニケーション力がアルバイトの満足(長期間勤務)や不満(離職)に影響するケースもあるとのことである。

このような状況において、「FC戦略による店舗展開地域の拡大と店舗数の増加に対応していくには早期育成プログラムが必要で、集合研修では立ち行かなくなったことは言うまでもありません。取り分け地方展開を推進していく上では集合研修は困難でした」と、eラーニングが不可欠であった環境を説明した。オルカー社長も『私のアメリカにいる息子はパッドを使いこなして学習しています。これからはeラーニングの時代です』と非常に積極的で、『シンプルで、かつ効果的、効率的なものにして欲しい』といった要請も同時にありました」と、トップダウンでeラーニングが進められた。

#### ◆ “マンモス”は店舗内のみならず、個人所有のスマホでいつでも、どこでもeラーニング

独自に開発した教育プログラムの“マンモス”がスタートしたのは2013年4月1日。開発には2年半かかったそうである。それ以前の教材は主に印刷物であった。eラーニングは情報管理教育に採用されていたものの、店舗内に設置したパソコンのみを使う独習スタイルで、一般の事務所とは違い店舗では現金が扱われているという点も相まって不自由な学習環境だったそうである。

それに対して、現在の“マンモス”では、研修用端末として全店舗にPCとタブレットを各1台設置しているが、個人所有のスマホでも本社サーバーにアクセスしていつでもどこでも学習できるようになっている。なお1日で一番アクセスが多いのは、ランチタイムとディナータイムを外した14時~17時である。



◆ “マンモス”は150ステップから成り、レベルが上がるごとに時給もアップ。行く末は正社員となり店長に！

“マンモス”はレベルとその中の最小単位であるステップ(教材コンテンツ)から構成され、ステップはトータルで150を数える。ステップすなわち教材の開発には営業を始めとする各部門の全スタッフが臨んだ。150コンテンツは規模的に小さいとは決して言い難いが、「各部門が作ったコンテンツを集めたら最初190にものぼったのですが、さすがに多過ぎると考え導入当初は184に絞ってスタートしました。さらにそれらを整理して2016年に今日の150ステップになりました」とこれまでの経緯を紹介してくれた。

各ステップは動画と、静止画(パワーポイントで作成)と、習得度合を確認するテストで構成されていて、序盤には動画が比較的多く採用されている。動画コンテンツについては社内で内容を作り、動画作成を外部に委託している。長さは平均3分間。最初是最長24分間だったがマイクロ化(短縮)したそうである。「動画を見てからパワーポイント教材をじっくり読み、最後にテストを受けるといった流れになりますが、150ステップをすべて学習するには数10時間程度を要するでしょう」と小原様はみている。

“マンモス”は基本的には会社全体、すなわち本部社員、店長、店舗アルバイトが利用するeラーニング教育プログラムであるが、宅配ピザチェーンという事業からも学習人数からも、現場のアルバイトが主体となってくることは言うまでもなく、入社時から全員が受講するものである。



最初はオリエンテーションから始まり、レベル1、レベル2…と一段ずつ上がっていく仕組みで、オリエンテーションでは「ドミノ・ピザとは」から、「サニテーション(衛生)とは」、「ピザメーク(作り方)」、「電話注文の取り方、店頭接客方法」、「バイクの運転方法」などなどである。小原様によると「『5つの安全』を掲げていまして、具体的には、バイクによる配達の際の交通安全、食品を扱う衛生面の安全、お客様の情報を取り扱う立場からの安全、金銭の取扱いと管理面の安全、調理中の事故や火災を防止する店内の安全で、これらもすべて網羅されています」とのことであった。

“マンモス”では『OJT評価』と称する承認制度がある。これは、1つのレベルの学習を終えるとマンモス上で申請し、店長または店長が任命したスタッフから承認を得るというシステムで、日頃の仕事ぶりも加味される。そして段階が上がるごとに時給もアップする給与制度。当然のことながら承認を得られなければ、何度もチャレンジすることとなる。最終的に150ステップをすべてクリアすると店長になる資格を得ることができ、営業課長などの面接を経て正社員になり店長として配属される。まさに実力主義の職場である。

社内での“マンモス”の位置付けについて小原様は、「学習はあくまでも各自が自主的に行うもので、強制はしていません。従ってスケジュール設定もありません。」と説明した。アルバイト一人ひとりが目標を持って自分自身のために学習してステップアップし、時給が上がったり正社員になって店長職に着くというシステムが定着しているようである。

一方、本部採用の社員も150ステップまで習得することが求められています。店舗の業務を周知することで現場と本部の関わりを近づけることが重要と考え、「本部スタッフは店舗を訪問し、店舗でいま何が起き、何が問題なのか情報を収集し、携わっている業務が店舗をサポートできるかを常に考えなさい。」とオルカー社長は言う。

#### ◆ eラーニングの運用実績と店舗売上が相関

本部としては、“マンモス”の目標ステップ値を店舗平均(アルバイト全員の合計)で2,100、個人平均を70と設定している。「店舗値は人数にもよりますが、合計ステップ値の高さと店舗売上とに相関関係があることを実施して半年後に発見しました。つまりeラーニングの受講量が多い店舗は営業成績も良かったということです」と小原様は学習効果に関する分析結果を打ち明けた。“しっかりとしたOJT評価のもとでステップ数を上げれば売上が後からついてくる”という状況が出来上がったようで、これは“マンモス”の大きな成果である。

オルカー社長は、店舗の総ステップ数、平均ステップ数、クルー人数、時間帯責任者数を簡単に見えるようにして欲しいと希望したが、これにも対応できているようで、小原様は「社長が要望したシンプル化も実現できました」と語った。



## ◆ 今後の課題は教材作成のスピードアップと、店舗内の質的見える化

“マンモス”はドミノ・ピザ ジャパンが構築した日本標準の教育プログラムで、米国本社のみならず、世界各国のドミノ・ピザでも高く評価されており、インド法人など他国の教育部門が視察に訪れている。日本においては大手ファミリーレスチェーンが視察にきたそうで、外食・中食業界において高い注目を集めているようである。

その上で、小原様は今後の課題として下記の4点を挙げた。

### 1. キャンペーンメニューの作り方の教材作成

シーズンごとに展開しているキャンペーンではそれぞれ限定メニューを設定しているが、それらのピザメイクは“マンモス”とは別の共通学習プログラムの中に位置付けられており、メニュー決定後の速やかな教材作成が求められる。既述の通り、ピザメイク自体が極めて高度な単元であることから特に力を入れなくてはならない課題のようである。



### 2. 情報管理教育の教材作成

情報管理教育の内容は毎年変わることから、その年用の教材をできるだけ早期に完成させて現場で使えるようにしなくてはならない。

### 3. 新しいオペレーションへの対応

昨年“GPSドライバートラッカー”といった新しいオペレーションが始まった。こうした新しいオペレーションについても現場に即した教材を作成しているが、望ましいオペレーションの展開に向けたより活用し易い教材を目ざしている。

### 4. さらなる店舗の見える化

店舗状況をステップ値や人数などで量的に見ることは可能となっている反面、OJT評価が店舗内でどの程度できているかといった質的な情報を採れていない。従って管理もできない状況にあるのでそこを解決したいと考えている。



◆ 企業プロフィール

【株式会社ドミノ・ピザ ジャパン】

- ・ 本 社 : 東京都千代田区岩本町1-10-3  
紀繁ビル
- ・ ホームページ : <http://www.dominos.jp/>
- ・ 設 立 : 2011年7月(創業 1985年9月)
- ・ 資 本 金 : 16億6731万円
- ・ 売 上 高 : 344億円(2016年6月現在)
- ・ 従 業 員 数 : 正社員 500名(2016年9月現在)  
アルバイト 約7,000名(2016年9月現在)
- ・ 沿 革 :
  - 1985年 米国ドミノ・ピザ社とライセンス契約を結ぶ。第1号店を東京・恵比寿にオープン
  - 2004年 フランチャイズ契約による店舗展開をスタート
  - 2010年 代表取締役社長にスコット・オルカー氏が就任
  - 2015年 日本上陸30周年。国内で400店舗を突破

【ドミノ・ピザ(Domino's Pizza, Inc.)】

- ・ 本 社 : アメリカ合衆国
- ・ 設 立 : 1960年
- ・ 代 表 者 : トーマス・S・モナハン氏(創業者)  
(Tom Monaghan)
- ・ 展 開 国 数 : 60カ国(10,000店舗以上)
- ・ 従 業 員 数 : 14万5千人

02-「生活者のeラーニング利用状況実態調査」<第3回> (2017年3月実施)  
(2016年度および2016-15年度トレンド)

- ・会社での利用
- ・学校での利用
- ・個人での利用
- ・今後の利用

## 【調査の概要・回答者属性】

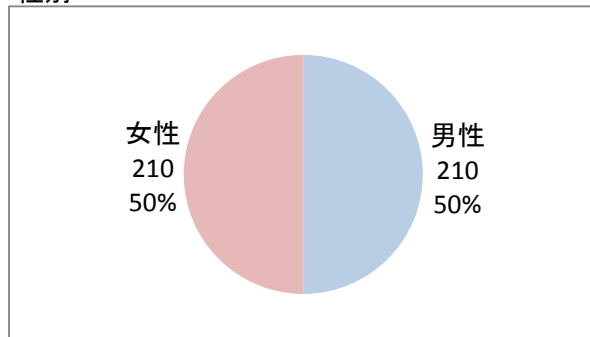


## A. 概要

- ① 対象 … 一般生活者 (web調査会社の登録モニターを利用)  
※第1回(2015年5月実施)および第2回(2016年3月実施)の調査において回答した人以外を対象とした。
- ② 性別 … 男女
- ③ 年齢 … 15歳以上
- ④ 地域 … 全国
- ⑤ 条件 … eラーニング(スマートフォンやタブレット、パソコンなどの情報機器を活用した学習)を  
現在利用している人、過去5年以内に利用していた人(現在は利用していない)
- ⑥ サンプル数 … 420 s.s.  
(スクリーニングのためのプレ調査: 3,407 s.s.)
- ⑦ 実査時期 … 2017年3月17日(金)~20日(月)

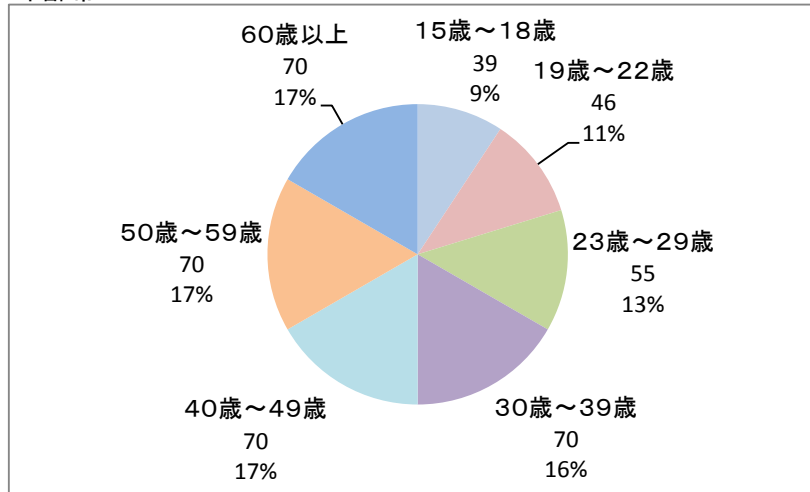
## B. 回答者の属性

### 1) 性別



	#	%
男性	210	50.0%
女性	210	50.0%
計	420	100.0%

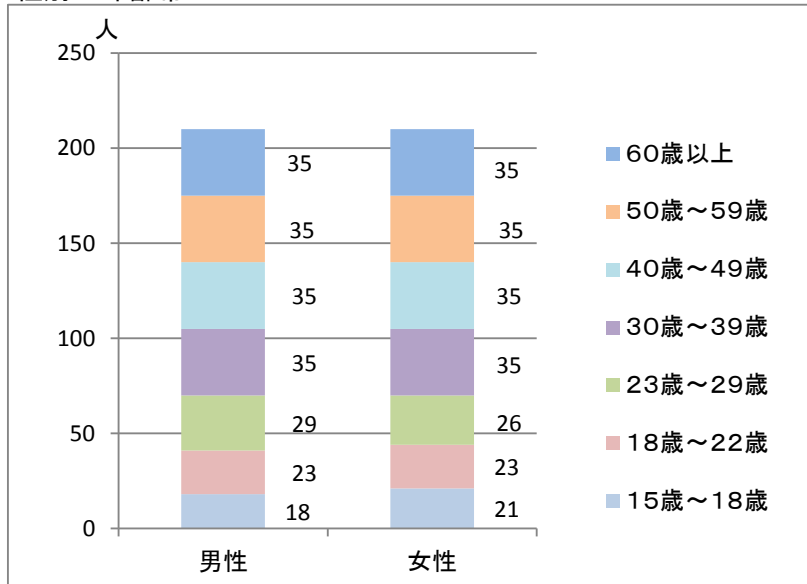
2) 年齢帯



	#	%
15歳～18歳	39	9.3%
19歳～22歳	46	11.0%
23歳～29歳	55	13.1%
30歳～39歳	70	16.7%
40歳～49歳	70	16.7%
50歳～59歳	70	16.7%
60歳以上	70	16.7%
計	420	100.0%

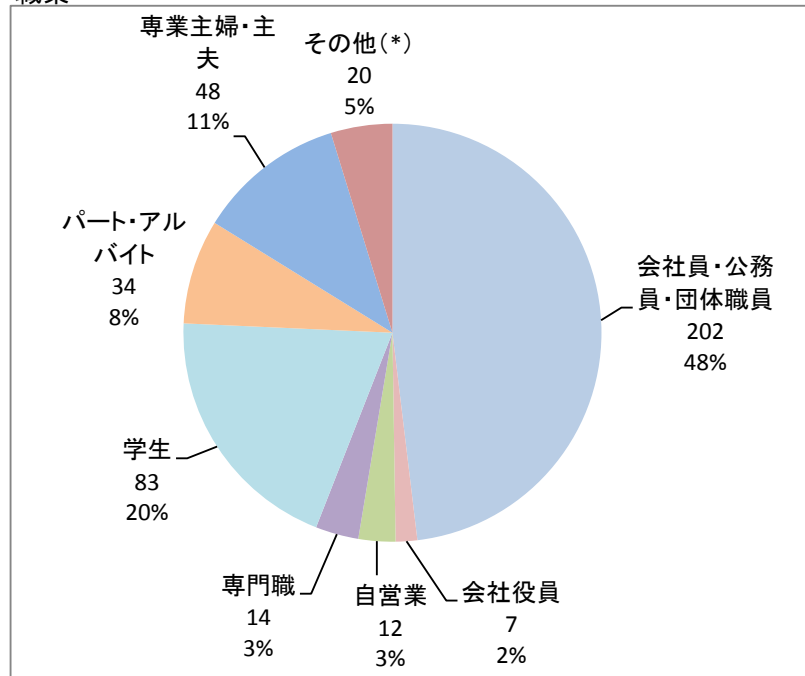
最低年齢: 15歳  
 最高年齢: 99歳  
 平均年齢: 40.6歳

2) -a. 性別 x 年齢帯



	男性	女性	計	
#	15歳～18歳	18	21	39
	18歳～22歳	23	23	46
	23歳～29歳	29	26	55
	30歳～39歳	35	35	70
	40歳～49歳	35	35	70
	50歳～59歳	35	35	70
	60歳以上	35	35	70
計	210	210	420	
%	15歳～18歳	8.6%	10.0%	9.3%
	18歳～22歳	11.0%	11.0%	11.0%
	23歳～29歳	13.8%	12.4%	13.1%
	30歳～39歳	16.7%	16.7%	16.7%
	40歳～49歳	16.7%	16.7%	16.7%
	50歳～59歳	16.7%	16.7%	16.7%
	60歳以上	16.7%	16.7%	16.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%	

### 3) 職業



	#	%
会社員・公務員・団体職	202	48.1%
会社役員	7	1.7%
自営業	12	2.9%
専門職	14	3.3%
学生	83	19.8%
パート・アルバイト	34	8.1%
専業主婦・主夫	48	11.4%
その他(*)	20	4.8%
計	420	100.0%

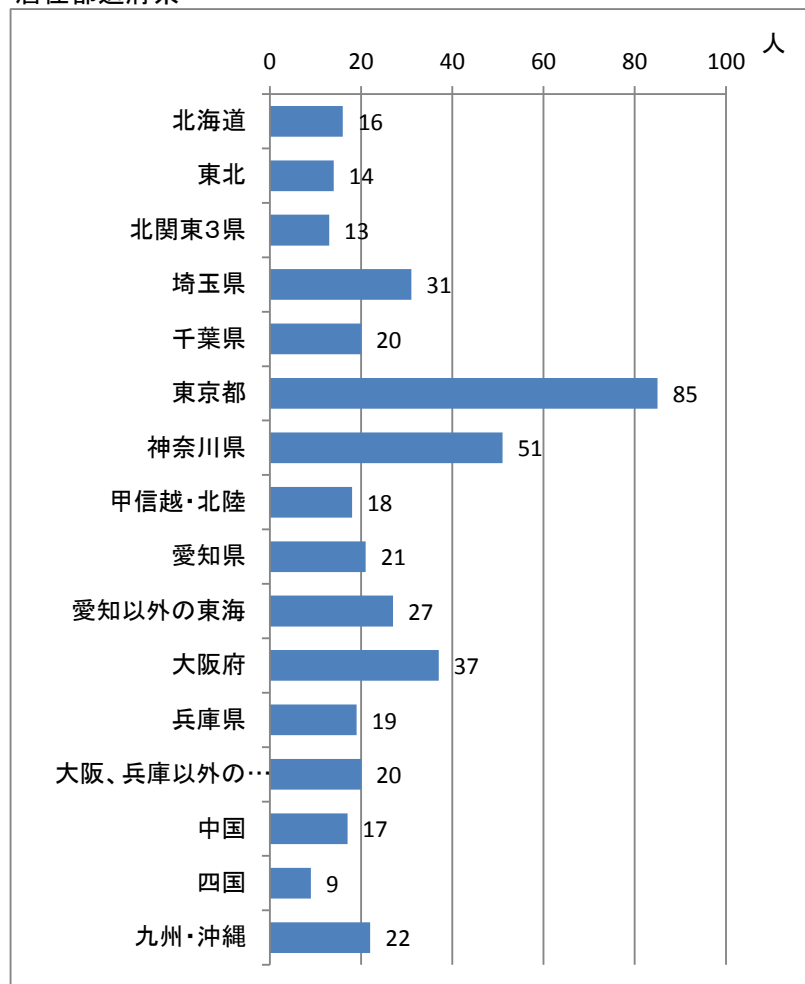
#### \*「その他」の回答

- ・無職(14人)
- ・定年退職者・年金受給者(2人)
- ・消費生活アドバイザー
- ・教育
- ・作業所
- ・派遣

4) 勤め先の業界

	#	%
金融・保険	24	5.7%
官公庁・団体	22	5.2%
教育(教職員、教育機関関係者、その他)	22	5.2%
医療サービス・宗教	21	5.0%
情報・通信(eラーニング関連事業を除く)	17	4.0%
流通・小売業	12	2.9%
エネルギー・素材・産業機械	11	2.6%
自動車・輸送機器	9	2.1%
外食・各種サービス	9	2.1%
家電・AV機器	7	1.7%
精密機械・事務用品	6	1.4%
交通・レジャー	6	1.4%
不動産・住宅設備	5	1.2%
新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・広告等マスコミ関係	5	1.2%
食品	4	1.0%
薬品・医療用品	4	1.0%
化粧品・トイレタリー・サニタリー	4	1.0%
ファッション・アクセサリー	2	0.5%
教育(eラーニングのシステム・ソフト開発)	2	0.5%
市場調査	2	0.5%
飲料・嗜好品	1	0.2%
教育(eラーニングのコンテンツ開発)	1	0.2%
家庭用品	0	0.0%
趣味・スポーツ用品	0	0.0%
あてはまるものはない	224	53.3%
計	420	100.0%

5) 居住都道府県



	#	%
北海道	16	3.8%
東北	14	3.3%
北関東3県	13	3.1%
埼玉県	31	7.4%
千葉県	20	4.8%
東京都	85	20.2%
神奈川県	51	12.1%
甲信越・北陸	18	4.3%
愛知県	21	5.0%
愛知以外の東海	27	6.4%
大阪府	37	8.8%
兵庫県	19	4.5%
大阪、兵庫以外の近畿	20	4.8%
中国	17	4.0%
四国	9	2.1%
九州・沖縄	22	5.2%
計	420	100.0%

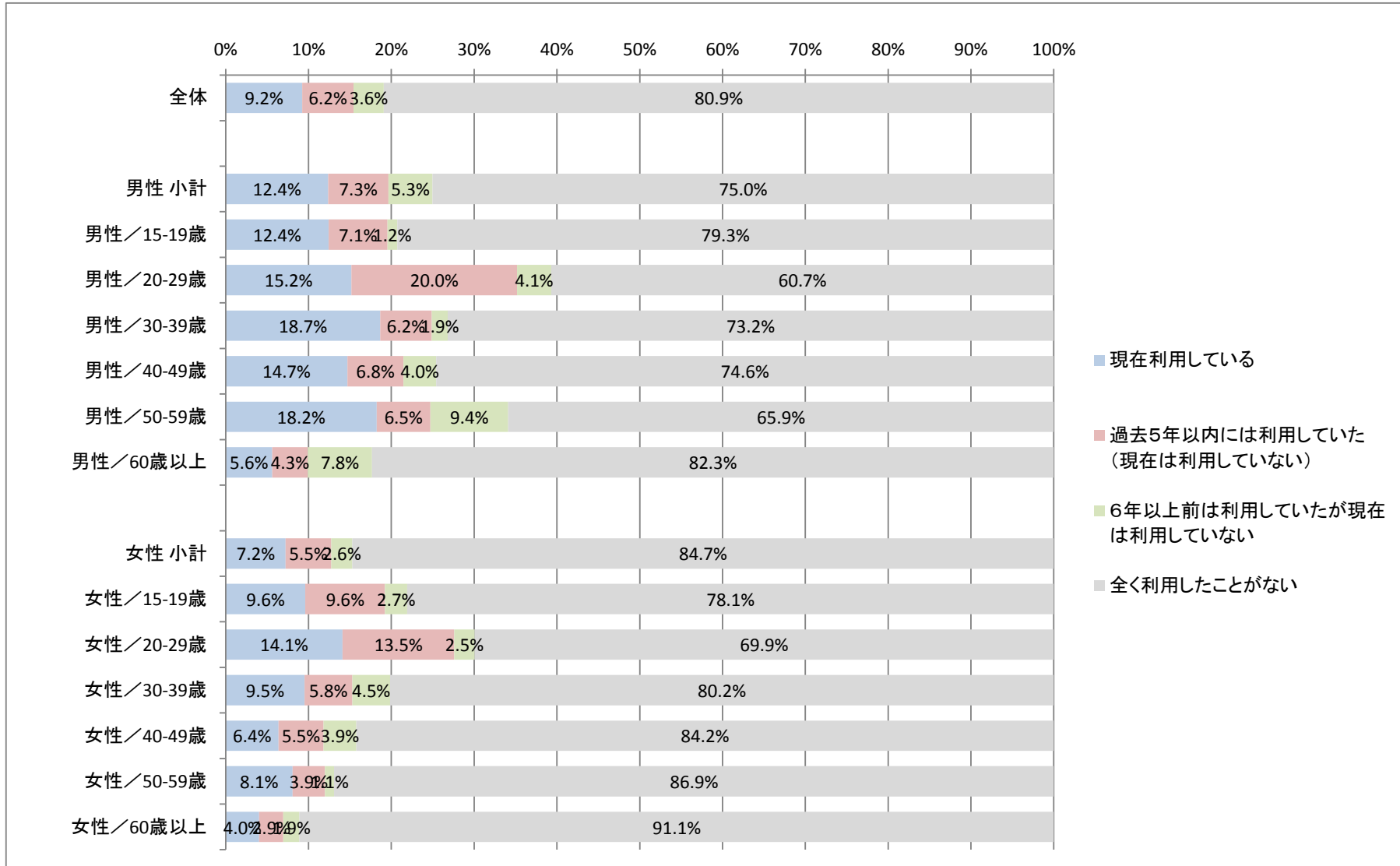
	#	%
北海道	16	3.8%
青森県	1	0.2%
岩手県	0	0.0%
宮城県	7	1.7%
秋田県	3	0.7%
山形県	2	0.5%
福島県	1	0.2%
茨城県	3	0.7%
栃木県	6	1.4%
群馬県	4	1.0%
埼玉県	31	7.4%
千葉県	20	4.8%
東京都	85	20.2%
神奈川県	51	12.1%
新潟県	6	1.4%
富山県	1	0.2%
石川県	0	0.0%
福井県	1	0.2%
山梨県	2	0.5%
長野県	8	1.9%
岐阜県	4	1.0%
静岡県	17	4.0%
愛知県	21	5.0%
三重県	6	1.4%
滋賀県	2	0.5%
京都府	14	3.3%
大阪府	37	8.8%
兵庫県	19	4.5%
奈良県	3	0.7%
和歌山県	1	0.2%
鳥取県	0	0.0%
島根県	3	0.7%
岡山県	4	1.0%
広島県	8	1.9%
山口県	2	0.5%
徳島県	3	0.7%
香川県	1	0.2%
愛媛県	4	1.0%
高知県	1	0.2%
福岡県	7	1.7%
佐賀県	2	0.5%
長崎県	0	0.0%
熊本県	2	0.5%
大分県	3	0.7%
宮崎県	2	0.5%
鹿児島県	1	0.2%
沖縄県	5	1.2%
計	420	100.0%

## 【調査の結果】

A. スクリーニングのためのプレ調査

【eラーニングの利用状況】

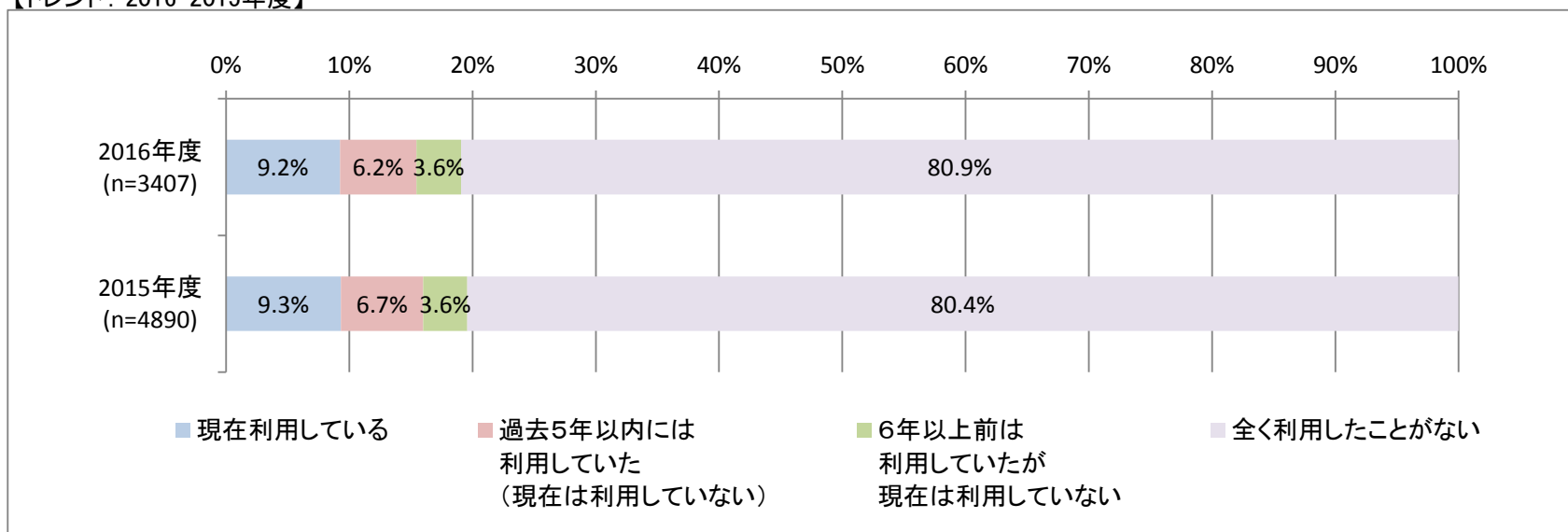
n=3,407





		現在利用している	過去5年以内には 利用していた(現在 は利用していない)	6年以上前は利用し ていたが現在は利 用していない	全く利用したことが ない	計
#	全体	315	211	124	2,757	3,407
	男性 小計	165	97	71	1,001	1,334
	男性／15-19歳	21	12	2	134	169
	男性／20-29歳	22	29	6	88	145
	男性／30-39歳	39	13	4	153	209
	男性／40-49歳	26	12	7	132	177
	男性／50-59歳	31	11	16	112	170
	男性／60歳以上	26	20	36	382	464
	女性 小計	150	114	53	1,756	2,073
	女性／15-19歳	25	25	7	203	260
	女性／20-29歳	23	22	4	114	163
	女性／30-39歳	23	14	11	194	242
	女性／40-49歳	21	18	13	278	330
	女性／50-59歳	29	14	4	312	359
	女性／60歳以上	29	21	14	655	719
	%	全体	9.2%	6.2%	3.6%	80.9%
男性 小計		12.4%	7.3%	5.3%	75.0%	100.0%
男性／15-19歳		12.4%	7.1%	1.2%	79.3%	100.0%
男性／20-29歳		15.2%	20.0%	4.1%	60.7%	100.0%
男性／30-39歳		18.7%	6.2%	1.9%	73.2%	100.0%
男性／40-49歳		14.7%	6.8%	4.0%	74.6%	100.0%
男性／50-59歳		18.2%	6.5%	9.4%	65.9%	100.0%
男性／60歳以上		5.6%	4.3%	7.8%	82.3%	100.0%
女性 小計		7.2%	5.5%	2.6%	84.7%	100.0%
女性／15-19歳		9.6%	9.6%	2.7%	78.1%	100.0%
女性／20-29歳		14.1%	13.5%	2.5%	69.9%	100.0%
女性／30-39歳		9.5%	5.8%	4.5%	80.2%	100.0%
女性／40-49歳		6.4%	5.5%	3.9%	84.2%	100.0%
女性／50-59歳		8.1%	3.9%	1.1%	86.9%	100.0%
女性／60歳以上		4.0%	2.9%	1.9%	91.1%	100.0%

【トレンド：2016-2015年度】

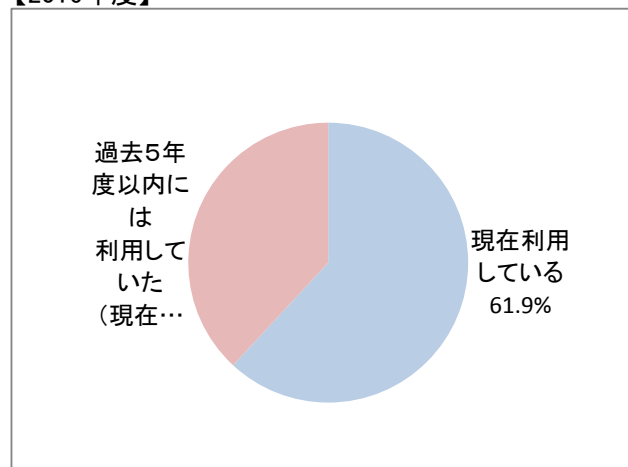


		現在利用している	過去5年以内には利用していた(現在は利用していない)	6年以上前は利用していたが現在は利用していない	全く利用したことがない	計
#	2016年度 (n=3407)	315	211	124	2,757	3,407
	2015年度 (n=4890)	456	326	175	3,933	4,890
%	2016年度 (n=3407)	9.2%	6.2%	3.6%	80.9%	100.0%
	2015年度 (n=4890)	9.3%	6.7%	3.6%	80.4%	100.0%

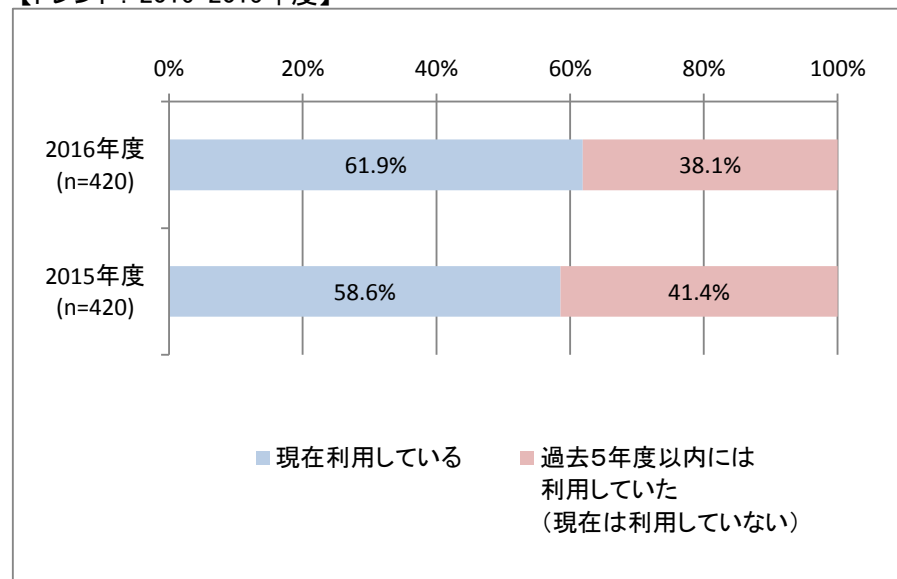
B. 「eラーニング」の利用状況 <択一回答>

※ 調査における「eラーニング」の定義：『スマートフォンやタブレット、パソコンなどの情報機器を活用した学習』

【2016年度】



【トレンド：2016-2015年度】

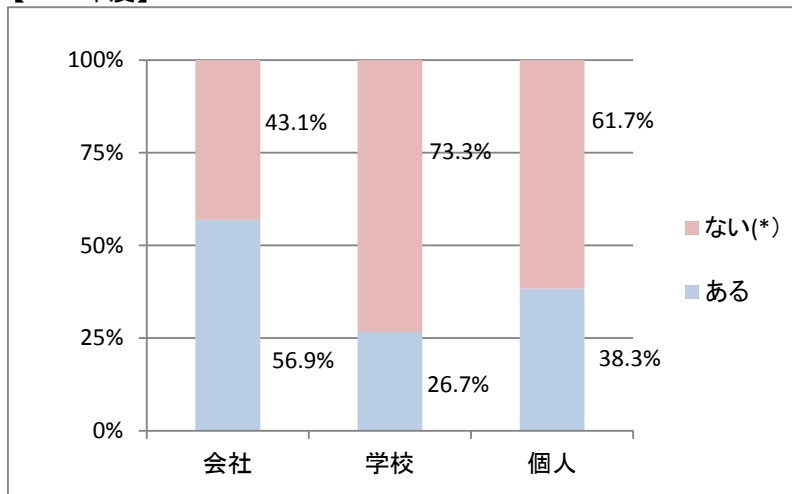


		現在利用している	過去5年度以内には利用していた（現在は利用していない）	計(n)
#	2016年度 (n=420)	260	160	420
	2015年度 (n=420)	246	174	420
%	2016年度 (n=420)	61.9%	38.1%	100.0%
	2015年度 (n=420)	58.6%	41.4%	100.0%

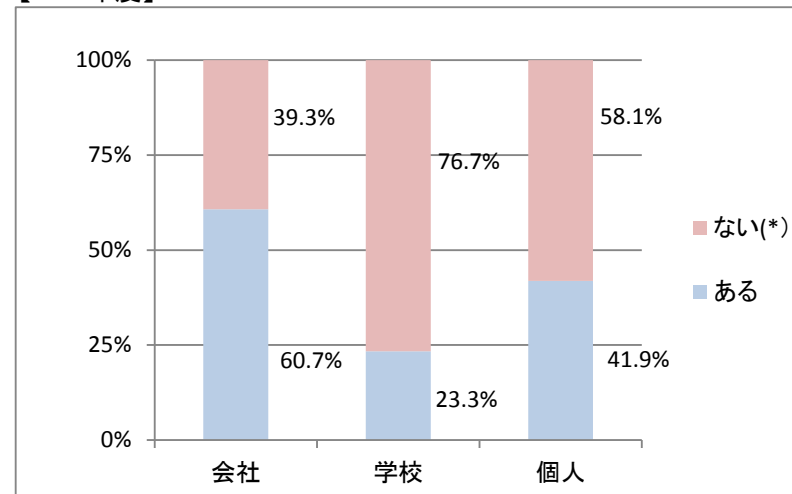
C. 「eラーニング」の利用経験

C-① 会社/学校/個人における「eラーニング」の利用経験〈各択一回答〉

【2016年度】



【2015年度】



\* “会社”の『いいえ』の中には、学生および、勤務経験がない人などを含む

2016年度	#			%		
	会社	学校	個人	会社	学校	個人
ある	239	112	161	56.9%	26.7%	38.3%
ない(*)	181	308	259	43.1%	73.3%	61.7%
計(n)	420	420	420	100.0%	100.0%	100.0%

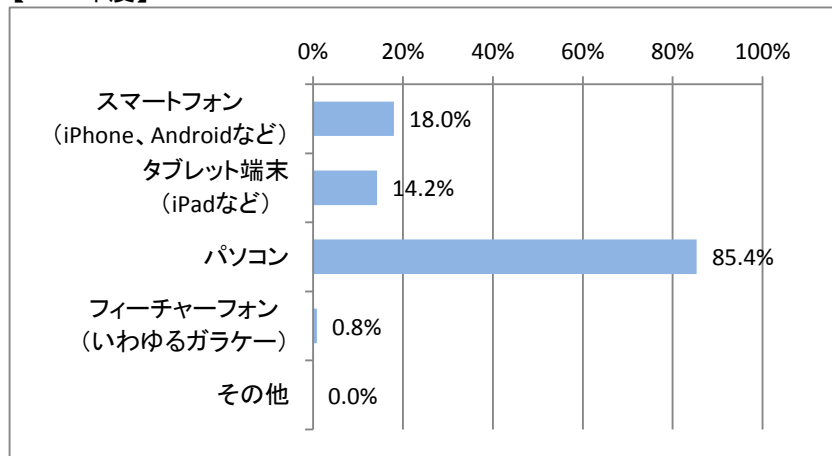
2015年度	#			%		
	会社	学校	個人	会社	学校	個人
ある	255	98	176	60.7%	23.3%	41.9%
ない(*)	165	322	244	39.3%	76.7%	58.1%
計(n)	420	420	420	100.0%	100.0%	100.0%

<“C-①”で、『会社』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

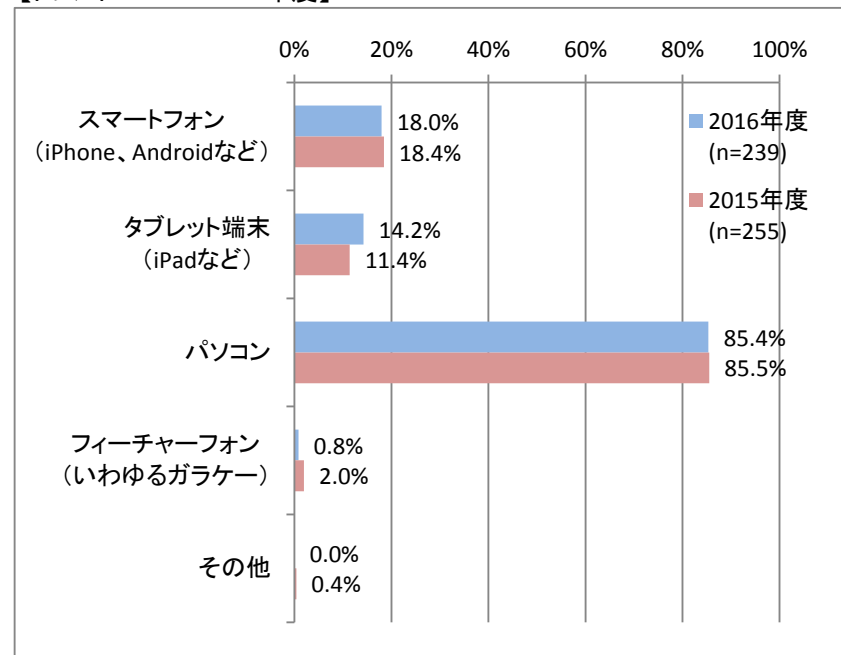
D. 会社の研修で利用した/利用している「eラーニング」

D-①「eラーニング」のデバイス<複数回答可>

【2016年度】



【トレンド：2016-2015年度】

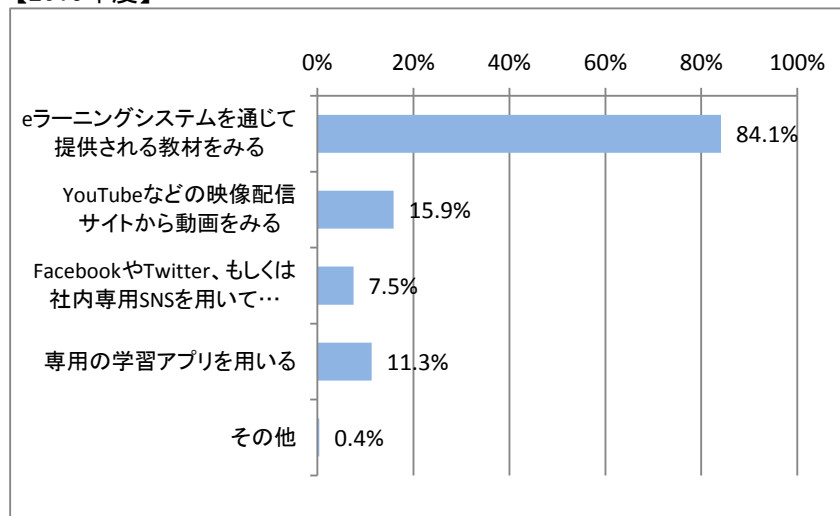


#	年度	スマートフォン (iPhone、Androidなど)	タブレット端末 (iPadなど)	パソコン	フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	その他	n
		2016年度 (n=239)	43	34	204	2	
	2015年度 (n=255)	47	29	218	5	1	255
%	2016年度 (n=239)	18.0%	14.2%	85.4%	0.8%	0.0%	
	2015年度 (n=255)	18.4%	11.4%	85.5%	2.0%	0.4%	

<“C-①”で、『会社』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

D-②「eラーニング」の方法<複数回答可>

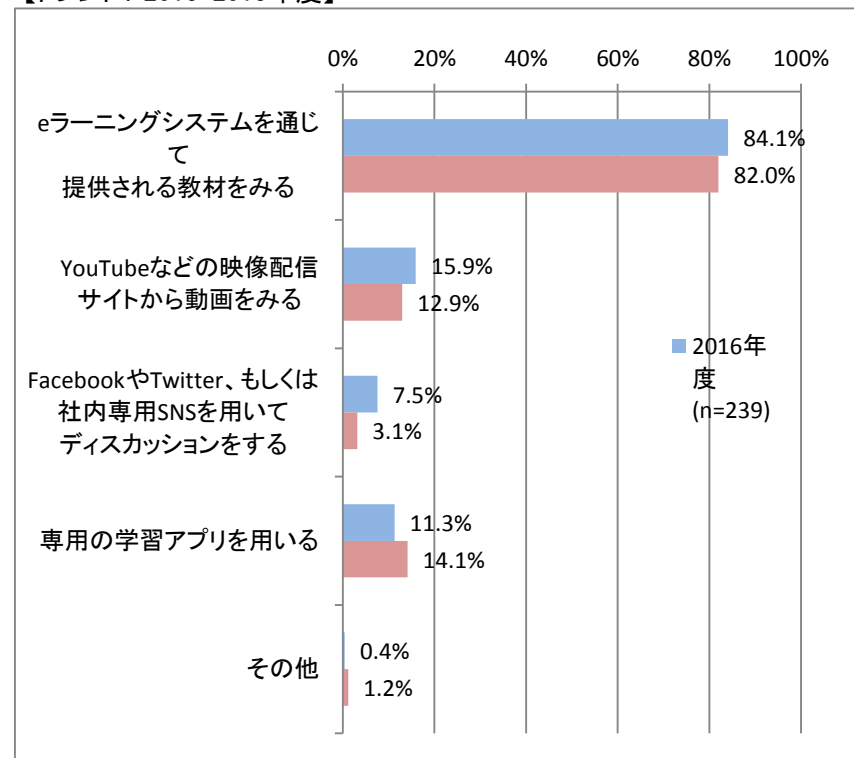
【2016年度】



\*「その他」の回答  
・教材を見て、選択で答える

		eラーニングシステムを通じて提供される教材をみる	YouTubeなどの映像配信サイトから動画をみる	FacebookやTwitter、もしくは社内専用SNSを用いてディスカッションをする	専用の学習アプリを用いる	その他	n
#	2016年度 (n=239)	201	38	18	27	1	239
	2015年度 (n=255)	209	33	8	36	3	255
%	2016年度 (n=239)	84.1%	15.9%	7.5%	11.3%	0.4%	
	2015年度 (n=255)	82.0%	12.9%	3.1%	14.1%	1.2%	

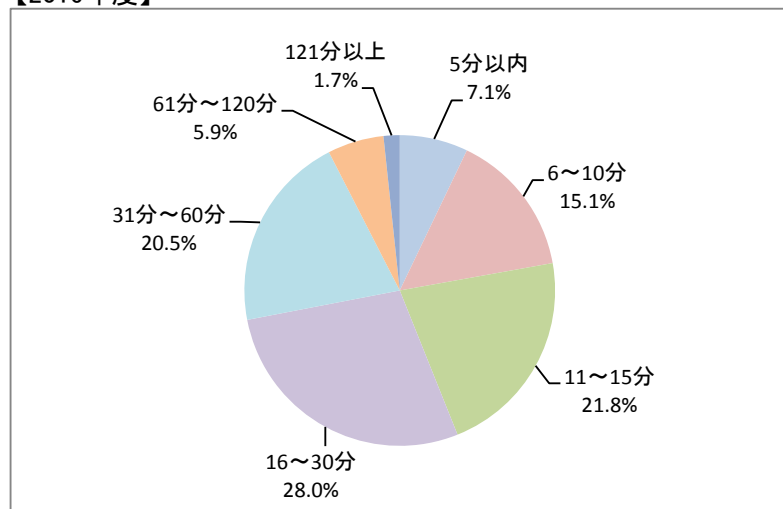
【トレンド：2016-2015年度】



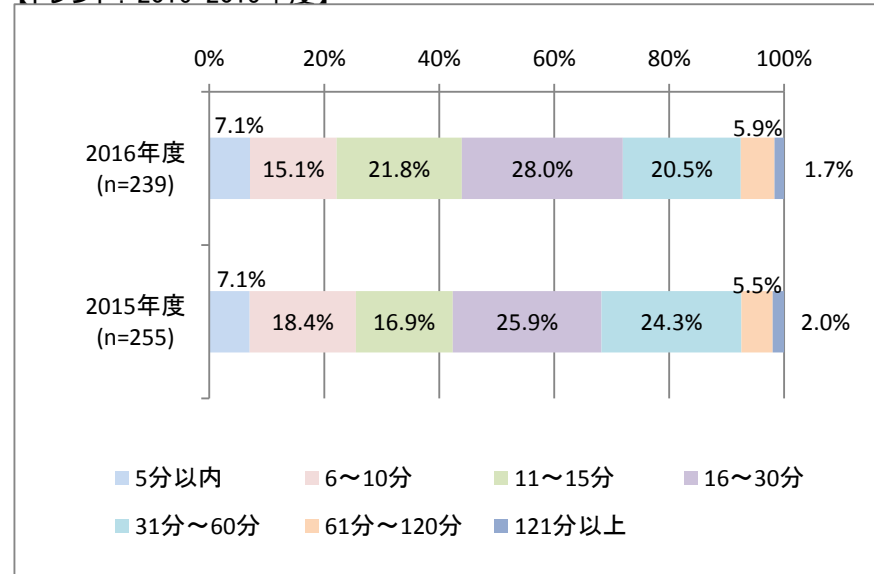
<“C-①”で、『会社』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

D-③「eラーニング」の1度の利用時間〈択一回答〉

【2016年度】



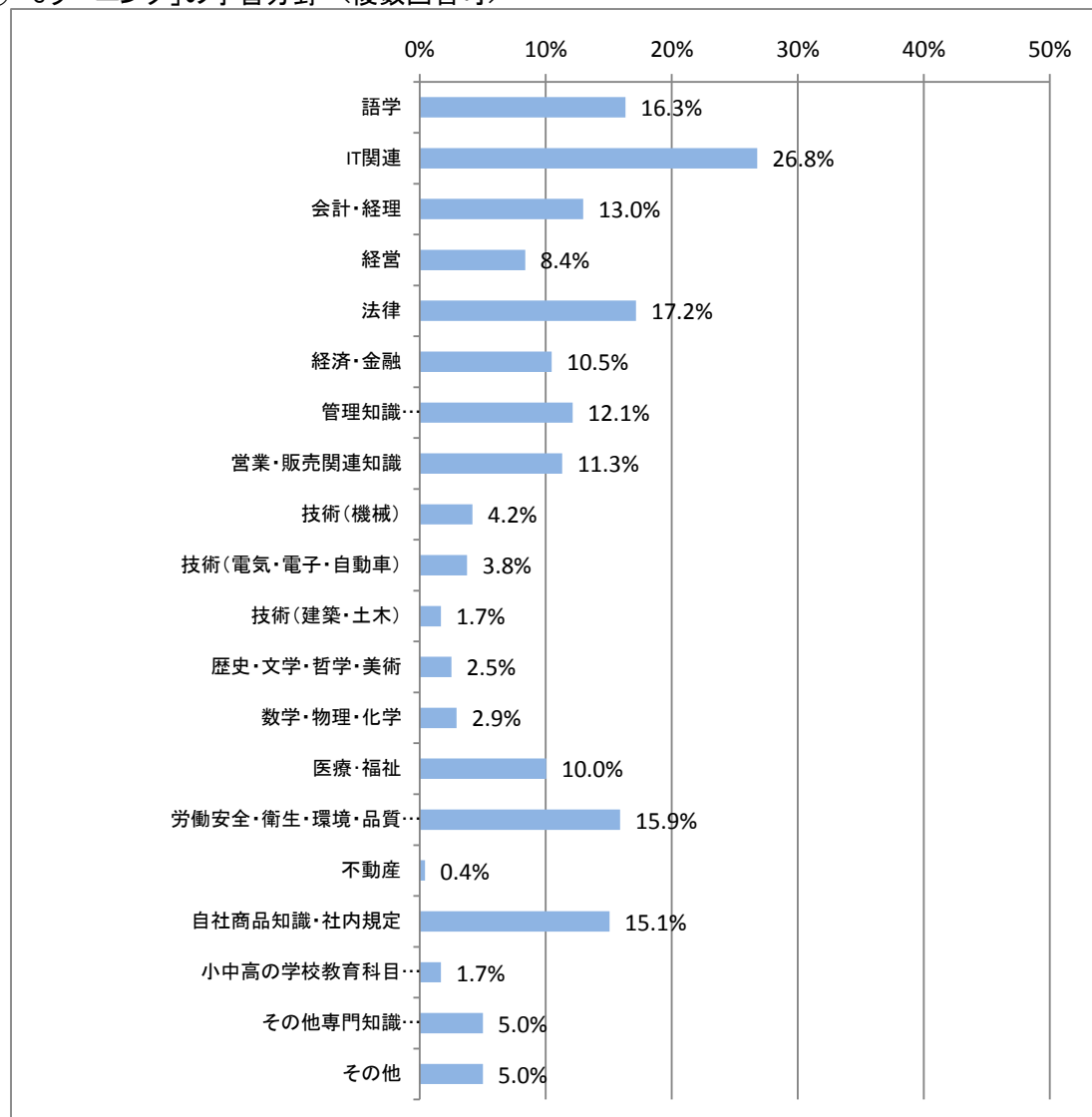
【トレンド：2016-2015年度】



		5分以内	6~10分	11~15分	16~30分	31分~60分	61分~120分	121分以上	計(n)
#	2016年度 (n=239)	17	36	52	67	49	14	4	239
	2015年度 (n=255)	18	47	43	66	62	14	5	255
%	2016年度 (n=239)	7.1%	15.1%	21.8%	28.0%	20.5%	5.9%	1.7%	100.0%
	2015年度 (n=255)	7.1%	18.4%	16.9%	25.9%	24.3%	5.5%	2.0%	100.0%

<“C-①”で、『会社』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

D-④「eラーニング」の学習分野 <複数回答可>



n= 239

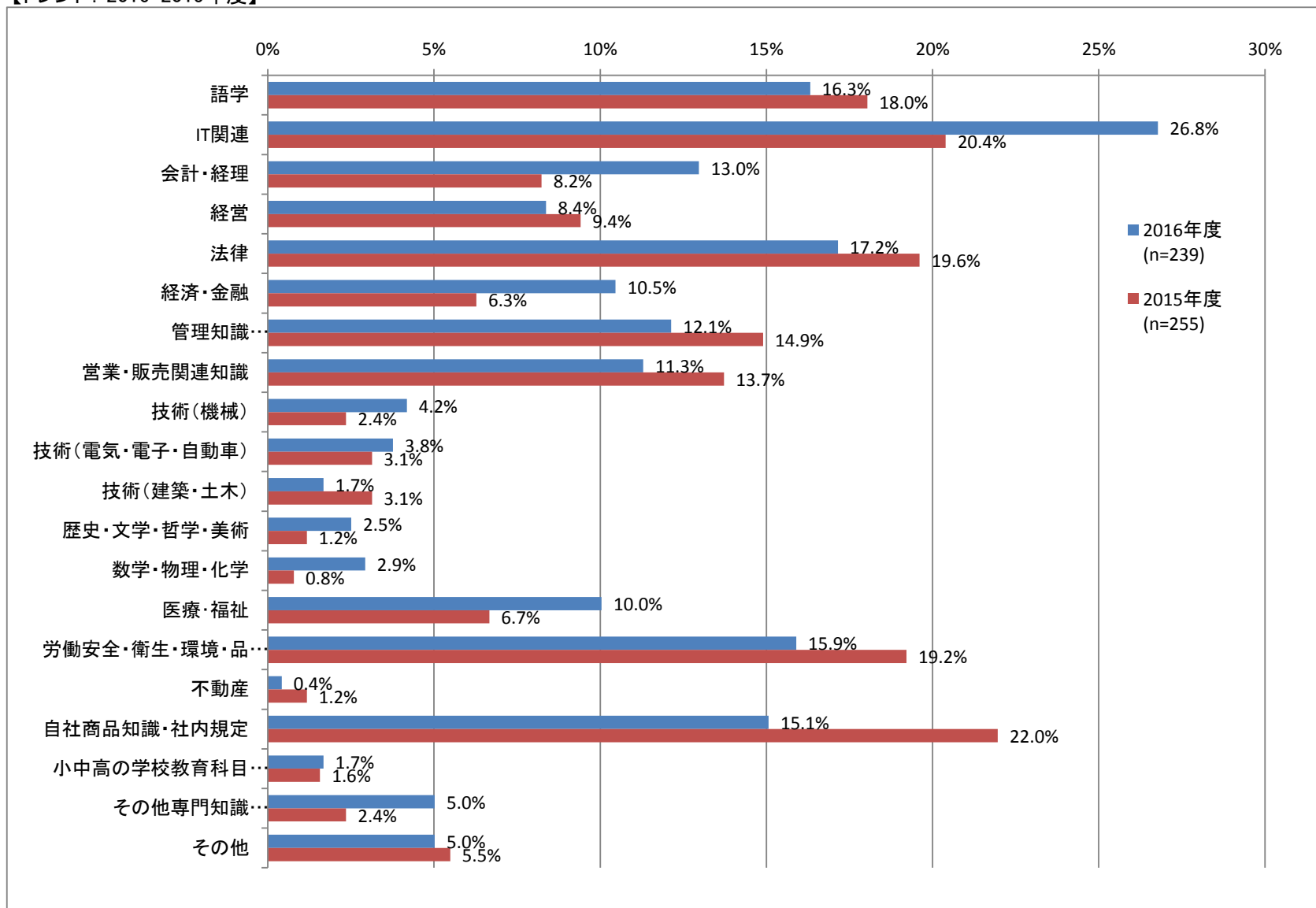
	#	%
語学	39	16.3%
IT関連	64	26.8%
会計・経理	31	13.0%
経営	20	8.4%
法律	41	17.2%
経済・金融	25	10.5%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	29	12.1%
営業・販売関連知識	27	11.3%
技術(機械)	10	4.2%
技術(電気・電子・自動車)	9	3.8%
技術(建築・土木)	4	1.7%
歴史・文学・哲学・美術	6	2.5%
数学・物理・化学	7	2.9%
医療・福祉	24	10.0%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	38	15.9%
不動産	1	0.4%
自社商品知識・社内規定	36	15.1%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	4	1.7%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	12	5.0%
その他	12	5.0%

- \*「その他」の回答
- ・情報セキュリティ(3)
  - ・コンプライアンス(2)
  - ・ビジネスマナー
  - ・社会保険全般
  - ・保険講習
  - ・研究倫理教育
  - ・倫理
  - ・人権研修
  - ・国際コミュニケーション



<“C-①”で、『会社』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

【トレンド：2016-2015年度】



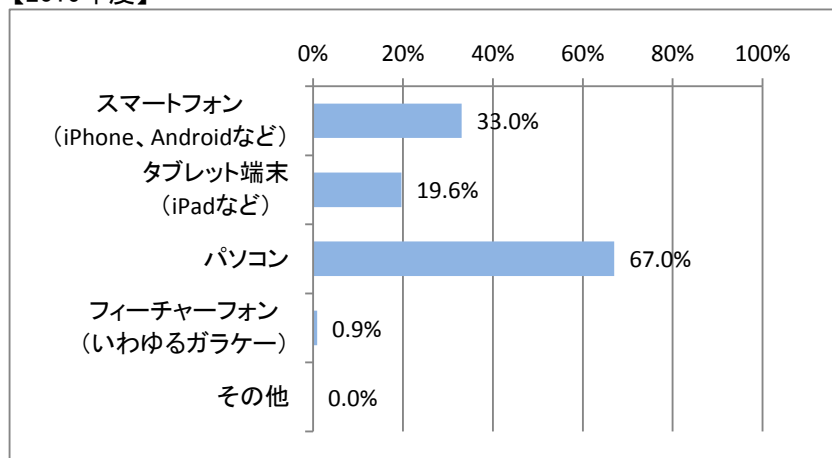
	#		%	
	2016年度 (n=239)	2015年度 (n=255)	2016年度 (n=239)	2015年度 (n=255)
語学	39	46	16.3%	18.0%
IT関連	64	52	26.8%	20.4%
会計・経理	31	21	13.0%	8.2%
経営	20	24	8.4%	9.4%
法律	41	50	17.2%	19.6%
経済・金融	25	16	10.5%	6.3%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	29	38	12.1%	14.9%
営業・販売関連知識	27	35	11.3%	13.7%
技術(機械)	10	6	4.2%	2.4%
技術(電気・電子・自動車)	9	8	3.8%	3.1%
技術(建築・土木)	4	8	1.7%	3.1%
歴史・文学・哲学・美術	6	3	2.5%	1.2%
数学・物理・化学	7	2	2.9%	0.8%
医療・福祉	24	17	10.0%	6.7%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	38	49	15.9%	19.2%
不動産	1	3	0.4%	1.2%
自社商品知識・社内規定	36	56	15.1%	22.0%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	4	4	1.7%	1.6%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	12	6	5.0%	2.4%
その他	12	14	5.0%	5.5%
n	239	255		

<“C-①”で、『学校』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

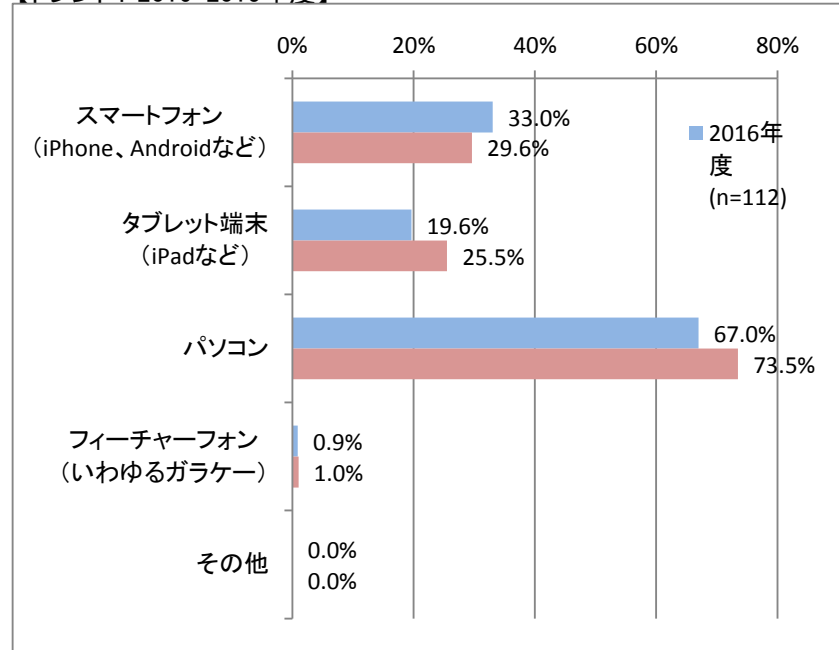
E. 高校や大学、専門学校などで行なった/行っている「eラーニング」

E-①「eラーニング」のデバイス<複数回答可>

【2016年度】



【トレンド：2016-2015年度】

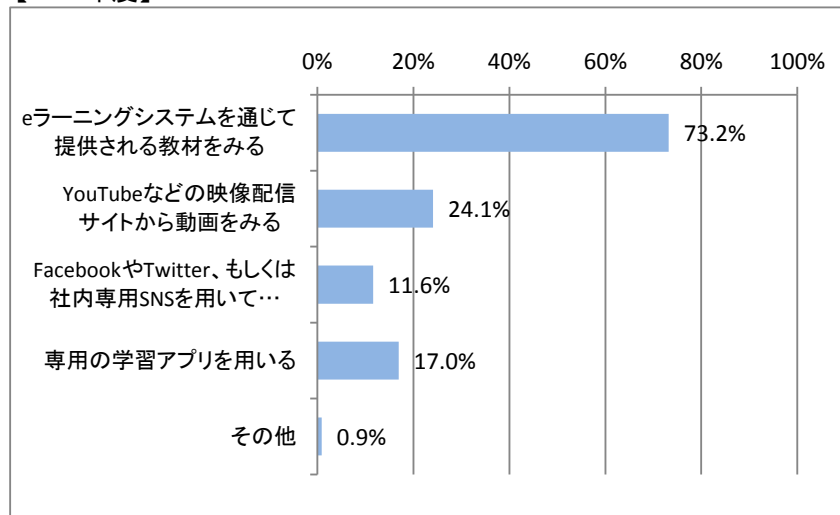


#	年度	スマートフォン (iPhone、Androidなど)	タブレット端末 (iPadなど)	パソコン	フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	その他	n
		2016年度 (n=112)	37	22	75	1	
	2015年度 (n=98)	29	25	72	1	0	98
%	年度	2016年度 (n=112)	33.0%	19.6%	67.0%	0.9%	0.0%
		2015年度 (n=98)	29.6%	25.5%	73.5%	1.0%	0.0%

<“C-①”で、『学校』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

E-②「eラーニング」の方法<複数回答可>

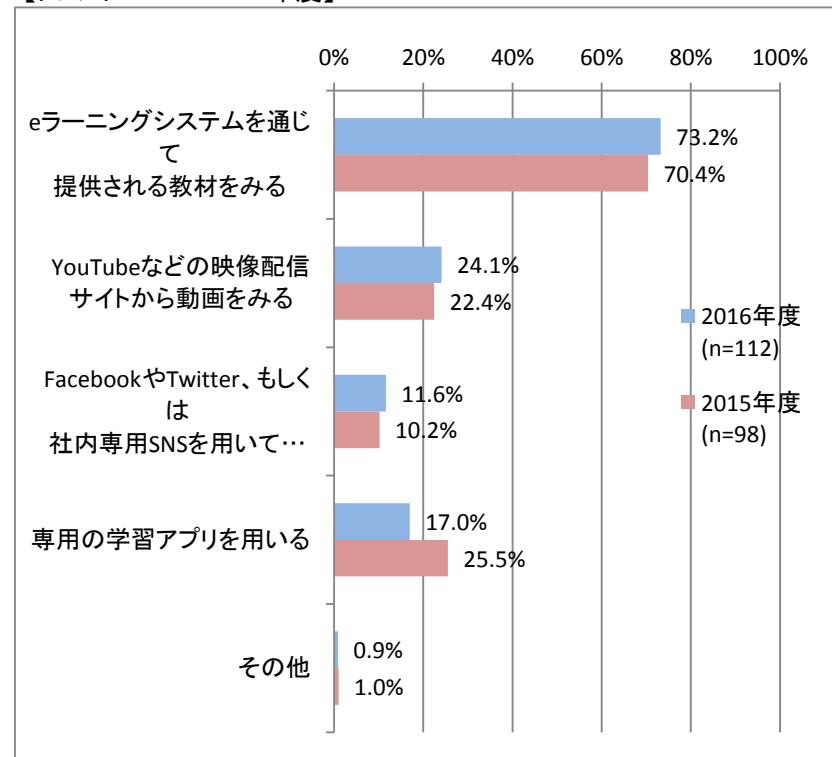
【2016年度】



\*「その他」の回答  
・スタディサプリ

		eラーニングシステムを通じて提供される教材をみる	YouTubeなどの映像配信サイトから動画をみる	FacebookやTwitter、もしくは社内専用SNSを用いてディスカッションをする	専用の学習アプリを用いる	その他	n
#	2016年度 (n=112)	82	27	13	19	1	112
	2015年度 (n=98)	69	22	10	25	1	98
%	2016年度 (n=112)	73.2%	24.1%	11.6%	17.0%	0.9%	
	2015年度 (n=98)	70.4%	22.4%	10.2%	25.5%	1.0%	

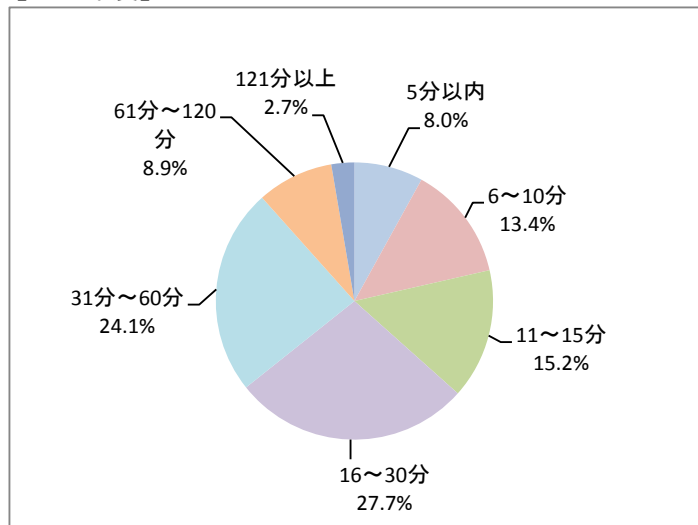
【トレンド：2016-2015年度】



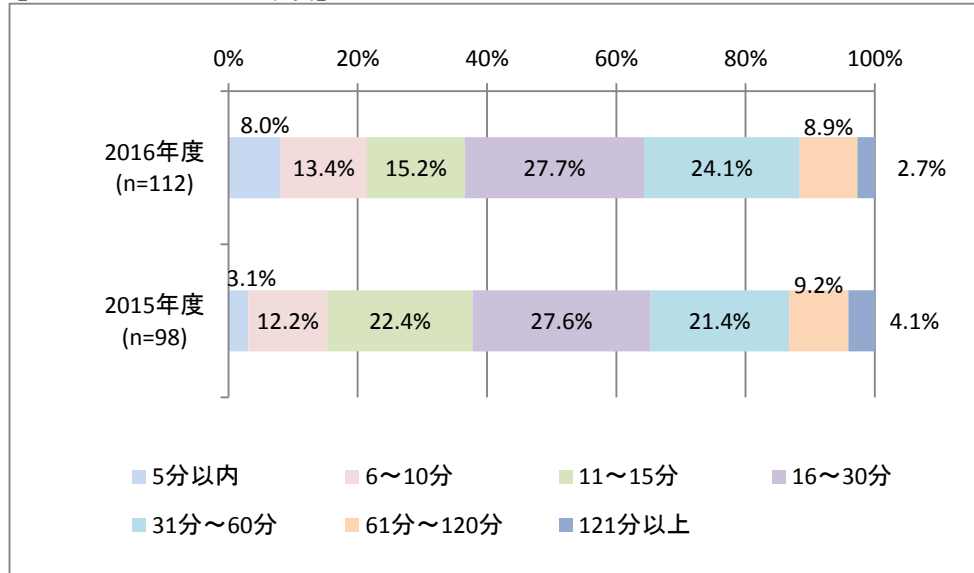
<“C-①”で、『学校』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

E-③「eラーニング」の1度の利用時間〈択一回答〉

【2016年度】



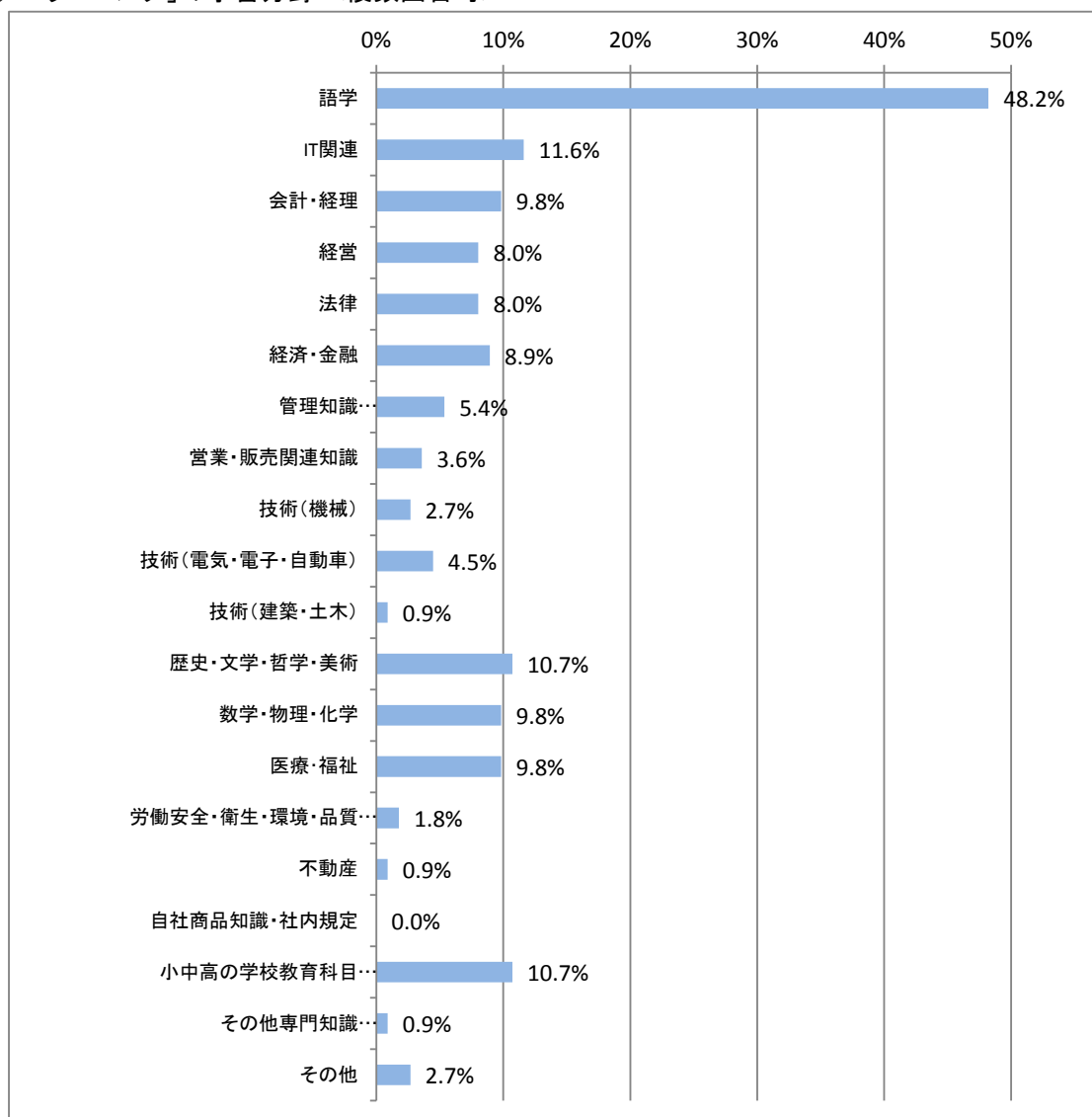
【トレンド：2016-2015年度】



		5分以内	6~10分	11~15分	16~30分	31分~60分	61分~120分	121分以上	計(n)
#	2016年度 (n=112)	9	15	17	31	27	10	3	112
	2015年度 (n=98)	3	12	22	27	21	9	4	98
%	2016年度 (n=112)	8.0%	13.4%	15.2%	27.7%	24.1%	8.9%	2.7%	100.0%
	2015年度 (n=98)	3.1%	12.2%	22.4%	27.6%	21.4%	9.2%	4.1%	100.0%

<“C-①”で、『学校』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

E-④「eラーニング」の学習分野 <複数回答可>



n= 112

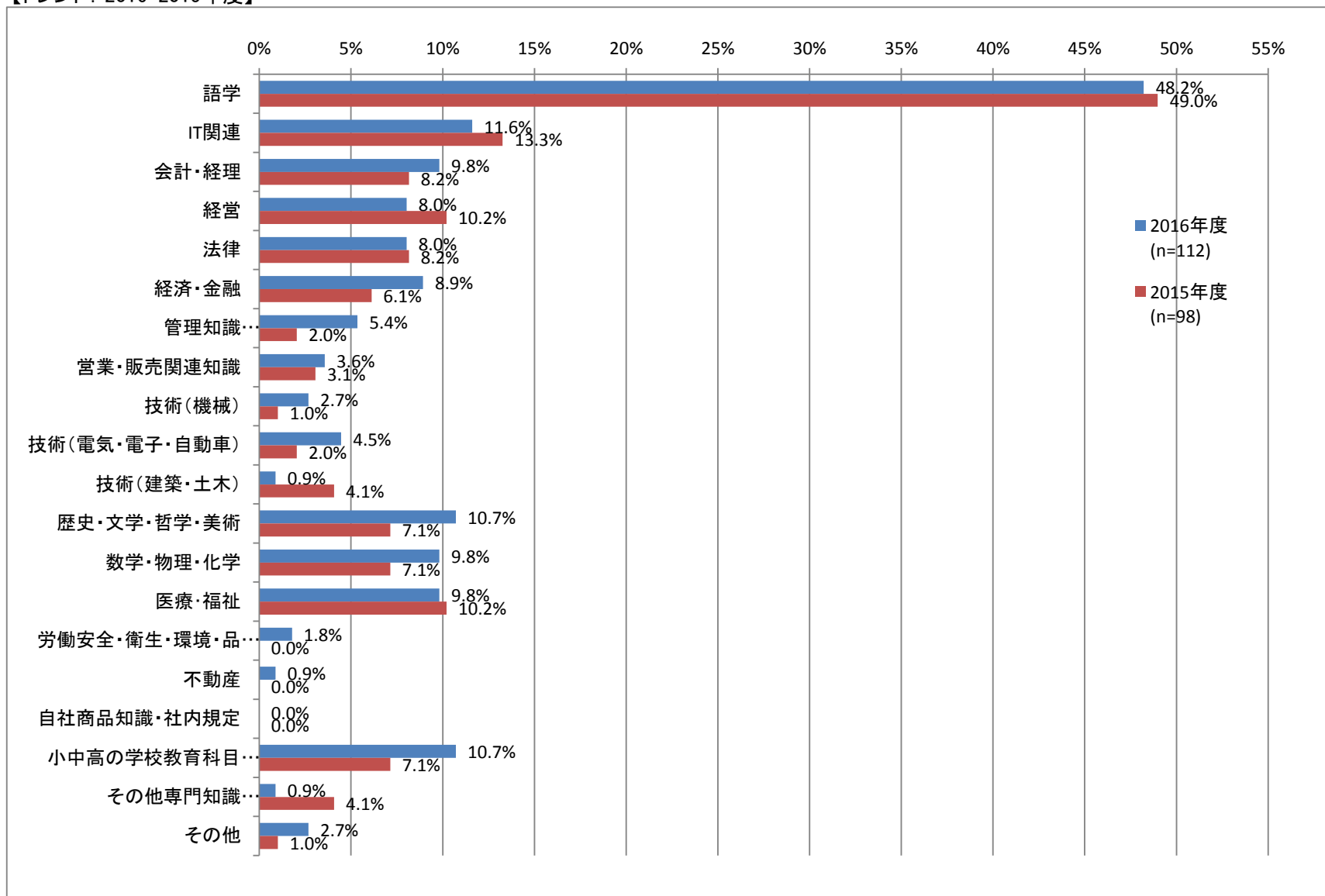
	#	%
語学	54	48.2%
IT関連	13	11.6%
会計・経理	11	9.8%
経営	9	8.0%
法律	9	8.0%
経済・金融	10	8.9%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	6	5.4%
営業・販売関連知識	4	3.6%
技術(機械)	3	2.7%
技術(電気・電子・自動車)	5	4.5%
技術(建築・土木)	1	0.9%
歴史・文学・哲学・美術	12	10.7%
数学・物理・化学	11	9.8%
医療・福祉	11	9.8%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	2	1.8%
不動産	1	0.9%
自社商品知識・社内規定	0	0.0%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	12	10.7%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	1	0.9%
その他	3	2.7%

\*「その他」の回答

- ・通信制短大の授業、課題提出、試験
- ・教育工学
- ・スポーツ

<“C-①”で、『学校』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

【トレンド：2016-2015年度】



	#		%	
	2016年度 (n=112)	2015年度 (n=98)	2016年度 (n=112)	2015年度 (n=98)
語学	54	48	48.2%	49.0%
IT関連	13	13	11.6%	13.3%
会計・経理	11	8	9.8%	8.2%
経営	9	10	8.0%	10.2%
法律	9	8	8.0%	8.2%
経済・金融	10	6	8.9%	6.1%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	6	2	5.4%	2.0%
営業・販売関連知識	4	3	3.6%	3.1%
技術(機械)	3	1	2.7%	1.0%
技術(電気・電子・自動車)	5	2	4.5%	2.0%
技術(建築・土木)	1	4	0.9%	4.1%
歴史・文学・哲学・美術	12	7	10.7%	7.1%
数学・物理・化学	11	7	9.8%	7.1%
医療・福祉	11	10	9.8%	10.2%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	2	0	1.8%	0.0%
不動産	1	0	0.9%	0.0%
自社商品知識・社内規定	0	0	0.0%	0.0%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	12	7	10.7%	7.1%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	1	4	0.9%	4.1%
その他	3	1	2.7%	1.0%
n	112	98		

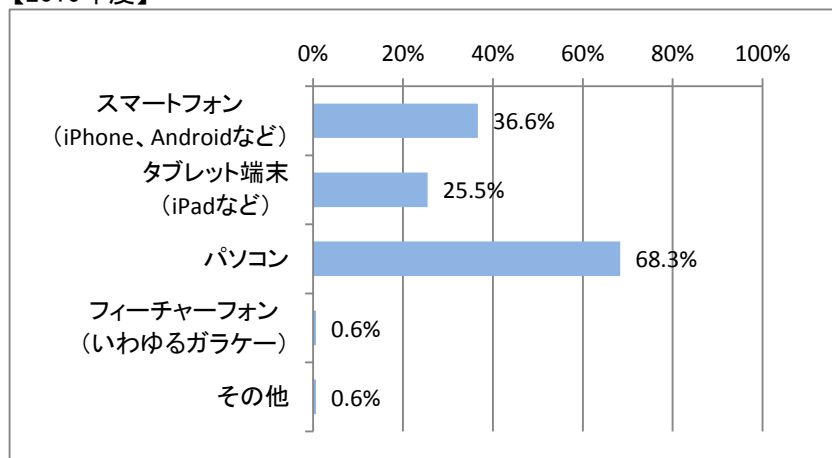


<“C-①”で、『個人』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

F. 個人的に行なった/行っている「eラーニング」

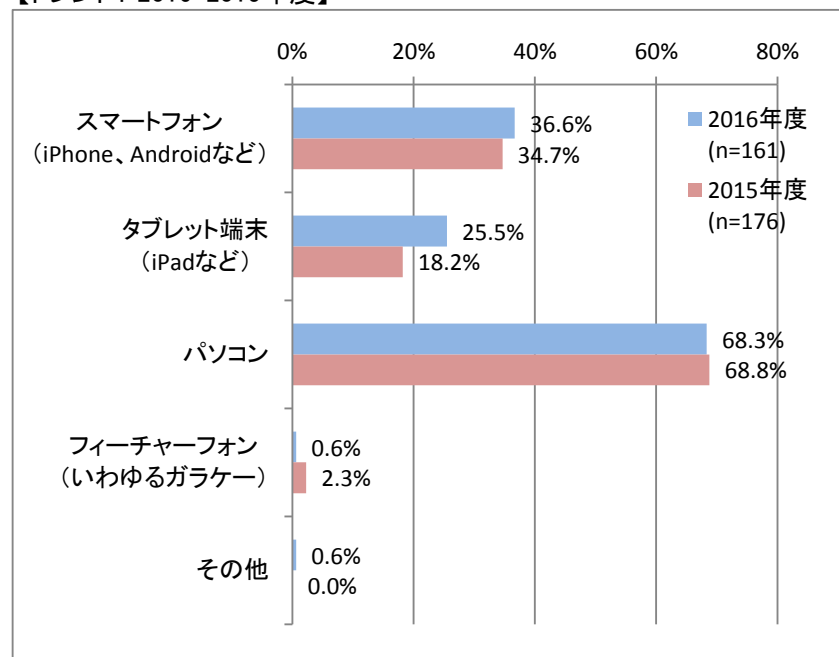
F-① 「eラーニング」のデバイス<複数回答可>

【2016年度】



\*「その他」の回答  
・iPod

【トレンド：2016-2015年度】

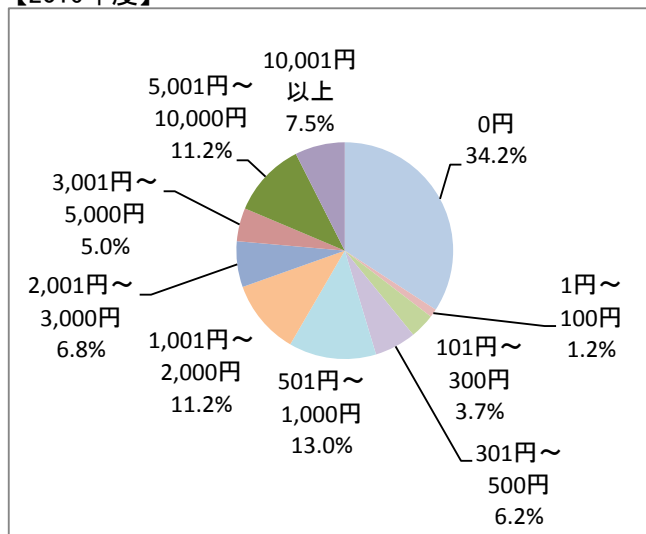


		スマートフォン (iPhone、Androidなど)	タブレット端末 (iPadなど)	パソコン	フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	その他	n
#	2016年度 (n=161)	59	41	110	1	1	161
	2015年度 (n=176)	61	32	121	4	0	176
%	2016年度 (n=161)	36.6%	25.5%	68.3%	0.6%	0.6%	
	2015年度 (n=176)	34.7%	18.2%	68.8%	2.3%	0.0%	

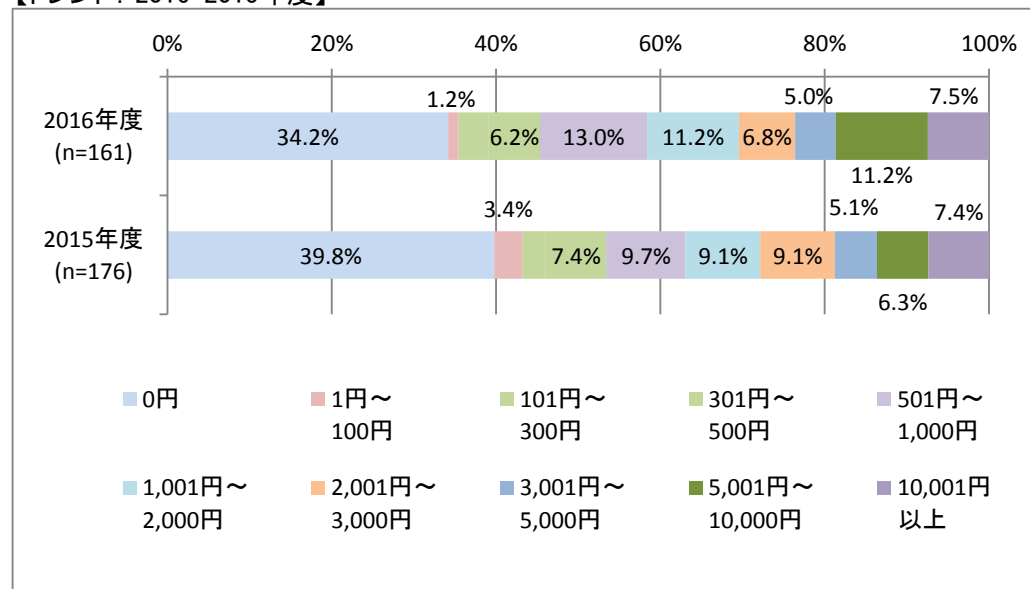
<“C-①”で、『個人』でeラーニングの利用経験があると回答した人について(n=176人)>

F-②「eラーニング」に費やす月額(合計金額)〈択一回答〉

【2016年度】



【トレンド：2016-2015年度】

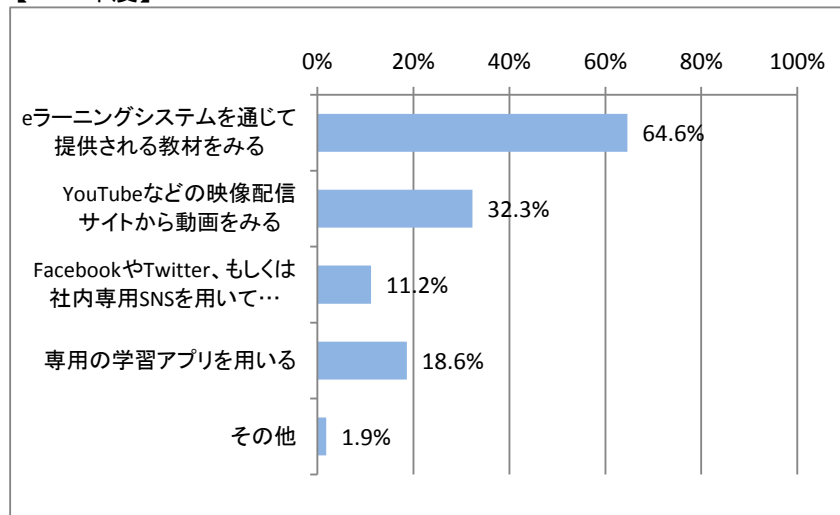


		0円	1円～100円	101円～300円	301円～500円	501円～1,000円	1,001円～2,000円	2,001円～3,000円	3,001円～5,000円	5,001円～10,000円	10,001円以上	計(n)
#	2016年度 (n=161)	55	2	6	10	21	18	11	8	18	12	161
	2015年度 (n=176)	70	6	5	13	17	16	16	9	11	13	176
%	2016年度 (n=161)	34.2%	1.2%	3.7%	6.2%	13.0%	11.2%	6.8%	5.0%	11.2%	7.5%	100%
	2015年度 (n=176)	39.8%	3.4%	2.8%	7.4%	9.7%	9.1%	9.1%	5.1%	6.3%	7.4%	100%

<“C-①”で、『個人』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

F-③ 「eラーニング」の方法 <複数回答可>

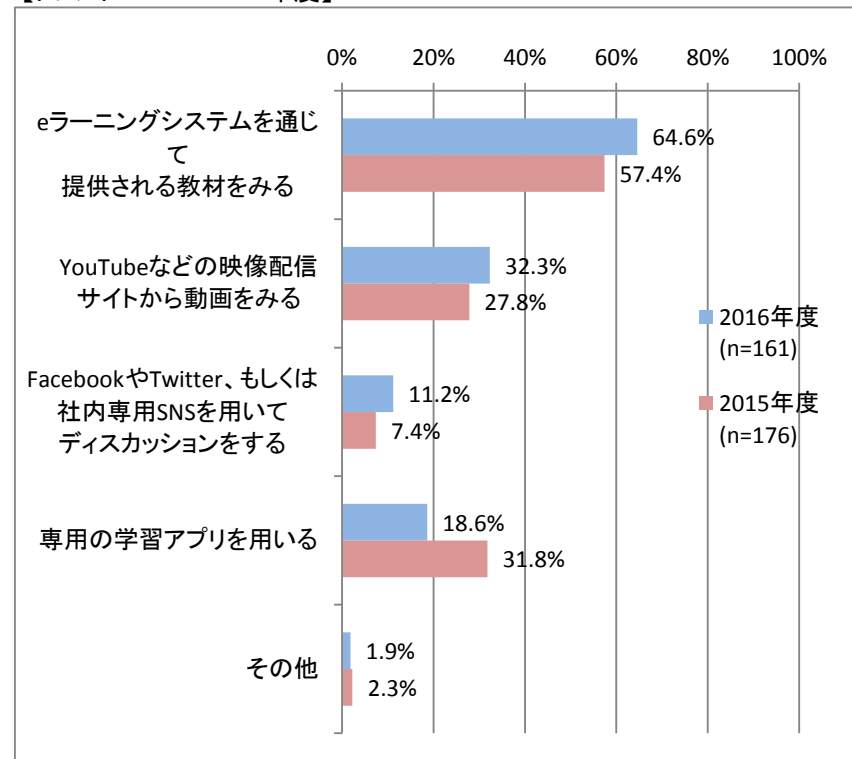
【2016年度】



\*「その他」の回答

- ・gacco
- ・ラジオ
- ・講演会

【トレンド：2016-2015年度】

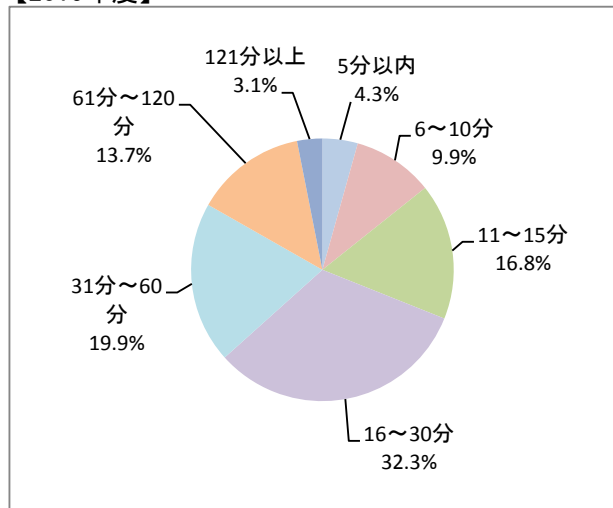


		eラーニングシステムを通じて提供される教材をみる	YouTubeなどの映像配信サイトから動画をみる	FacebookやTwitter、もしくは社内専用SNSを用いてディスカッションをする	専用の学習アプリを用いる	その他	n
#	2016年度 (n=161)	104	52	18	30	3	161
	2015年度 (n=176)	101	49	13	56	4	176
%	2016年度 (n=161)	64.6%	32.3%	11.2%	18.6%	1.9%	
	2015年度 (n=176)	57.4%	27.8%	7.4%	31.8%	2.3%	

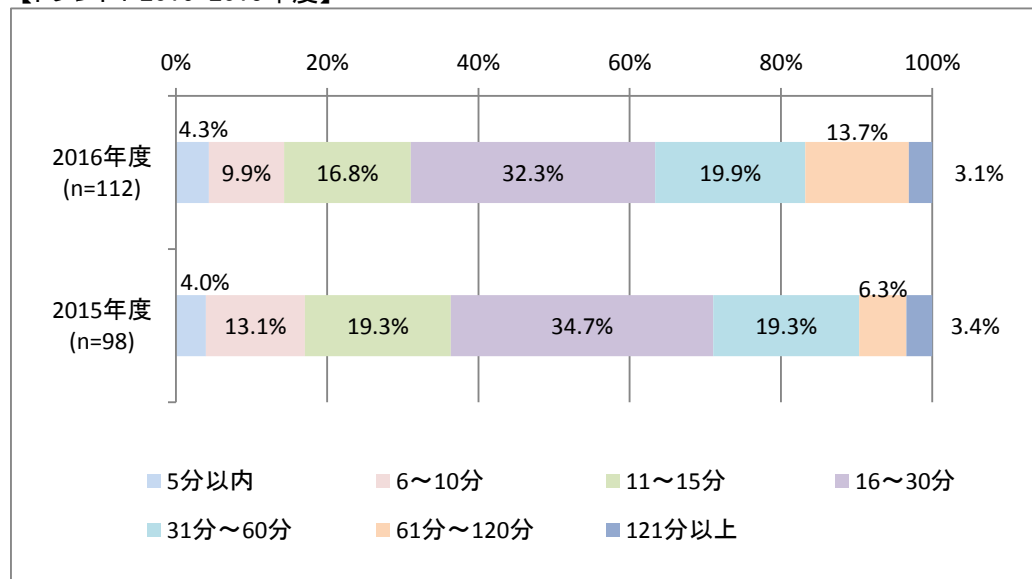
<“C-①”で、『個人』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

F-④「eラーニング」の1度の利用時間<択一回答>

【2016年度】



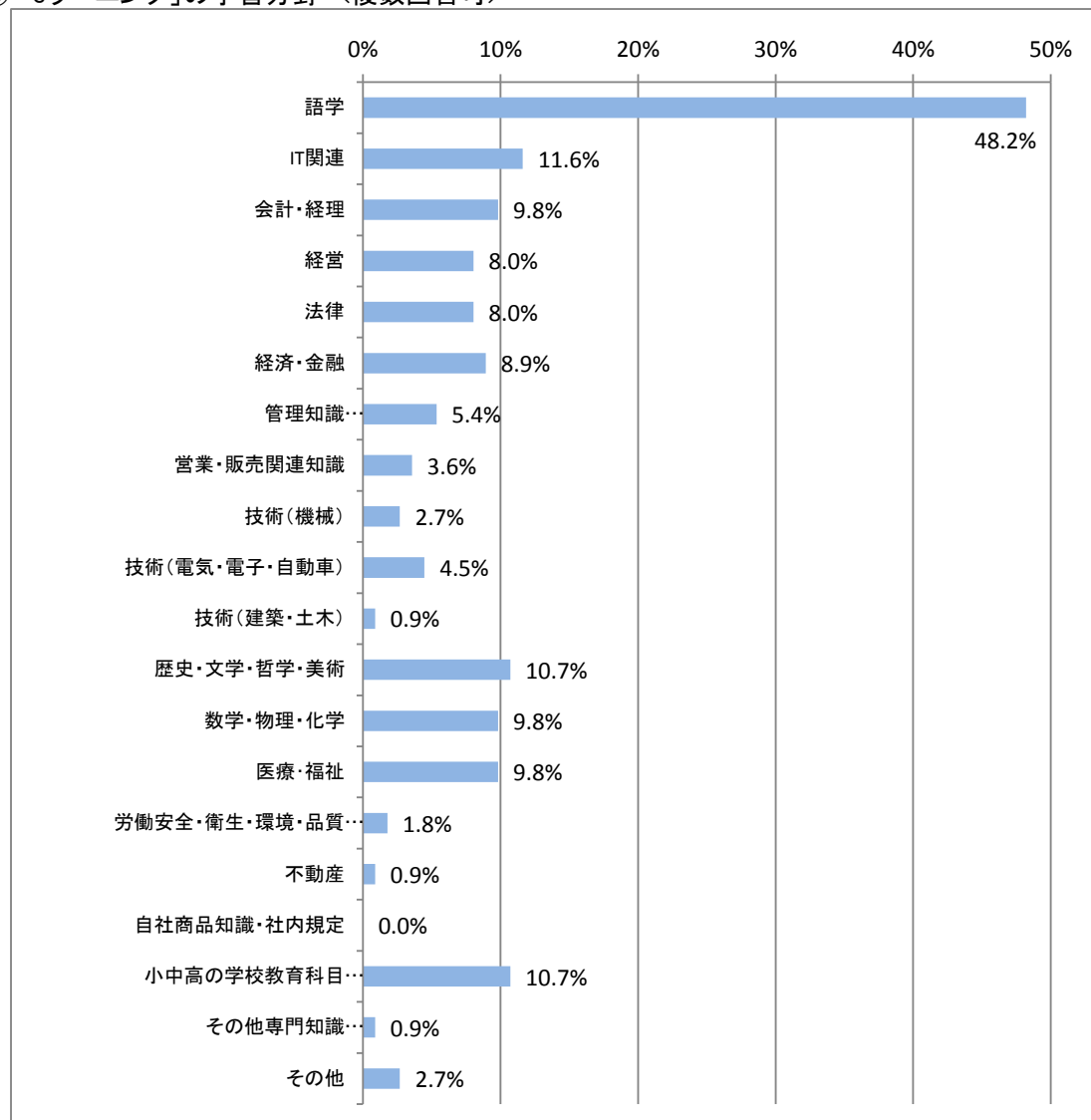
【トレンド：2016-2015年度】



		5分以内	6~10分	11~15分	16~30分	31分~60分	61分~120分	121分以上	計(n)
#	2016年度 (n=112)	7	16	27	52	32	22	5	161
	2015年度 (n=98)	7	23	34	61	34	11	6	176
%	2016年度 (n=112)	4.3%	9.9%	16.8%	32.3%	19.9%	13.7%	3.1%	100.0%
	2015年度 (n=98)	4.0%	13.1%	19.3%	34.7%	19.3%	6.3%	3.4%	100.0%

<“C-①”で、『個人』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

F-⑤ 「eラーニング」の学習分野 <複数回答可>



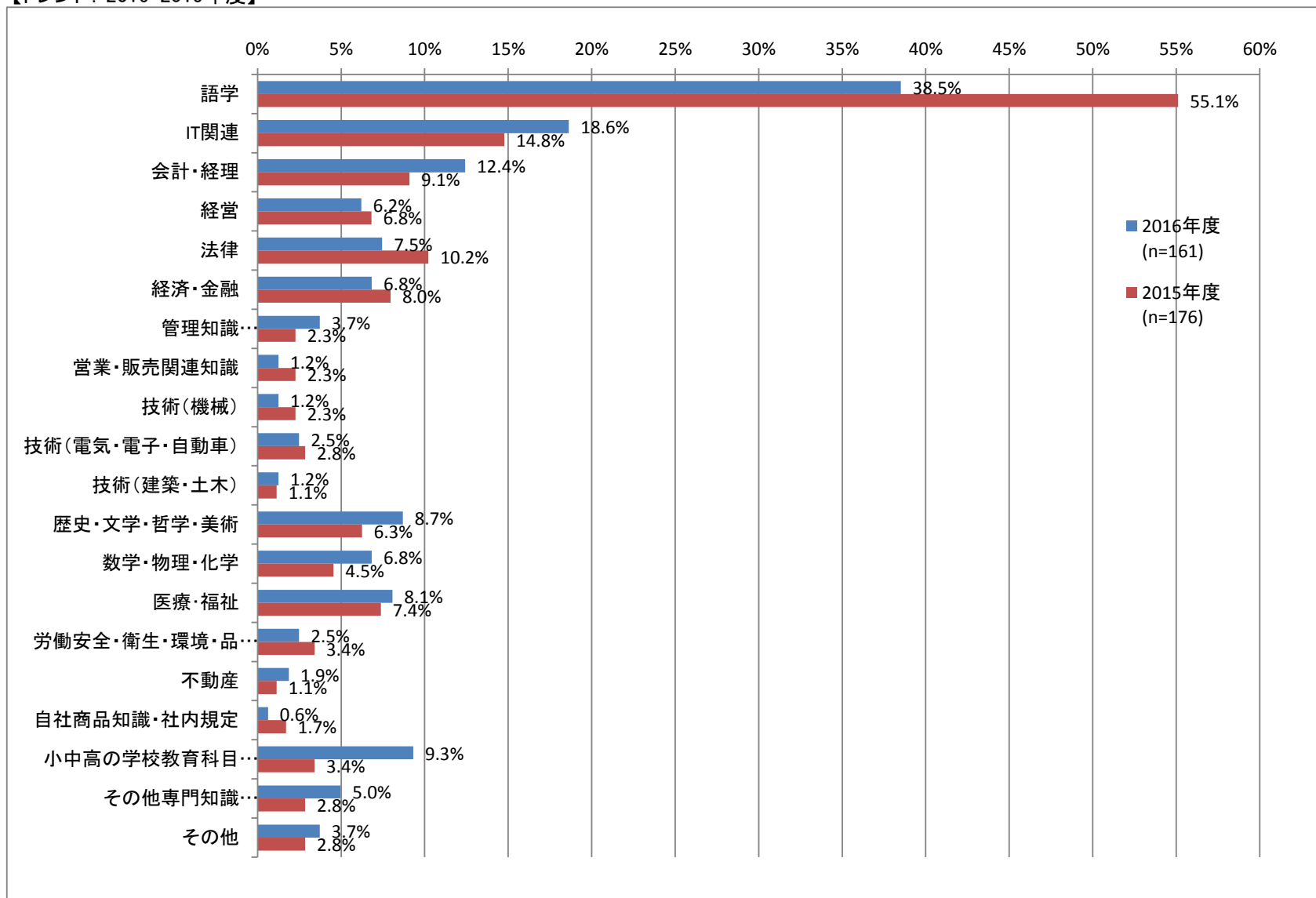
n= 161

	#	%
語学	62	48.2%
IT関連	30	11.6%
会計・経理	20	9.8%
経営	10	8.0%
法律	12	8.0%
経済・金融	11	8.9%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	6	5.4%
営業・販売関連知識	2	3.6%
技術(機械)	2	2.7%
技術(電気・電子・自動車)	4	4.5%
技術(建築・土木)	2	0.9%
歴史・文学・哲学・美術	14	10.7%
数学・物理・化学	11	9.8%
医療・福祉	13	9.8%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	4	1.8%
不動産	3	0.9%
自社商品知識・社内規定	1	0.0%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	15	10.7%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	8	0.9%
その他	6	2.7%

- \*「その他」の回答
- ・貿易実務
  - ・社会保険全般
  - ・速読
  - ・ダイビングライセンス
  - ・スポーツ

<“C-①”で、『個人』でeラーニングの利用経験があると回答した人について>

【トレンド：2016-2015年度】

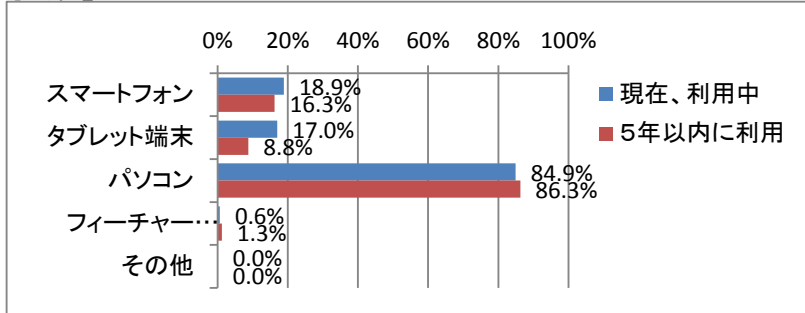


	#		%	
	2016年度 (n=161)	2015年度 (n=176)	2016年度 (n=161)	2015年度 (n=176)
語学	62	97	38.5%	55.1%
IT関連	30	26	18.6%	14.8%
会計・経理	20	16	12.4%	9.1%
経営	10	12	6.2%	6.8%
法律	12	18	7.5%	10.2%
経済・金融	11	14	6.8%	8.0%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	6	4	3.7%	2.3%
営業・販売関連知識	2	4	1.2%	2.3%
技術(機械)	2	4	1.2%	2.3%
技術(電気・電子・自動車)	4	5	2.5%	2.8%
技術(建築・土木)	2	2	1.2%	1.1%
歴史・文学・哲学・美術	14	11	8.7%	6.3%
数学・物理・化学	11	8	6.8%	4.5%
医療・福祉	13	13	8.1%	7.4%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	4	6	2.5%	3.4%
不動産	3	2	1.9%	1.1%
自社商品知識・社内規定	1	3	0.6%	1.7%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語)	15	6	9.3%	3.4%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	8	5	5.0%	2.8%
その他	6	5	3.7%	2.8%
n	161	176		

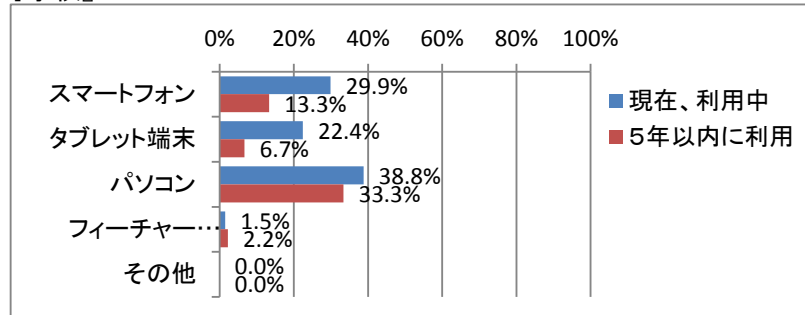
DEF-2. 「eラーニング」のデバイスの動向 <各複数回答可>

【2016年度】

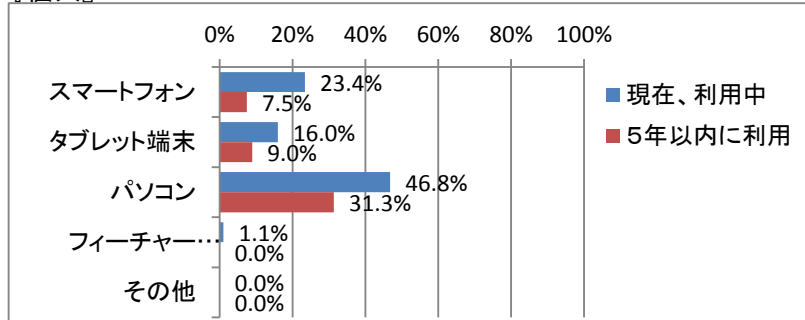
『会社』



『学校』

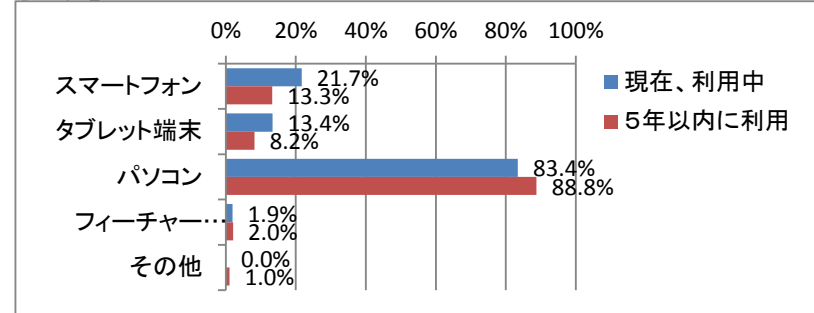


『個人』

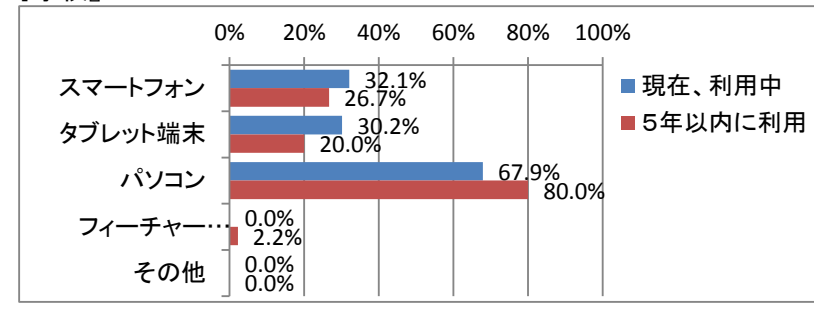


【2015年度】

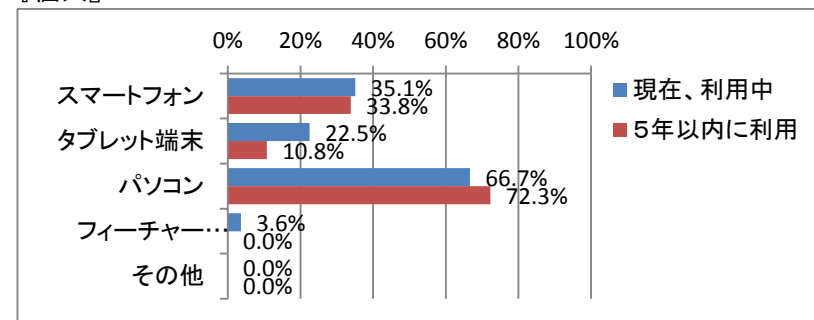
『会社』



『学校』



『個人』





【2016年度】

<“C-①”で、『会社』でeラーニングの利用経験があると回答した人について(n=239人)>

『会社』	#		%	
	n=	159	80	
	現在、利用中	5年以内に利用	現在、利用中	5年以内に利用
スマートフォン	30	13	18.9%	16.3%
タブレット端末	27	7	17.0%	8.8%
パソコン	135	69	84.9%	86.3%
フィーチャーフォン	1	1	0.6%	1.3%
その他	0	0	0.0%	0.0%

<“C-①”で、『学校』でeラーニングの利用経験があると回答した人について(n=112人)>

『学校』	#		%	
	n=	67	45	
	現在、利用中	5年以内に利用	現在、利用中	5年以内に利用
スマートフォン	20	6	29.9%	13.3%
タブレット端末	15	3	22.4%	6.7%
パソコン	26	15	38.8%	33.3%
フィーチャーフォン	1	1	1.5%	2.2%
その他	0	0	0.0%	0.0%

<“C-①”で、『個人』でeラーニングの利用経験があると回答した人について(n=161人)>

『個人』	#		%	
	n=	94	67	
	現在、利用中	5年以内に利用	現在、利用中	5年以内に利用
スマートフォン	22	5	23.4%	7.5%
タブレット端末	15	6	16.0%	9.0%
パソコン	44	21	46.8%	31.3%
フィーチャーフォン	1	0	1.1%	0.0%
その他	0	0	0.0%	0.0%

【2015年度】

＜“C-①”で、『会社』でeラーニングの利用経験があると回答した人について(n=255人)＞

『会社』	#		%	
	n=	157	98	
	現在、利用中	5年以内に利用	現在、利用中	5年以内に利用
スマートフォン	34	13	21.7%	13.3%
タブレット端末	21	8	13.4%	8.2%
パソコン	131	87	83.4%	88.8%
フィーチャーフォン	3	2	1.9%	2.0%
その他	0	1	0.0%	1.0%

＜“C-①”で、『学校』でeラーニングの利用経験があると回答した人について(n=98人)＞

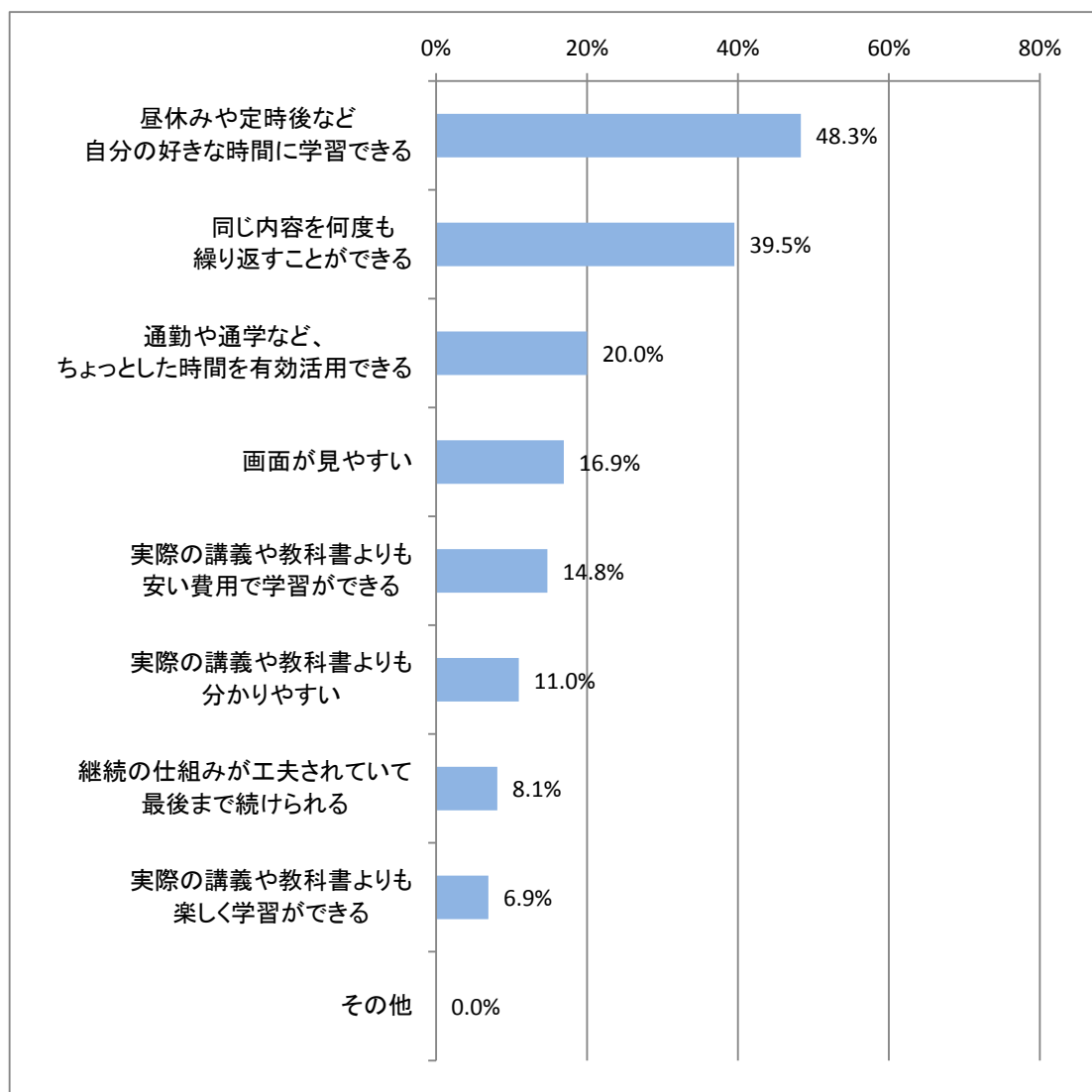
『学校』	#		%	
	n=	53	45	
	現在、利用中	5年以内に利用	現在、利用中	5年以内に利用
スマートフォン	17	12	32.1%	26.7%
タブレット端末	16	9	30.2%	20.0%
パソコン	36	36	67.9%	80.0%
フィーチャーフォン	0	1	0.0%	2.2%
その他	0	0	0.0%	0.0%

＜“C-①”で、『個人』でeラーニングの利用経験があると回答した人について(n=176人)＞

『個人』	#		%	
	n=	111	65	
	現在、利用中	5年以内に利用	現在、利用中	5年以内に利用
スマートフォン	39	22	35.1%	33.8%
タブレット端末	25	7	22.5%	10.8%
パソコン	74	47	66.7%	72.3%
フィーチャーフォン	4	0	3.6%	0.0%
その他	0	0	0.0%	0.0%

<全員への質問>

G. これまで「eラーニング」を利用してきて、良かったこと、役に立ったと感じたこと<複数回答可>

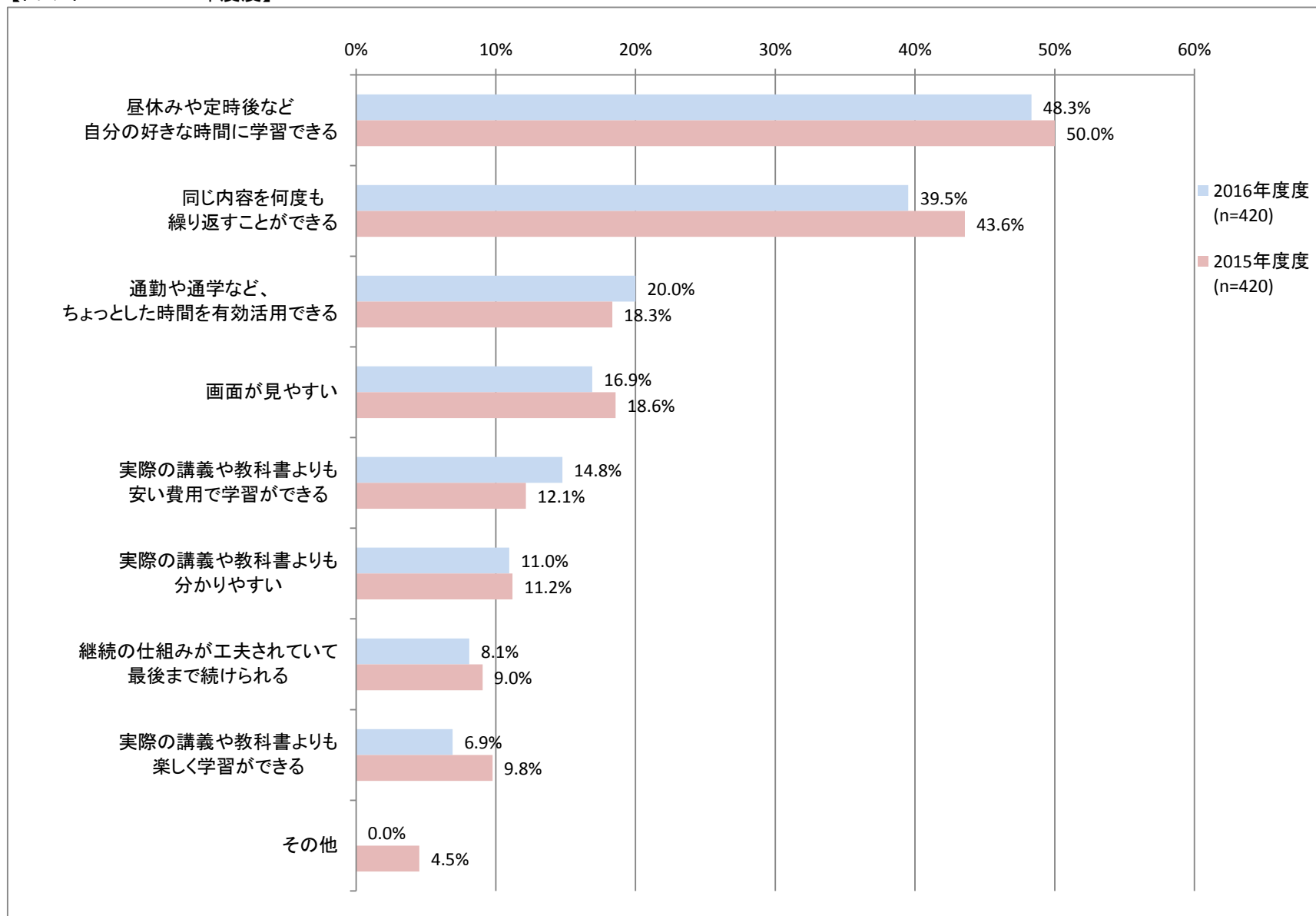


n= 420

	#	%
昼休みや定時後など自分の好きな時間に学習できる	203	48.3%
同じ内容を何度も繰り返すことができる	166	39.5%
通勤や通学など、ちょっとした時間を有効活用できる	84	20.0%
画面が見やすい	71	16.9%
実際の講義や教科書よりも安い費用で学習ができる	62	14.8%
実際の講義や教科書よりも分かりやすい	46	11.0%
継続の仕組みが工夫されていて最後まで続けられる	34	8.1%
実際の講義や教科書よりも楽しく学習ができる	29	6.9%
その他	0	0.0%

\*「その他」の回答

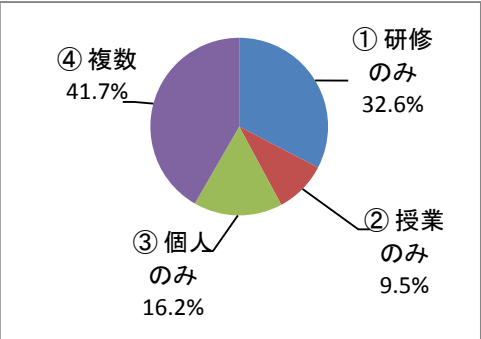
【トレンド：2016-2015年度度】



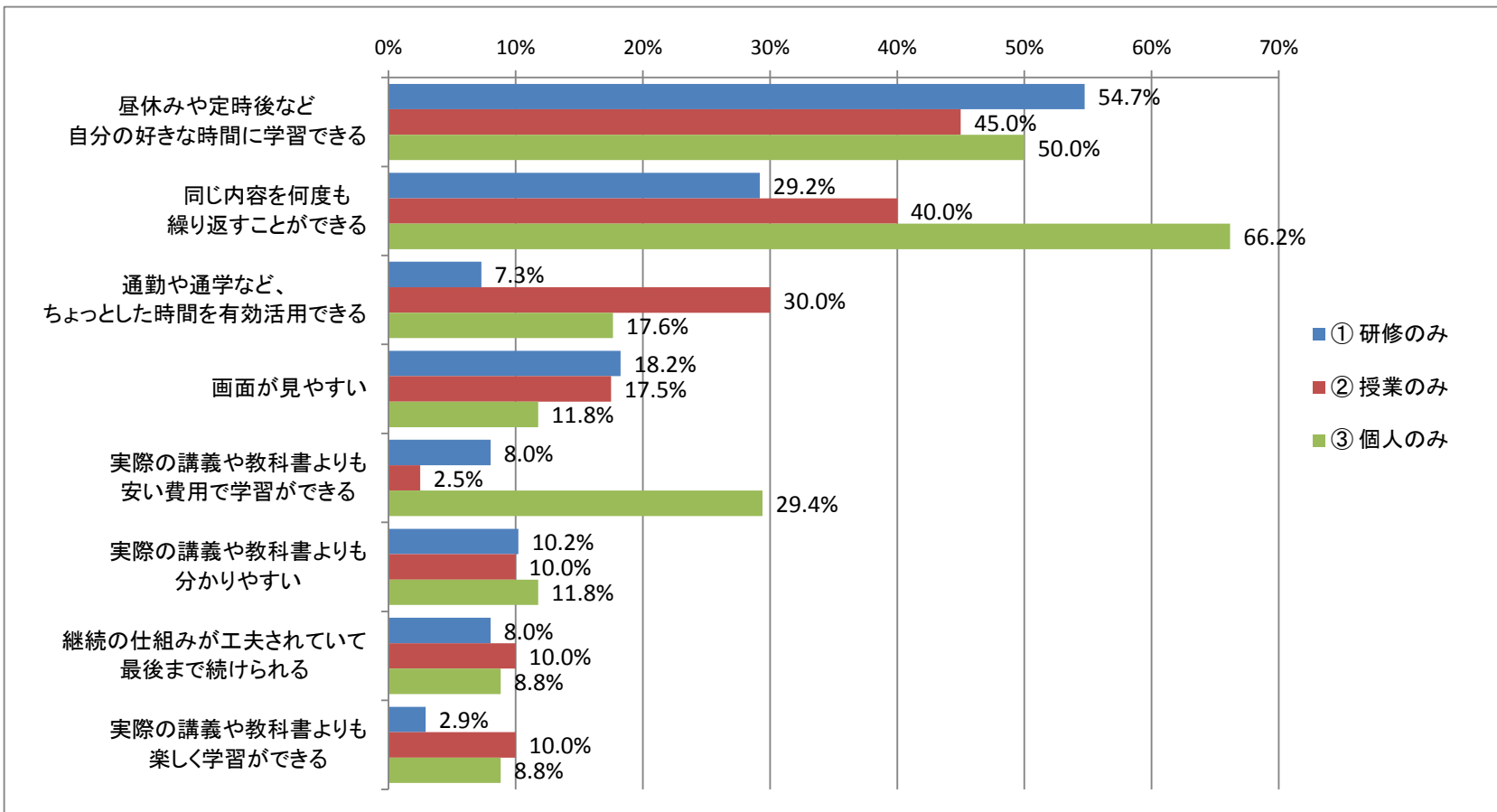
	#		%	
	2016年度 度	2015年度 度	2016年度 度	2015年度 度
昼休みや定時後など 自分の好きな時間に学習できる	203	210	48.3%	50.0%
同じ内容を何度も 繰り返すことができる	166	183	39.5%	43.6%
通勤や通学など、 ちょっとした時間を有効活用できる	84	77	20.0%	18.3%
画面が見やすい	71	78	16.9%	18.6%
実際の講義や教科書よりも 安い費用で学習ができる	62	51	14.8%	12.1%
実際の講義や教科書よりも 分かりやすい	46	47	11.0%	11.2%
継続の仕組みが工夫されていて 最後まで続けられる	34	38	8.1%	9.0%
実際の講義や教科書よりも 楽しく学習ができる	29	41	6.9%	9.8%
その他	0	19	0.0%	4.5%
n	420	420		

G-2. これまで「eラーニング」を利用してきて、良かったこと、役に立ったと感じたこと〈複数回答可〉

①研修のみで利用している人  
 ②授業のみで利用している人  
 ③個人でのみ利用している人  
 を抜き出して集計  
 (複数で利用している人を除外して集計)



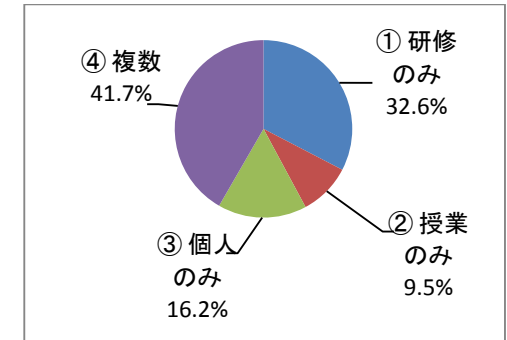
<分類別>



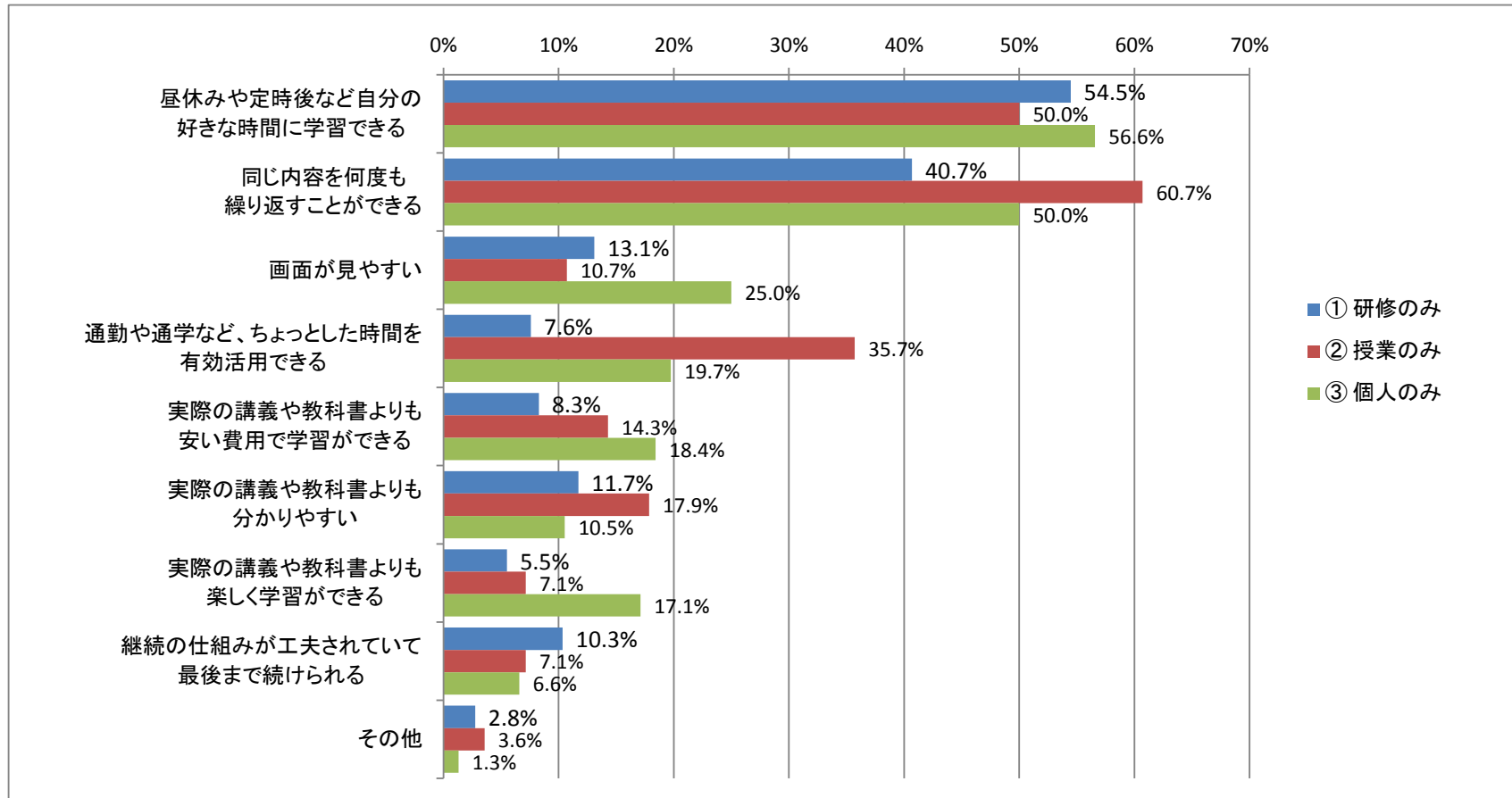
	分類	昼休みや定時後など自分の好きな時間に学習で	同じ内容を何度も繰り返すことができる	通勤や通学など、ちょっとした時間を有効活用できる	画面が見やすい	実際の講義や教科書よりも安い費用で学習ができる	実際の講義や教科書よりも分かりやすい	継続の仕組みが工夫されていて最後まで続けられる	実際の講義や教科書よりも楽しく学習ができる	その他	n
#	① 研修のみ	75	40	10	25	11	14	11	4	0	137
	② 授業のみ	18	16	12	7	1	4	4	4	0	40
	③ 個人のみ	34	45	12	8	20	8	6	6	0	68
	④ 複数	76	65	50	31	30	20	13	15	0	175
	計(全体)	203	166	84	71	62	46	34	29	0	420
%	① 研修のみ	54.7%	29.2%	7.3%	18.2%	8.0%	10.2%	8.0%	2.9%	0.0%	
	② 授業のみ	45.0%	40.0%	30.0%	17.5%	2.5%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	
	③ 個人のみ	50.0%	66.2%	17.6%	11.8%	29.4%	11.8%	8.8%	8.8%	0.0%	
	④ 複数	43.4%	37.1%	28.6%	17.7%	17.1%	11.4%	7.4%	8.6%	0.0%	
	計(全体)	48.3%	39.5%	20.0%	16.9%	14.8%	11.0%	8.1%	6.9%	0.0%	

【2015年度】

①研修のみで利用している人  
②授業のみで利用している人  
③個人でのみ利用している人  
を抜き出して集計  
(複数で利用している人を除外して集計)



<分類別>

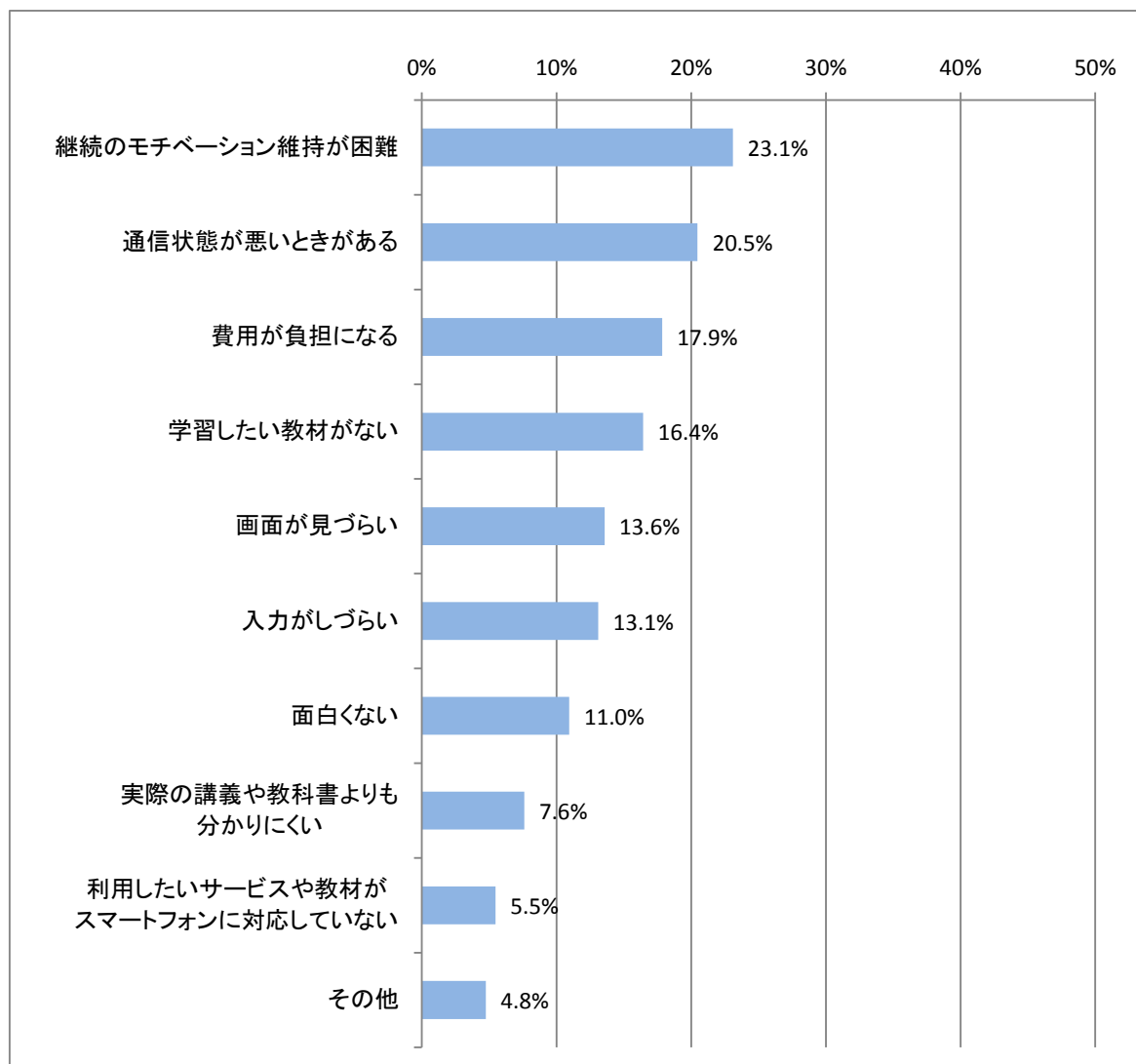




	分類	昼休みや定時後など自分の好きな時間に学習できる	同じ内容を何度も繰り返すことができる	画面が見やすい	通勤や通学など、ちょっとした時間を有効活用できる	実際の講義や教科書よりも安い費用で学習ができる	実際の講義や教科書よりも分かりやすい	実際の講義や教科書よりも楽しく学習ができる	継続の仕組みが工夫されていて最後まで続けられる	その他	n
#	① 研修のみ	79	59	19	11	12	17	8	15	4	145
	② 授業のみ	14	17	3	10	4	5	2	2	1	28
	③ 個人のみ	43	38	19	15	14	8	13	5	1	76
	④ 複数	74	69	37	41	21	17	18	16	13	171
	計(全体)	210	183	78	77	51	47	41	38	19	420
%	① 研修のみ	54.5%	40.7%	13.1%	7.6%	8.3%	11.7%	5.5%	10.3%	2.8%	
	② 授業のみ	50.0%	60.7%	10.7%	35.7%	14.3%	17.9%	7.1%	7.1%	3.6%	
	③ 個人のみ	56.6%	50.0%	25.0%	19.7%	18.4%	10.5%	17.1%	6.6%	1.3%	
	④ 複数	43.3%	40.4%	21.6%	24.0%	12.3%	9.9%	10.5%	9.4%	7.6%	
	計(全体)	50.0%	43.6%	18.6%	18.3%	12.1%	11.2%	9.8%	9.0%	4.5%	

<全員への質問>

H. これまで「eラーニング」を利用したなかで、不満に感じたこと<複数回答可>

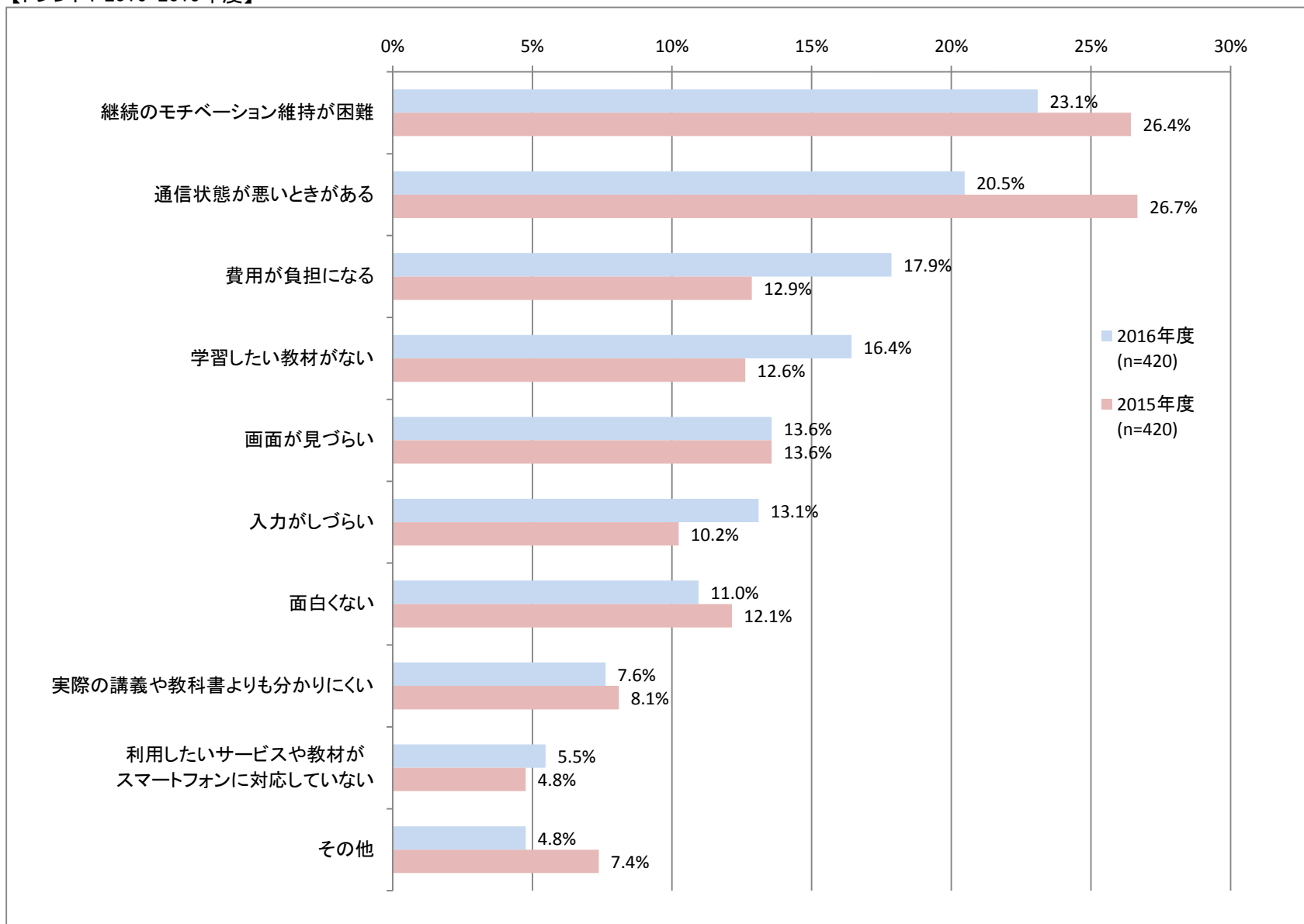


n= 420

	#	%
継続のモチベーション維持が困難	97	23.1%
通信状態が悪いときがある	86	20.5%
費用が負担になる	75	17.9%
学習したい教材がない	69	16.4%
画面が見づらい	57	13.6%
入力がしづらい	55	13.1%
面白くない	46	11.0%
実際の講義や教科書よりも分かりにくい	32	7.6%
利用したいサービスや教材がスマートフォンに対応していない	23	5.5%
その他	20	4.8%

- \*「その他」の回答
- ・なし、特になし(17)
  - ・動作が遅い
  - ・時間帯
  - ・目に見える効果がない

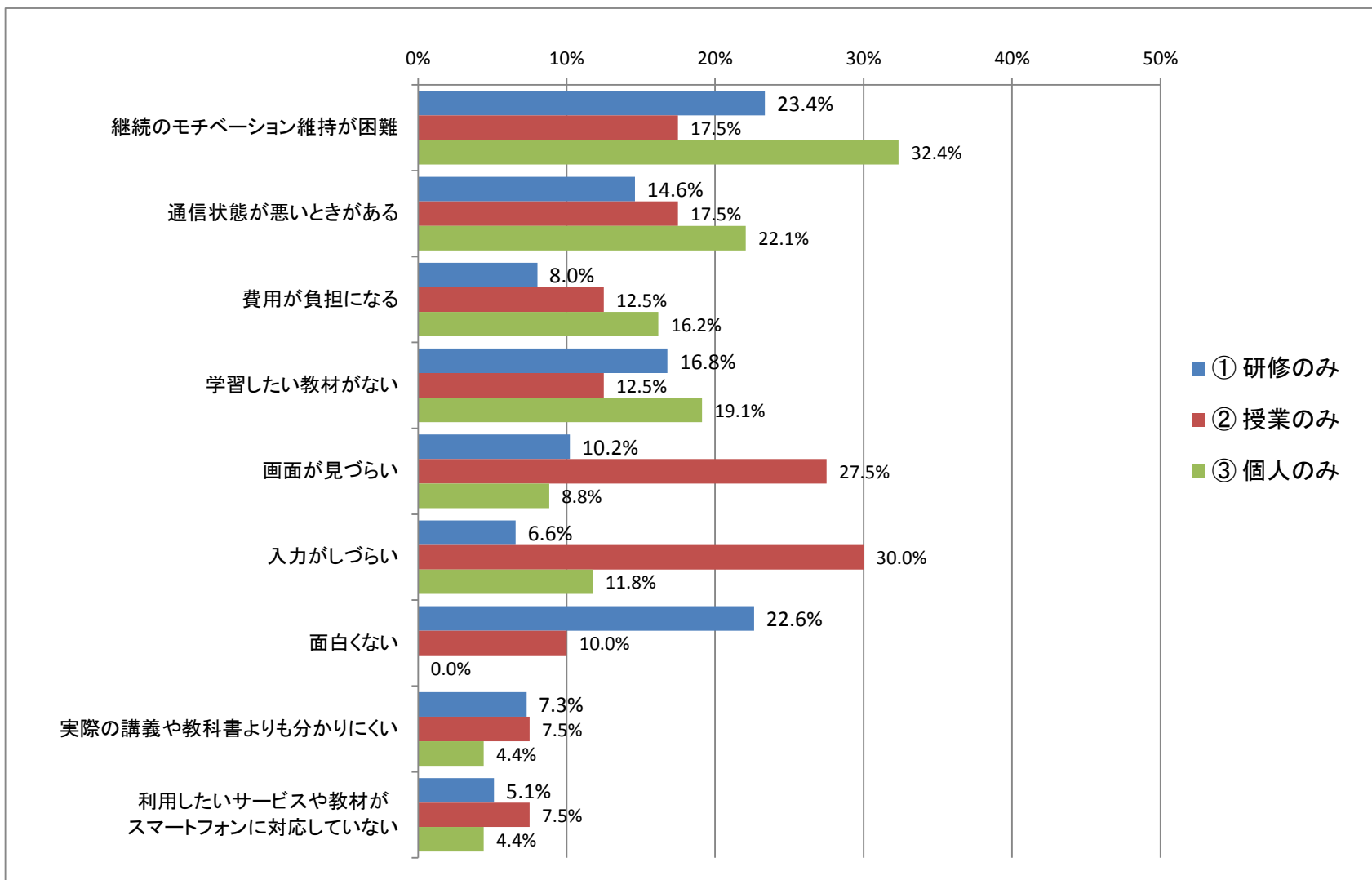
【トレンド：2016-2015年度】



	#		%	
	2016年度 (n=420)	2015年度 (n=420)	2016年度 (n=420)	2015年度 (n=420)
継続のモチベーション維持が困難	97	111	23.1%	26.4%
通信状態が悪いときがある	86	112	20.5%	26.7%
費用が負担になる	75	54	17.9%	12.9%
学習したい教材がない	69	53	16.4%	12.6%
画面が見づらい	57	57	13.6%	13.6%
入力がしづらい	55	43	13.1%	10.2%
面白くない	46	51	11.0%	12.1%
実際の講義や教科書よりも分かりにくい	32	34	7.6%	8.1%
利用したいサービスや教材が スマートフォンに対応していない	23	20	5.5%	4.8%
その他	20	31	4.8%	7.4%
n	420	420		

H-2. これまで「eラーニング」を利用したなかで、不満に感じたこと〈複数回答可〉

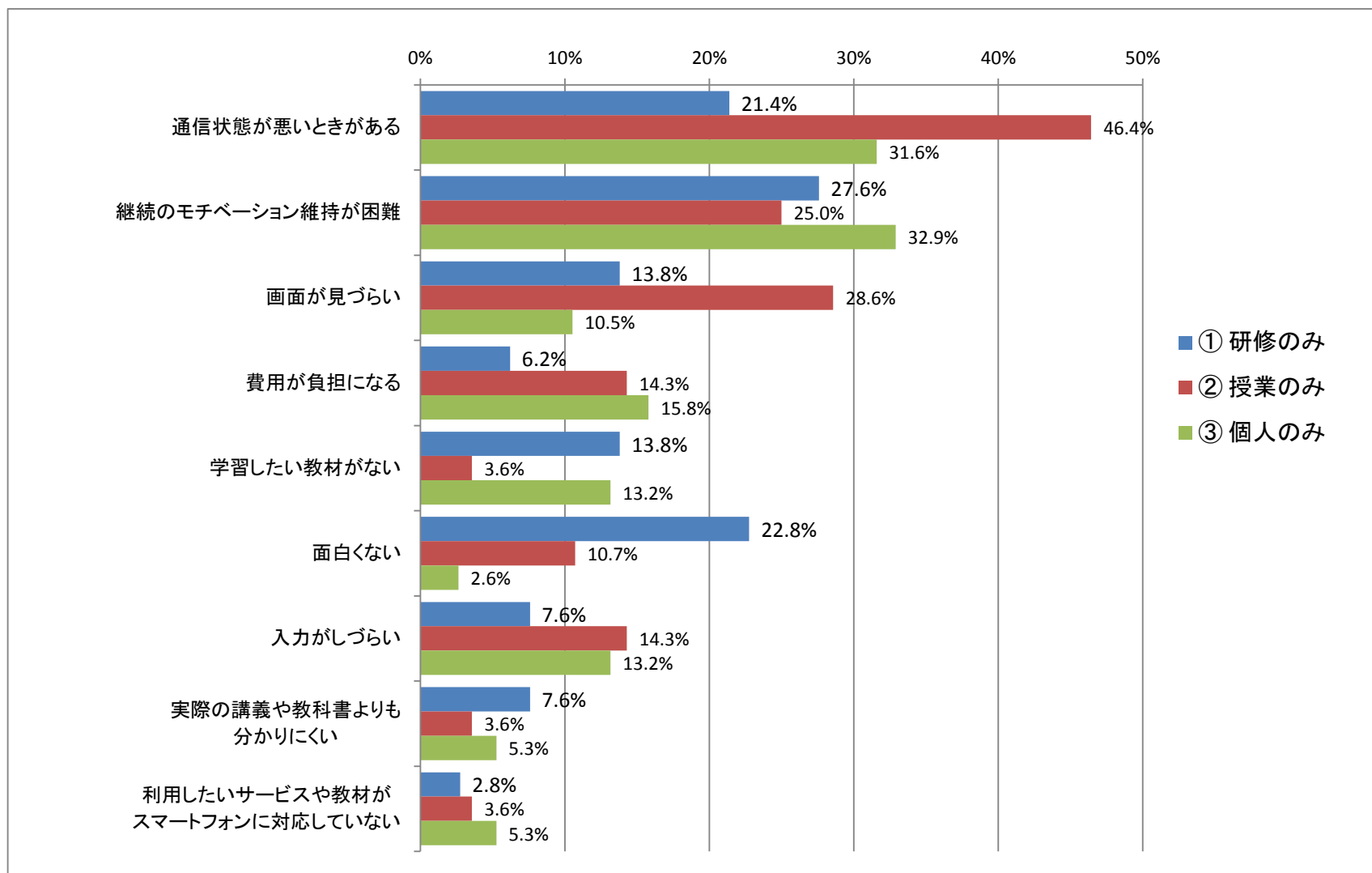
<分類別〉



	分類	継続のモチベーション維持が困難	通信状態が悪いときがある	費用が負担になる	学習したい教材がない	画面が見づらい	入力がしづらい	面白くない	実際の講義や教科書よりも分かりにくい	利用したいサービスや教材がスマートフォンに対応していない	その他	n
#	① 研修のみ	32	20	11	23	14	9	31	10	7	7	137
	② 授業のみ	7	7	5	5	11	12	4	3	3	1	40
	③ 個人のみ	22	15	11	13	6	8	0	3	3	10	68
	④ 複数	36	44	48	28	26	26	11	16	10	2	175
	計(全体)	97	86	75	69	57	55	46	32	23	20	420
%	① 研修のみ	23.4%	14.6%	8.0%	16.8%	10.2%	6.6%	22.6%	7.3%	5.1%	5.1%	
	② 授業のみ	17.5%	17.5%	12.5%	12.5%	27.5%	30.0%	10.0%	7.5%	7.5%	2.5%	
	③ 個人のみ	32.4%	22.1%	16.2%	19.1%	8.8%	11.8%	0.0%	4.4%	4.4%	14.7%	
	④ 複数	20.6%	25.1%	27.4%	16.0%	14.9%	14.9%	6.3%	9.1%	5.7%	1.1%	
	計(全体)	23.1%	20.5%	17.9%	16.4%	13.6%	13.1%	11.0%	7.6%	5.5%	4.8%	

【2015年度】

<分類別>

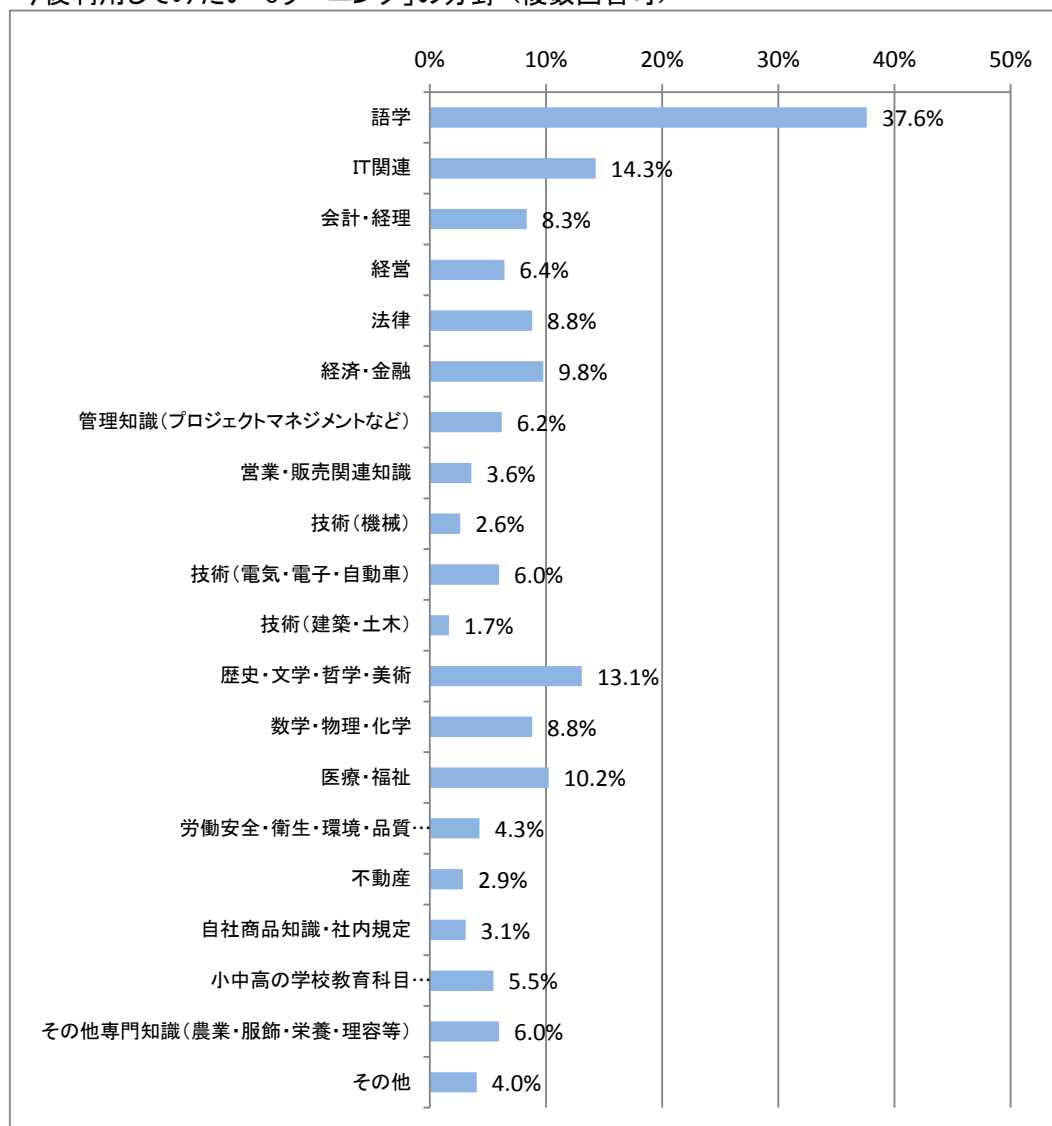


	分類	通信状態 が悪いと きがある	継続のモ チペー ション維 持が困難	画面が見 づらい	費用が負 担になる	学習した い教材が ない	面白くな い	入力がし づらい	実際の講 義や教科 書よりも 分かりに くい	利用した いサービ スや教材 がスマー トフォン に対応し ていない	その他	n
#	① 研修のみ	31	40	20	9	20	33	11	11	4	12	145
	② 授業のみ	13	7	8	4	1	3	4	1	1	0	28
	③ 個人のみ	24	25	8	12	10	2	10	4	4	6	76
	④ 複数	44	39	21	29	22	13	18	18	11	13	171
	計(全体)	112	111	57	54	53	51	43	34	20	31	420
%	① 研修のみ	21.4%	27.6%	13.8%	6.2%	13.8%	22.8%	7.6%	7.6%	2.8%	8.3%	
	② 授業のみ	46.4%	25.0%	28.6%	14.3%	3.6%	10.7%	14.3%	3.6%	3.6%	0.0%	
	③ 個人のみ	31.6%	32.9%	10.5%	15.8%	13.2%	2.6%	13.2%	5.3%	5.3%	7.9%	
	④ 複数	25.7%	22.8%	12.3%	17.0%	12.9%	7.6%	10.5%	10.5%	6.4%	7.6%	
	計(全体)	26.7%	26.4%	13.6%	12.9%	12.6%	12.1%	10.2%	8.1%	4.8%	7.4%	



<全員への質問>

1. 今後利用してみたい「eラーニング」の分野<複数回答可>

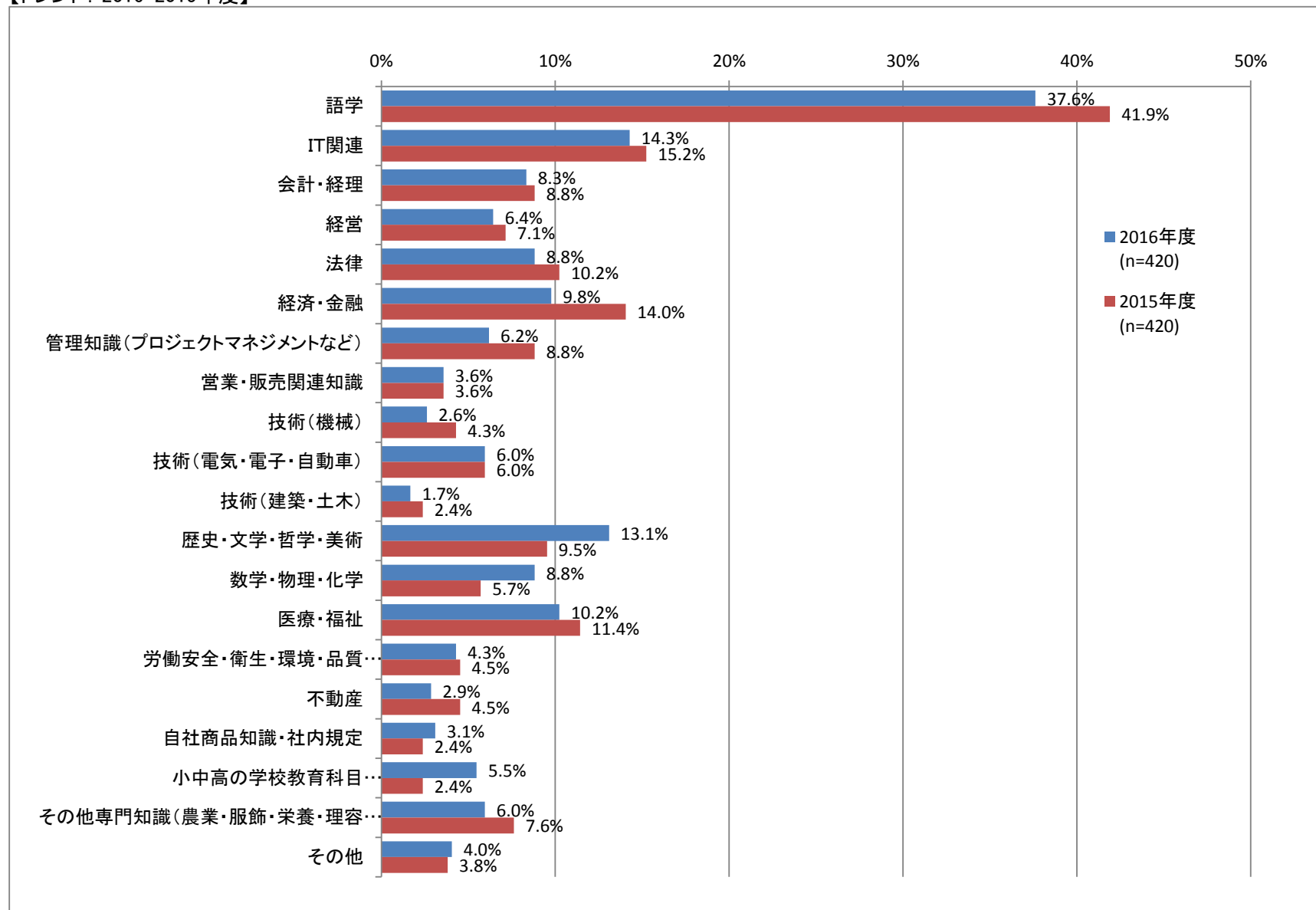


n= 420

	#	%
語学	158	37.6%
IT関連	60	14.3%
会計・経理	35	8.3%
経営	27	6.4%
法律	37	8.8%
経済・金融	41	9.8%
管理知識(プロジェクトマネジメントなど)	26	6.2%
営業・販売関連知識	15	3.6%
技術(機械)	11	2.6%
技術(電気・電子・自動車)	25	6.0%
技術(建築・土木)	7	1.7%
歴史・文学・哲学・美術	55	13.1%
数学・物理・化学	37	8.8%
医療・福祉	43	10.2%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	18	4.3%
不動産	12	2.9%
自社商品知識・社内規定	13	3.1%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	23	5.5%
その他専門知識(農業・服飾・栄養・理容等)	25	6.0%
その他	17	4.0%

- \*「その他」の回答
- ・なし、特になし(15)
  - ・ヨガ
  - ・保育

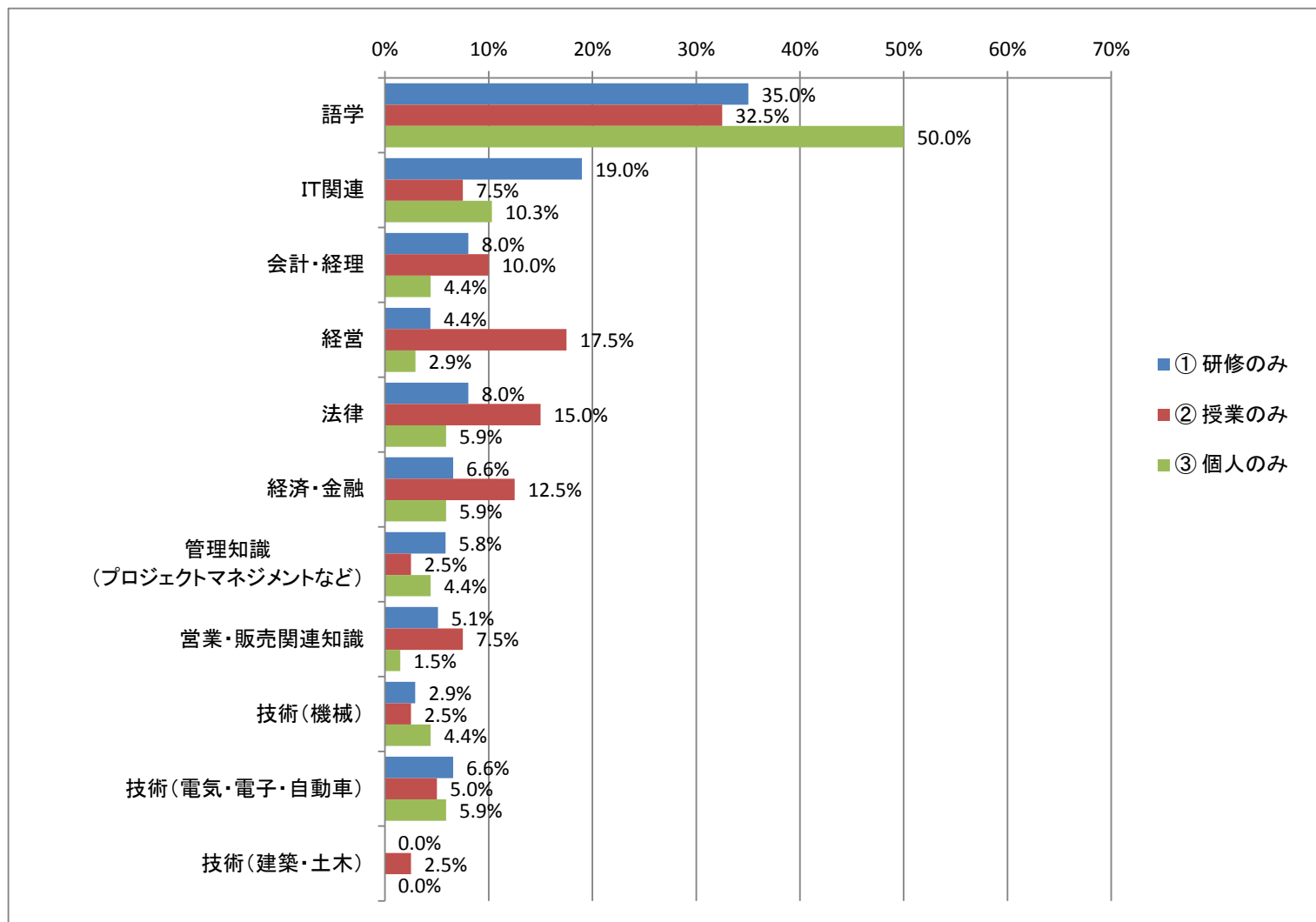
【トレンド：2016-2015年度】



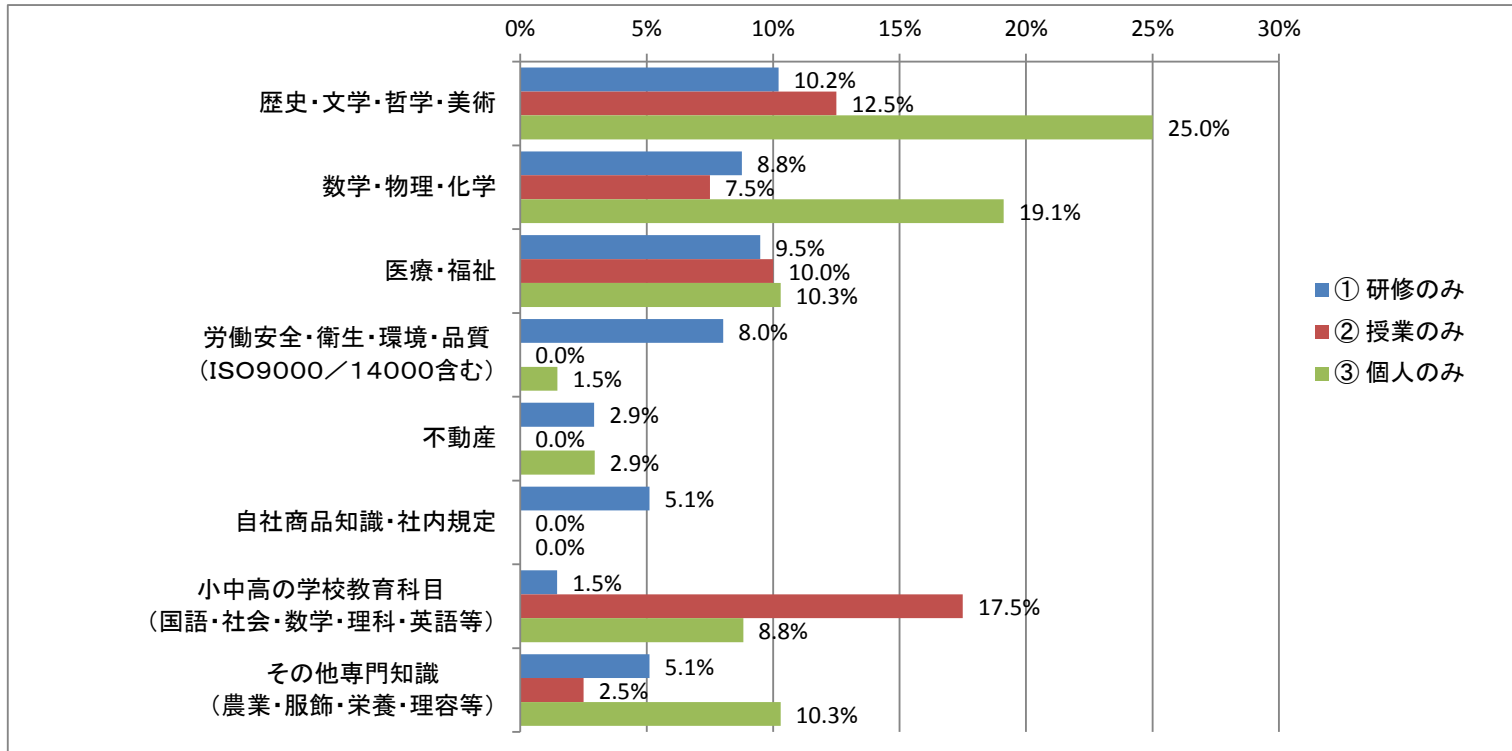
	#		%	
	2016年度 (n=420)	2015年度 (n=420)	2016年度 (n=420)	2015年度 (n=420)
語学	158	176	37.6%	41.9%
IT関連	60	64	14.3%	15.2%
会計・経理	35	37	8.3%	8.8%
経営	27	30	6.4%	7.1%
法律	37	43	8.8%	10.2%
経済・金融	41	59	9.8%	14.0%
管理知識(プロジェクトマネジメ)	26	37	6.2%	8.8%
営業・販売関連知識	15	15	3.6%	3.6%
技術(機械)	11	18	2.6%	4.3%
技術(電気・電子・自動車)	25	25	6.0%	6.0%
技術(建築・土木)	7	10	1.7%	2.4%
歴史・文学・哲学・美術	55	40	13.1%	9.5%
数学・物理・化学	37	24	8.8%	5.7%
医療・福祉	43	48	10.2%	11.4%
労働安全・衛生・環境・品質(IS)	18	19	4.3%	4.5%
不動産	12	19	2.9%	4.5%
自社商品知識・社内規定	13	10	3.1%	2.4%
小中高の学校教育科目(国語・	23	10	5.5%	2.4%
その他専門知識(農業・服飾・芽	25	32	6.0%	7.6%
その他	17	16	4.0%	3.8%
n	420	420		

I-2. 今後利用してみたい「eラーニング」の分野〈複数回答可〉

<分類別〉



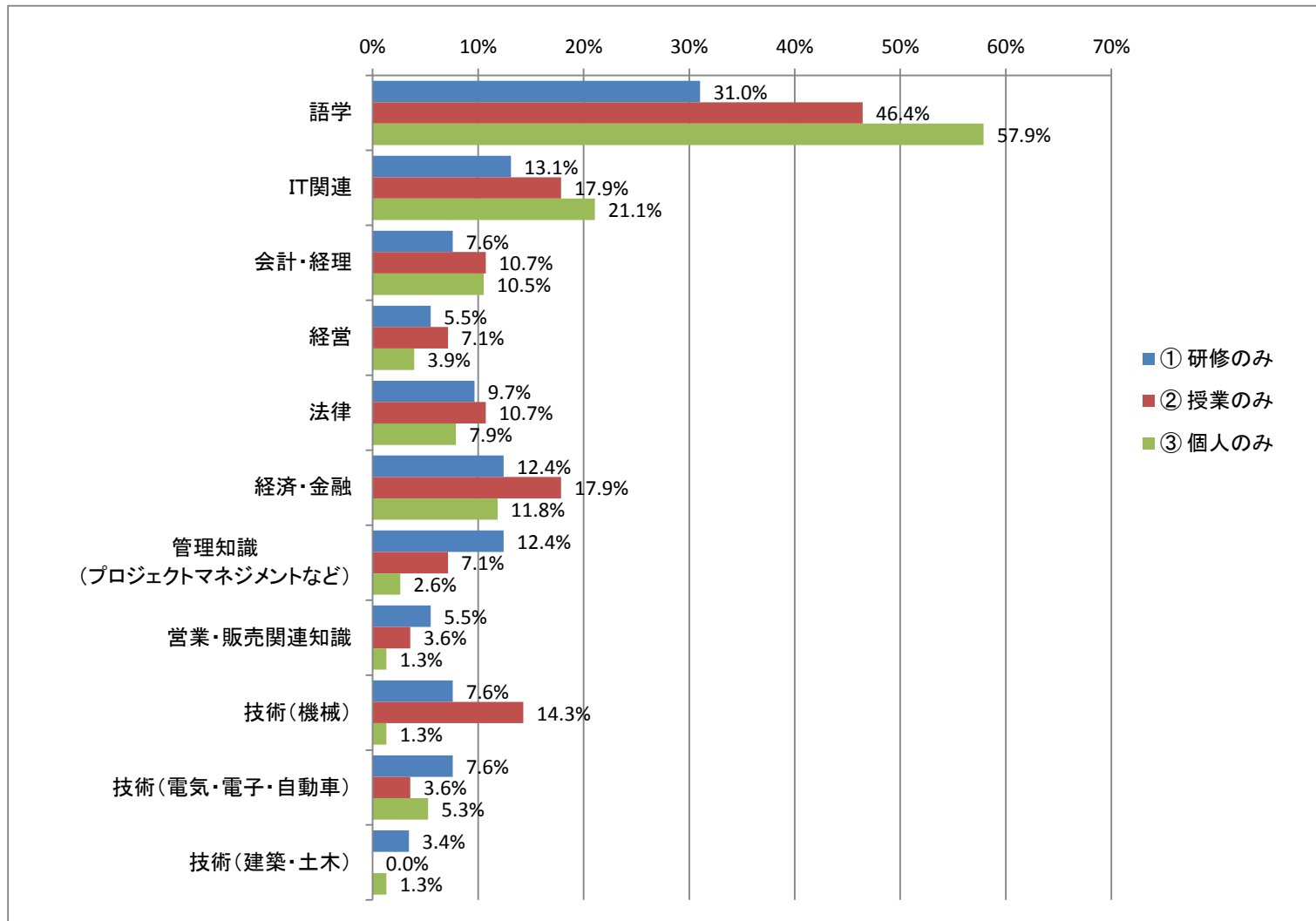
<つづく>  
↓ ↓ ↓



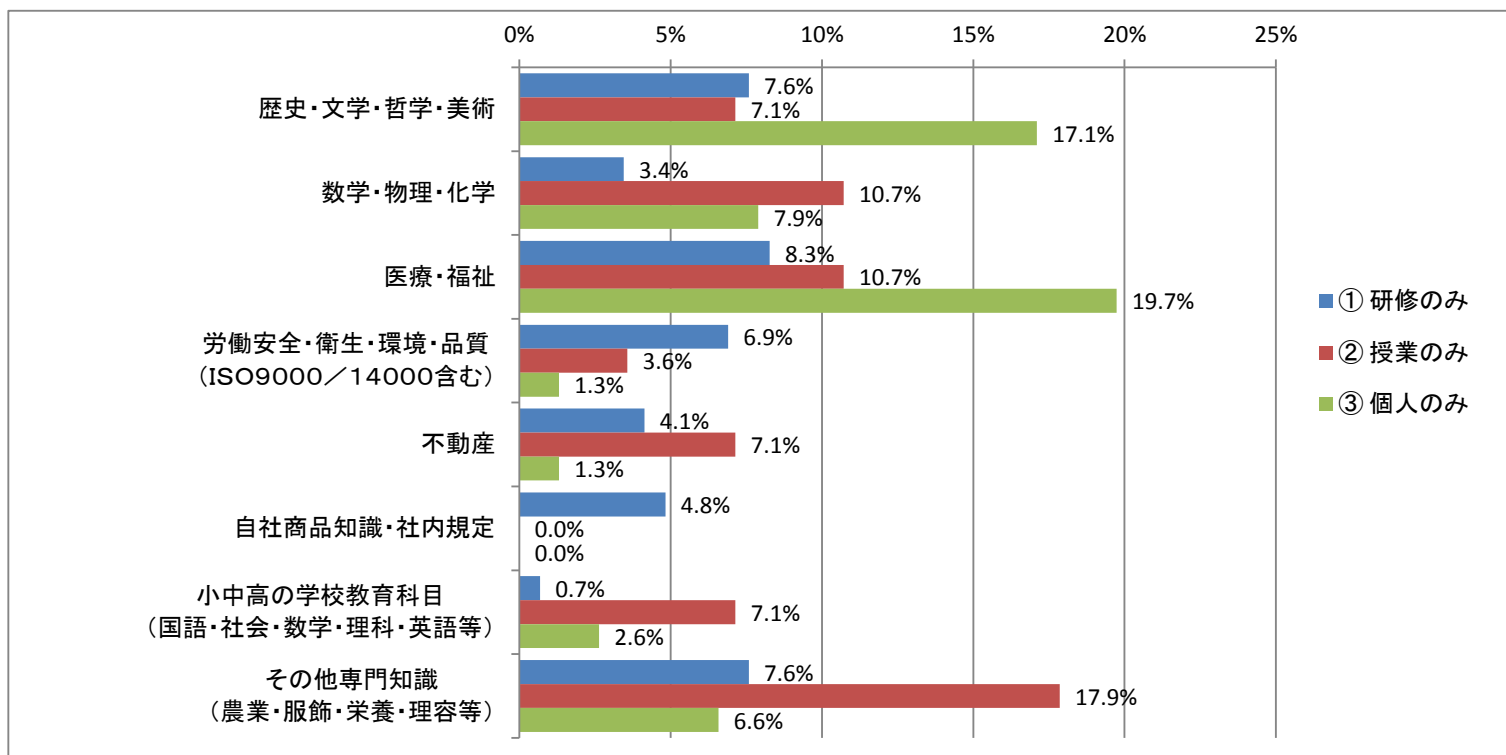
	#					%				
	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)
語学	48	13	34	63	158	35.0%	32.5%	50.0%	36.0%	37.6%
IT関連	26	3	7	24	60	19.0%	7.5%	10.3%	13.7%	14.3%
会計・経理	11	4	3	17	35	8.0%	10.0%	4.4%	9.7%	8.3%
経営	6	7	2	12	27	4.4%	17.5%	2.9%	6.9%	6.4%
法律	11	6	4	16	37	8.0%	15.0%	5.9%	9.1%	8.8%
経済・金融	9	5	4	23	41	6.6%	12.5%	5.9%	13.1%	9.8%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	8	1	3	14	26	5.8%	2.5%	4.4%	8.0%	6.2%
営業・販売関連知識	7	3	1	4	15	5.1%	7.5%	1.5%	2.3%	3.6%
技術(機械)	4	1	3	3	11	2.9%	2.5%	4.4%	1.7%	2.6%
技術(電気・電子・自動車)	9	2	4	10	25	6.6%	5.0%	5.9%	5.7%	6.0%
技術(建築・土木)	0	1	0	6	7	0.0%	2.5%	0.0%	3.4%	1.7%
	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)
歴史・文学・哲学・美術	14	5	17	19	55	10.2%	12.5%	25.0%	10.9%	13.1%
数学・物理・化学	12	3	13	9	37	8.8%	7.5%	19.1%	5.1%	8.8%
医療・福祉	13	4	7	19	43	9.5%	10.0%	10.3%	10.9%	10.2%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	11	0	1	6	18	8.0%	0.0%	1.5%	3.4%	4.3%
不動産	4	0	2	6	12	2.9%	0.0%	2.9%	3.4%	2.9%
自社商品知識・社内規定	7	0	0	6	13	5.1%	0.0%	0.0%	3.4%	3.1%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	2	7	6	8	23	1.5%	17.5%	8.8%	4.6%	5.5%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	7	1	7	10	25	5.1%	2.5%	10.3%	5.7%	6.0%
その他	4	1	2	10	17	2.9%	2.5%	2.9%	5.7%	4.0%
n	137	40	68	175	420					

【2015年度】

<分類別>



<つづく>  
↓ ↓ ↓



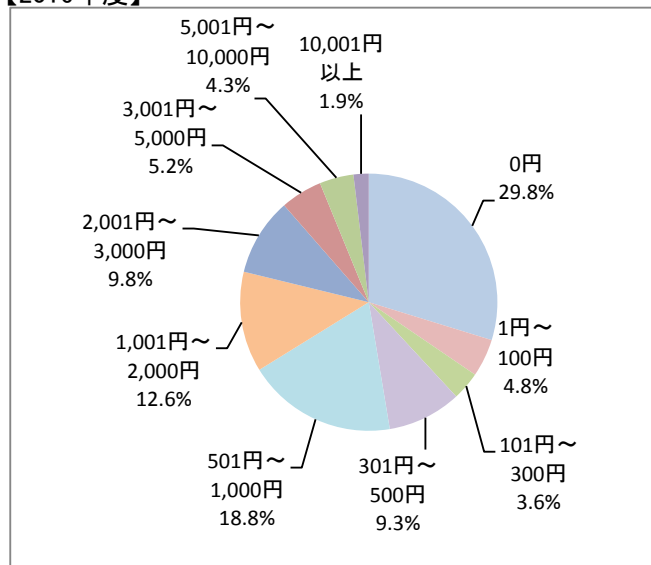


	#					%				
	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)
語学	45	13	44	74	176	31.0%	46.4%	57.9%	43.3%	41.9%
IT関連	19	5	16	24	64	13.1%	17.9%	21.1%	14.0%	15.2%
会計・経理	11	3	8	15	37	7.6%	10.7%	10.5%	8.8%	8.8%
経営	8	2	3	17	30	5.5%	7.1%	3.9%	9.9%	7.1%
法律	14	3	6	20	43	9.7%	10.7%	7.9%	11.7%	10.2%
経済・金融	18	5	9	27	59	12.4%	17.9%	11.8%	15.8%	14.0%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	18	2	2	15	37	12.4%	7.1%	2.6%	8.8%	8.8%
営業・販売関連知識	8	1	1	5	15	5.5%	3.6%	1.3%	2.9%	3.6%
技術(機械)	11	4	1	2	18	7.6%	14.3%	1.3%	1.2%	4.3%
技術(電気・電子・自動車)	11	1	4	9	25	7.6%	3.6%	5.3%	5.3%	6.0%
技術(建築・土木)	5	0	1	4	10	3.4%	0.0%	1.3%	2.3%	2.4%
	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)
歴史・文学・哲学・美術	11	2	13	14	40	7.6%	7.1%	17.1%	8.2%	9.5%
数学・物理・化学	5	3	6	10	24	3.4%	10.7%	7.9%	5.8%	5.7%
医療・福祉	12	3	15	18	48	8.3%	10.7%	19.7%	10.5%	11.4%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	10	1	1	7	19	6.9%	3.6%	1.3%	4.1%	4.5%
不動産	6	2	1	10	19	4.1%	7.1%	1.3%	5.8%	4.5%
自社商品知識・社内規定	7	0	0	3	10	4.8%	0.0%	0.0%	1.8%	2.4%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	1	2	2	5	10	0.7%	7.1%	2.6%	2.9%	2.4%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	11	5	5	11	32	7.6%	17.9%	6.6%	6.4%	7.6%
その他	6	1	3	6	16	4.1%	3.6%	3.9%	3.5%	3.8%
n	145	28	76	171	420					

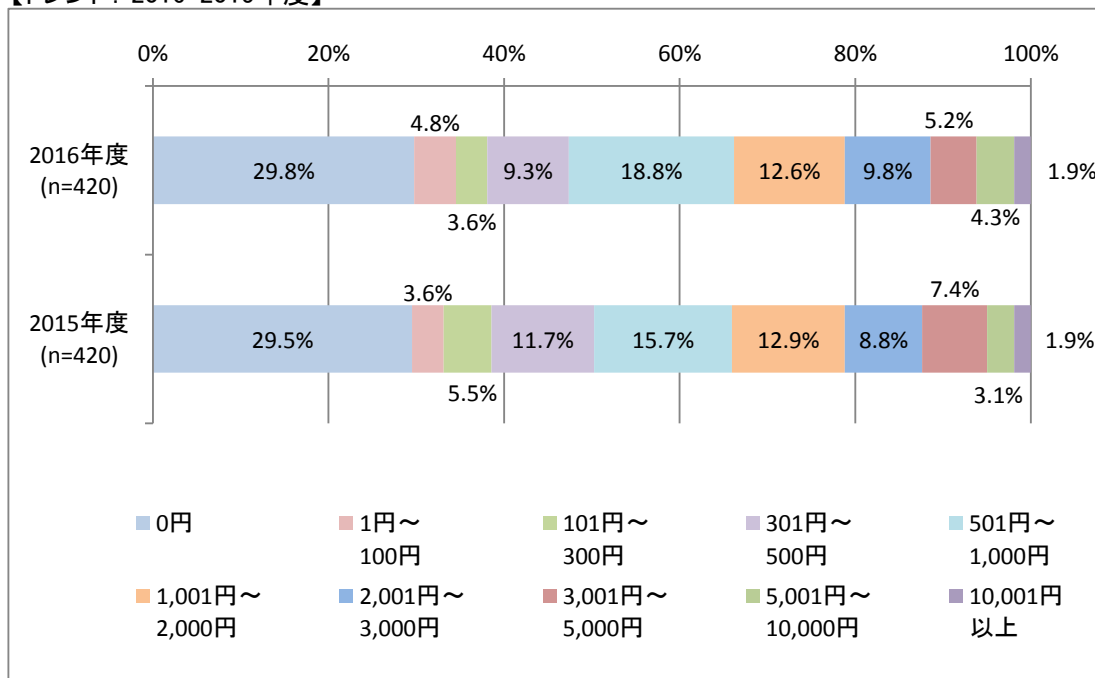
<全員への質問>

J. 今後、個人的に「eラーニング」を利用しようとした場合、支払っても良い月額<択一回答>

【2016年度】



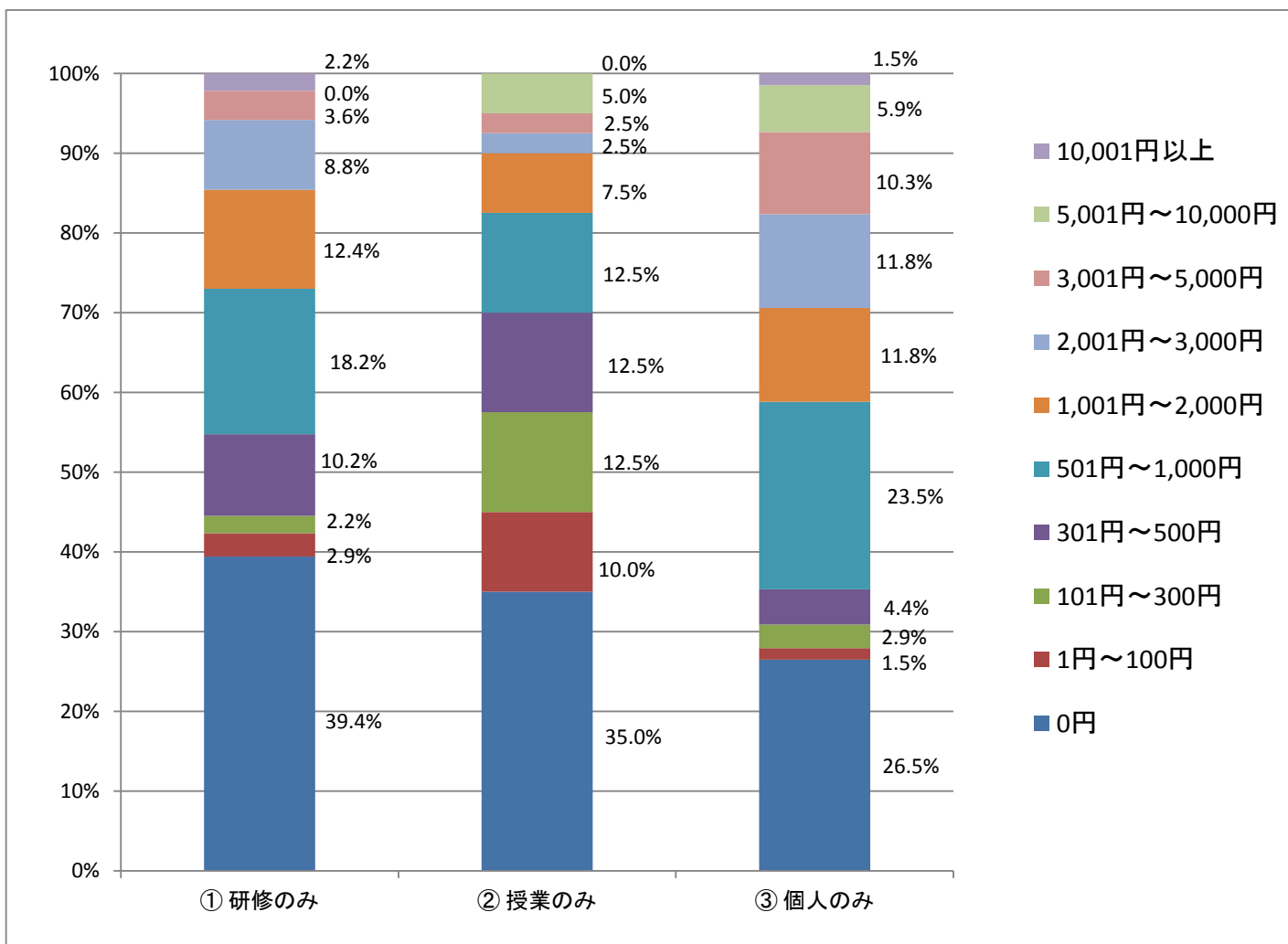
【トレンド：2016-2015年度】



		0円	1円～100円	101円～300円	301円～500円	501円～1,000円	1,001円～2,000円	2,001円～3,000円	3,001円～5,000円	5,001円～10,000円	10,001円以上	計(n)
#	2016年度 (n=420)	125	20	15	39	79	53	41	22	18	8	420
	2015年度 (n=420)	124	15	23	49	66	54	37	31	13	8	420
%	2016年度 (n=420)	29.8%	4.8%	3.6%	9.3%	18.8%	12.6%	9.8%	5.2%	4.3%	1.9%	100.0%
	2015年度 (n=420)	29.5%	3.6%	5.5%	11.7%	15.7%	12.9%	8.8%	7.4%	3.1%	1.9%	100.0%

J-2. 今後、個人的に「eラーニング」を利用しようとした場合、支払っても良い月額〈択一回答〉

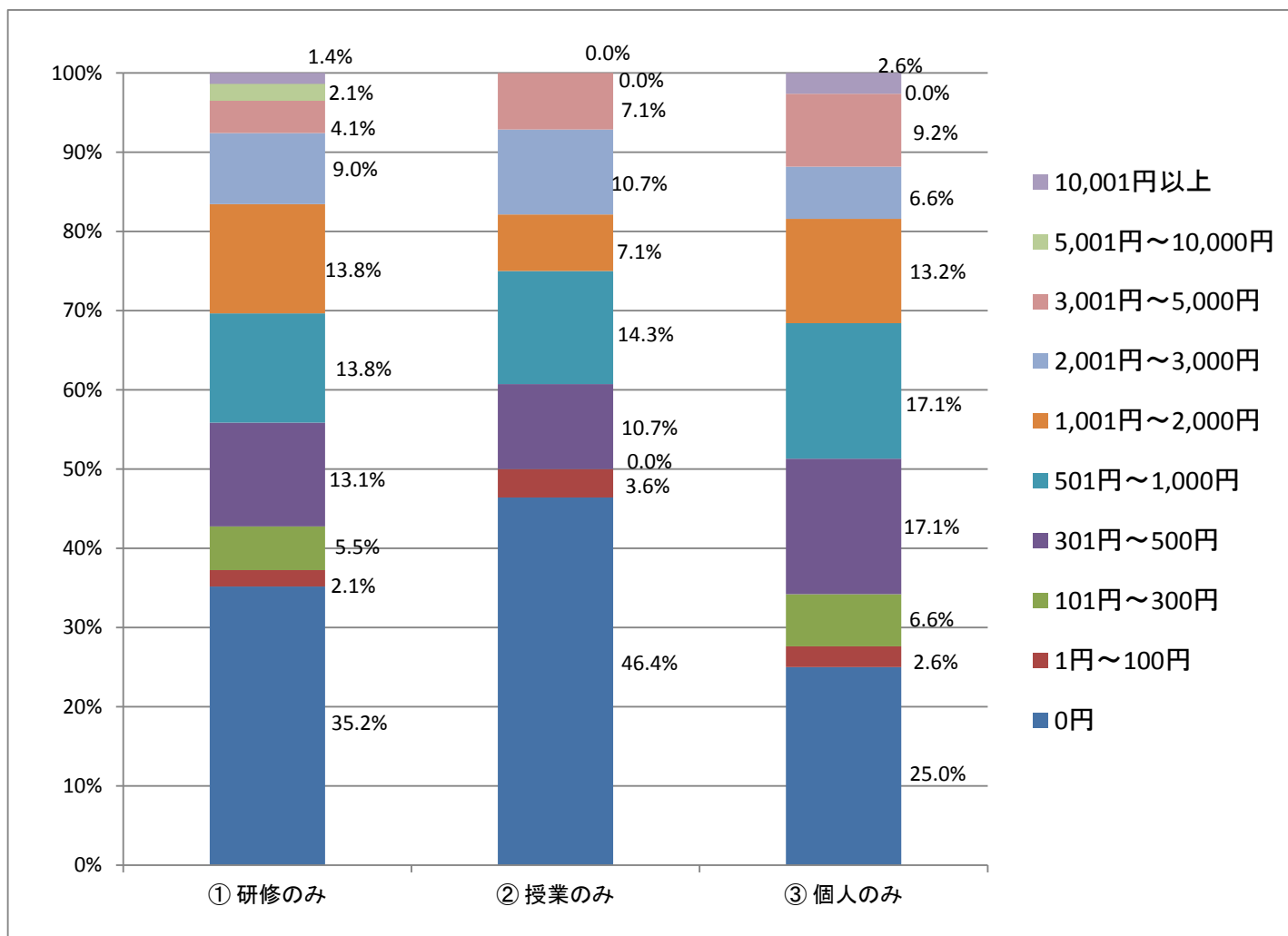
<分類別〉



	#					%				
	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数他	計(全体)	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数他	計(全体)
0円	54	14	18	39	125	39.4%	35.0%	26.5%	22.3%	29.8%
1円～100円	4	4	1	11	20	2.9%	10.0%	1.5%	6.3%	4.8%
101円～300円	3	5	2	5	15	2.2%	12.5%	2.9%	2.9%	3.6%
301円～500円	14	5	3	17	39	10.2%	12.5%	4.4%	9.7%	9.3%
501円～1,000円	25	5	16	33	79	18.2%	12.5%	23.5%	18.9%	18.8%
1,001円～2,000円	17	3	8	25	53	12.4%	7.5%	11.8%	14.3%	12.6%
2,001円～3,000円	12	1	8	20	41	8.8%	2.5%	11.8%	11.4%	9.8%
3,001円～5,000円	5	1	7	9	22	3.6%	2.5%	10.3%	5.1%	5.2%
5,001円～10,000円	0	2	4	12	18	0.0%	5.0%	5.9%	6.9%	4.3%
10,001円以上	3	0	1	4	8	2.2%	0.0%	1.5%	2.3%	1.9%
計(n)	137	40	68	175	420	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【2015年度】

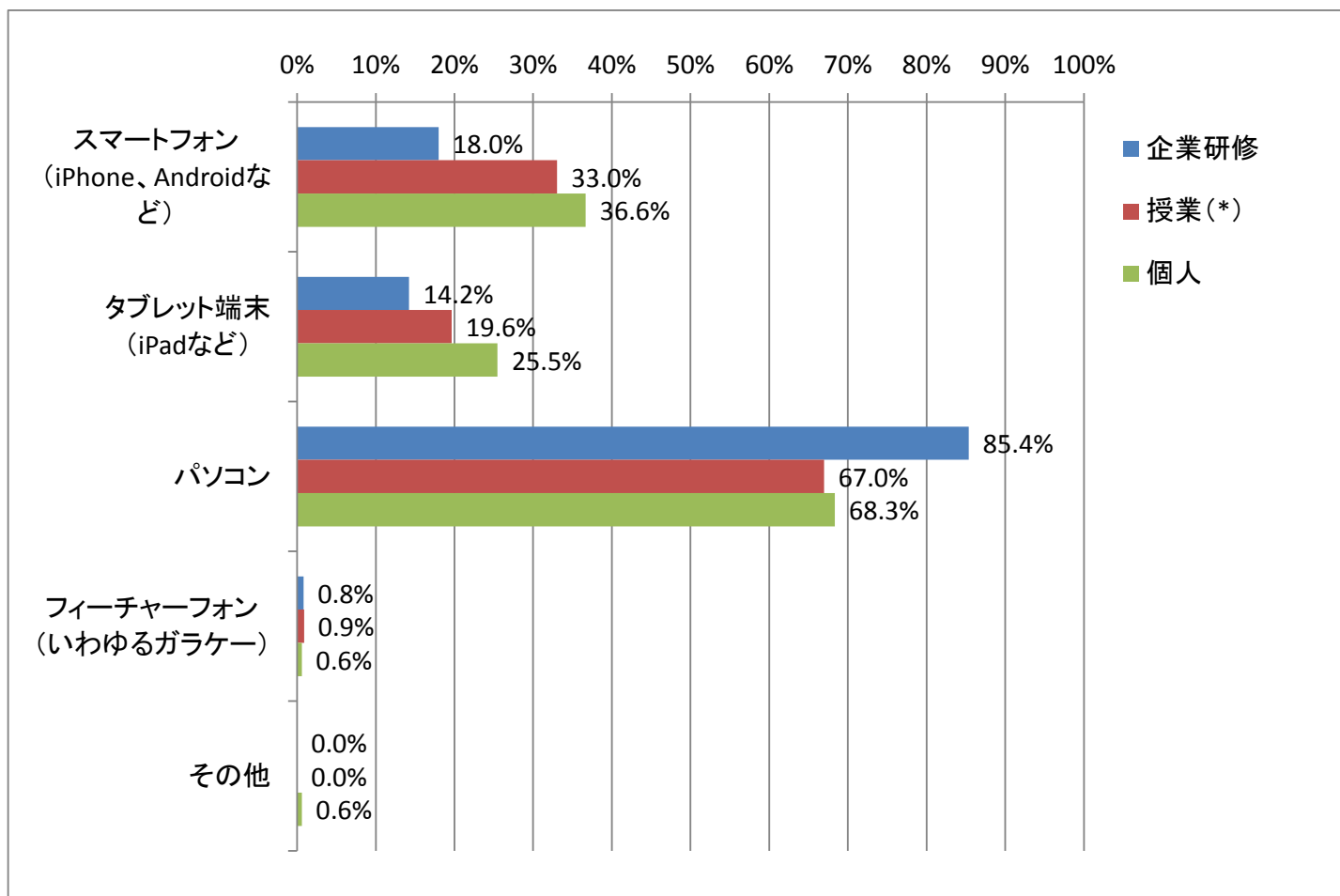
<分類別>



	#					%				
	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)
0円	51	13	19	41	124	35.2%	46.4%	25.0%	24.0%	29.5%
1円～100円	3	1	2	9	15	2.1%	3.6%	2.6%	5.3%	3.6%
101円～300円	8	0	5	10	23	5.5%	0.0%	6.6%	5.8%	5.5%
301円～500円	19	3	13	14	49	13.1%	10.7%	17.1%	8.2%	11.7%
501円～1,000円	20	4	13	29	66	13.8%	14.3%	17.1%	17.0%	15.7%
1,001円～2,000円	20	2	10	22	54	13.8%	7.1%	13.2%	12.9%	12.9%
2,001円～3,000円	13	3	5	16	37	9.0%	10.7%	6.6%	9.4%	8.8%
3,001円～5,000円	6	2	7	16	31	4.1%	7.1%	9.2%	9.4%	7.4%
5,001円～10,000円	3	0	0	10	13	2.1%	0.0%	0.0%	5.8%	3.1%
10,001円以上	2	0	2	4	8	1.4%	0.0%	2.6%	2.3%	1.9%
計(n)	145	28	76	171	420	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

K. 企業研修、授業、個人の比較 — 利用した/利用している「eラーニング」

K-① 「eラーニング」のデバイス〈複数回答可〉



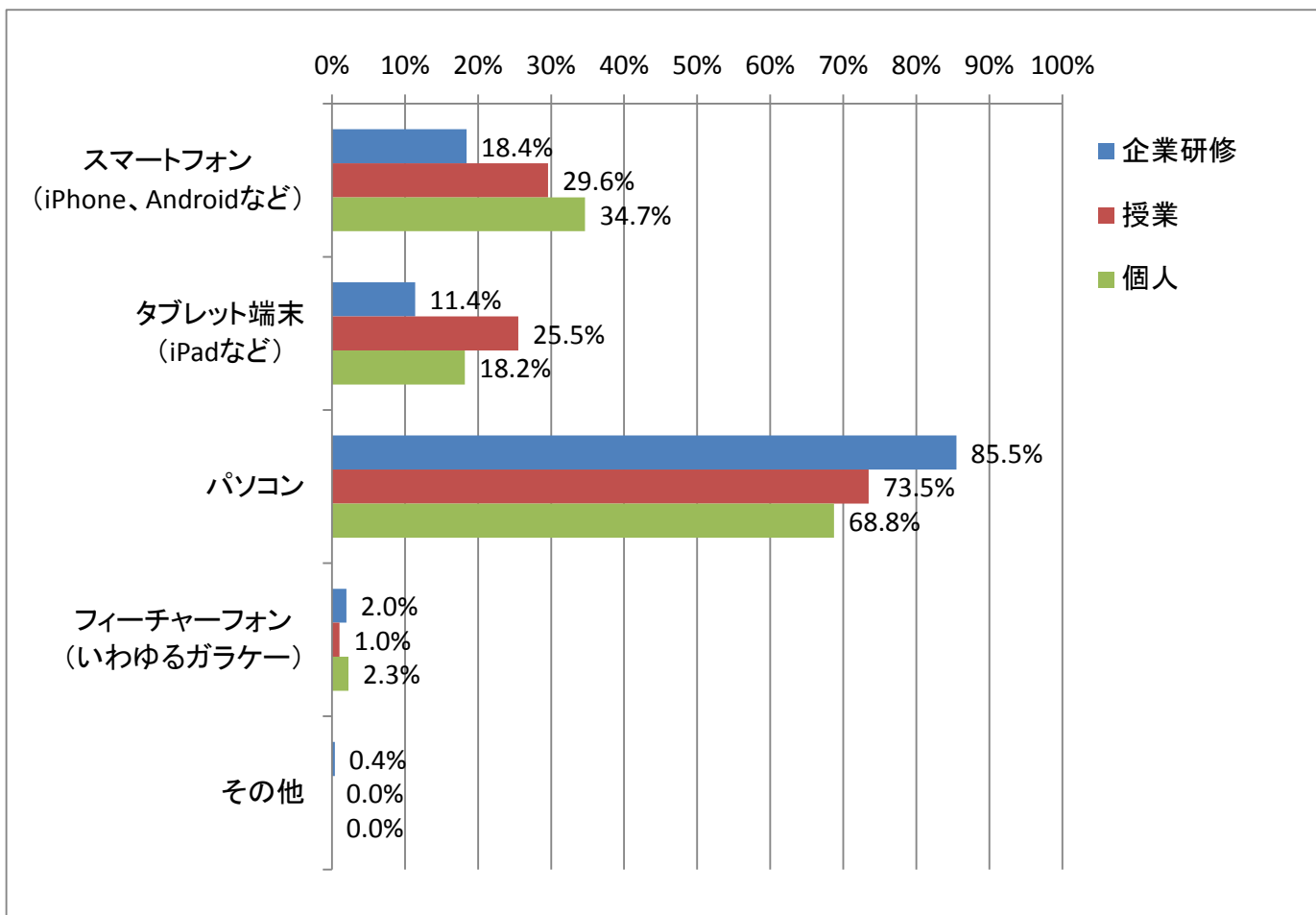
\* 高校や大学、専門学校など(以下同様)

#		企業研修	授業(*)	個人
		n=239	n=112	n=161
	スマートフォン (iPhone、Androidなど)	43	37	59
	タブレット端末 (iPadなど)	34	22	41
	パソコン	204	75	110
	フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	2	1	1
	その他	0	0	1
%		企業研修	授業(*)	個人
	スマートフォン (iPhone、Androidなど)	18.0%	33.0%	36.6%
	タブレット端末 (iPadなど)	14.2%	19.6%	25.5%
	パソコン	85.4%	67.0%	68.3%
	フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	0.8%	0.9%	0.6%
	その他	0.0%	0.0%	0.6%

\* 高校や大学、専門学校など(以下同様)

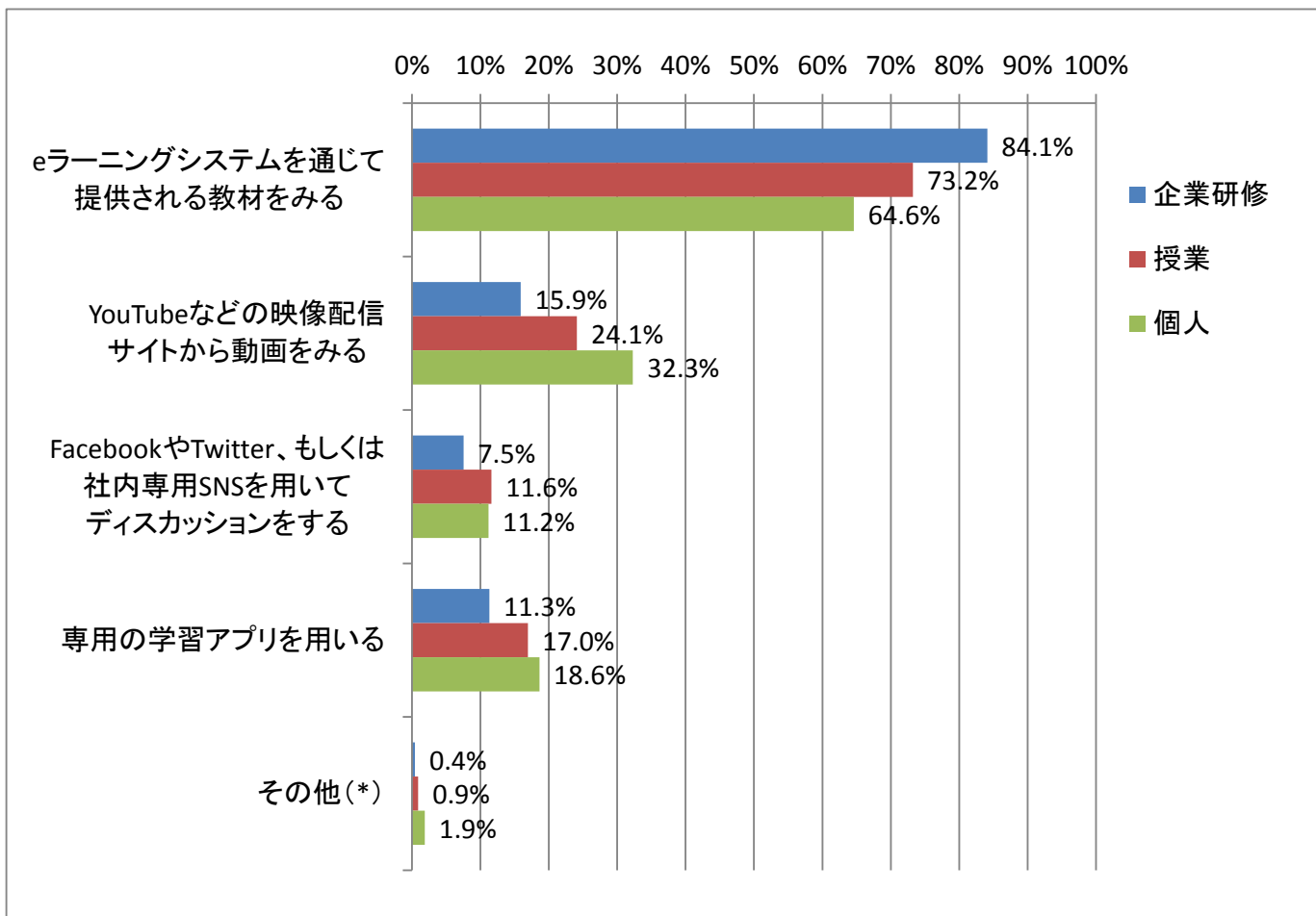


【2015年度】



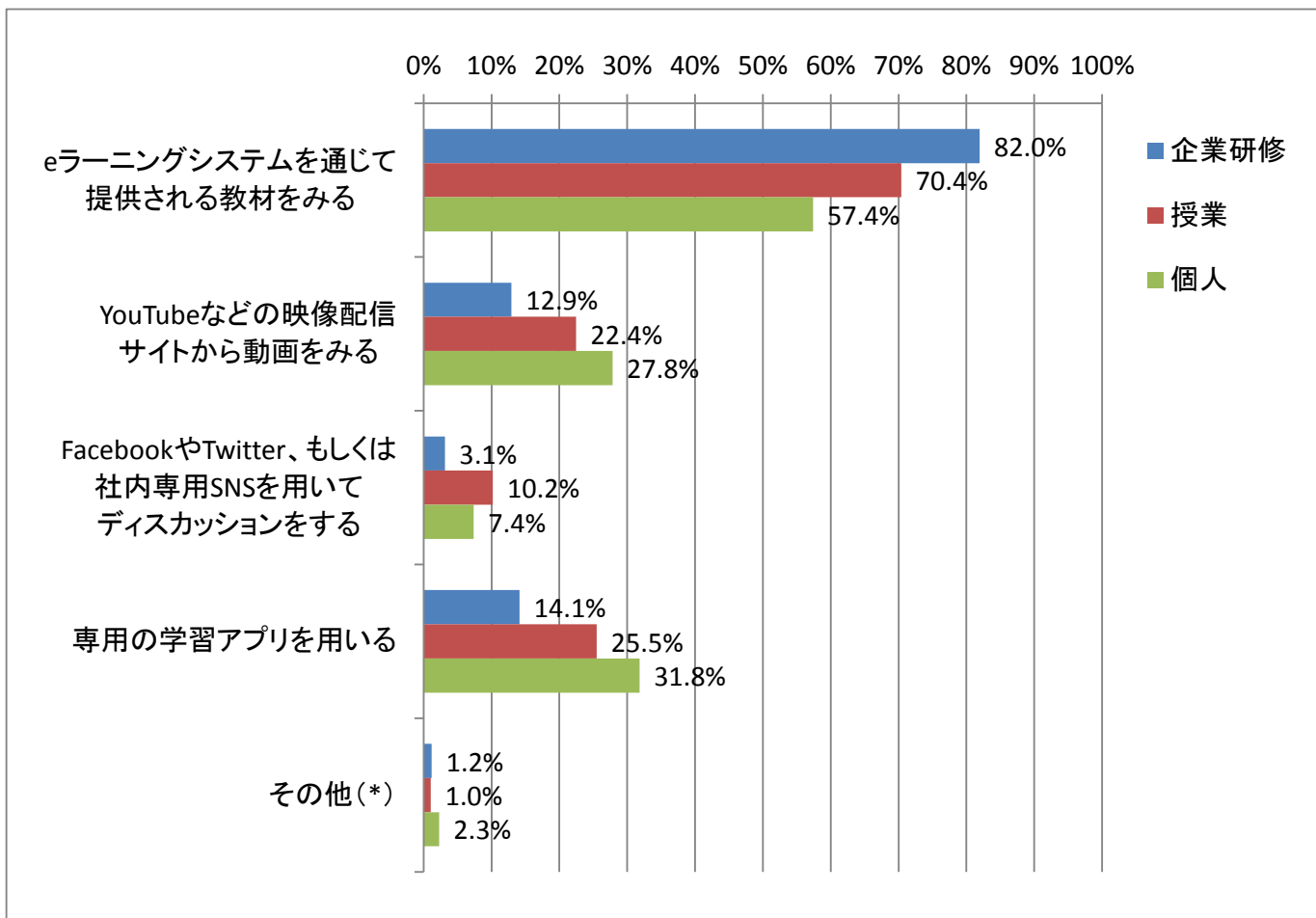
#		企業研修	授業	個人
		n=255	n=98	n=176
	スマートフォン (iPhone、Androidなど)	47	29	61
	タブレット端末 (iPadなど)	29	25	32
	パソコン	218	72	121
	フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	5	1	4
	その他	1	0	0
%		企業研修	授業	個人
	スマートフォン (iPhone、Androidなど)	18.4%	29.6%	34.7%
	タブレット端末 (iPadなど)	11.4%	25.5%	18.2%
	パソコン	85.5%	73.5%	68.8%
	フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	2.0%	1.0%	2.3%
	その他	0.4%	0.0%	0.0%

K-②「eラーニング」の方法〈複数回答可〉



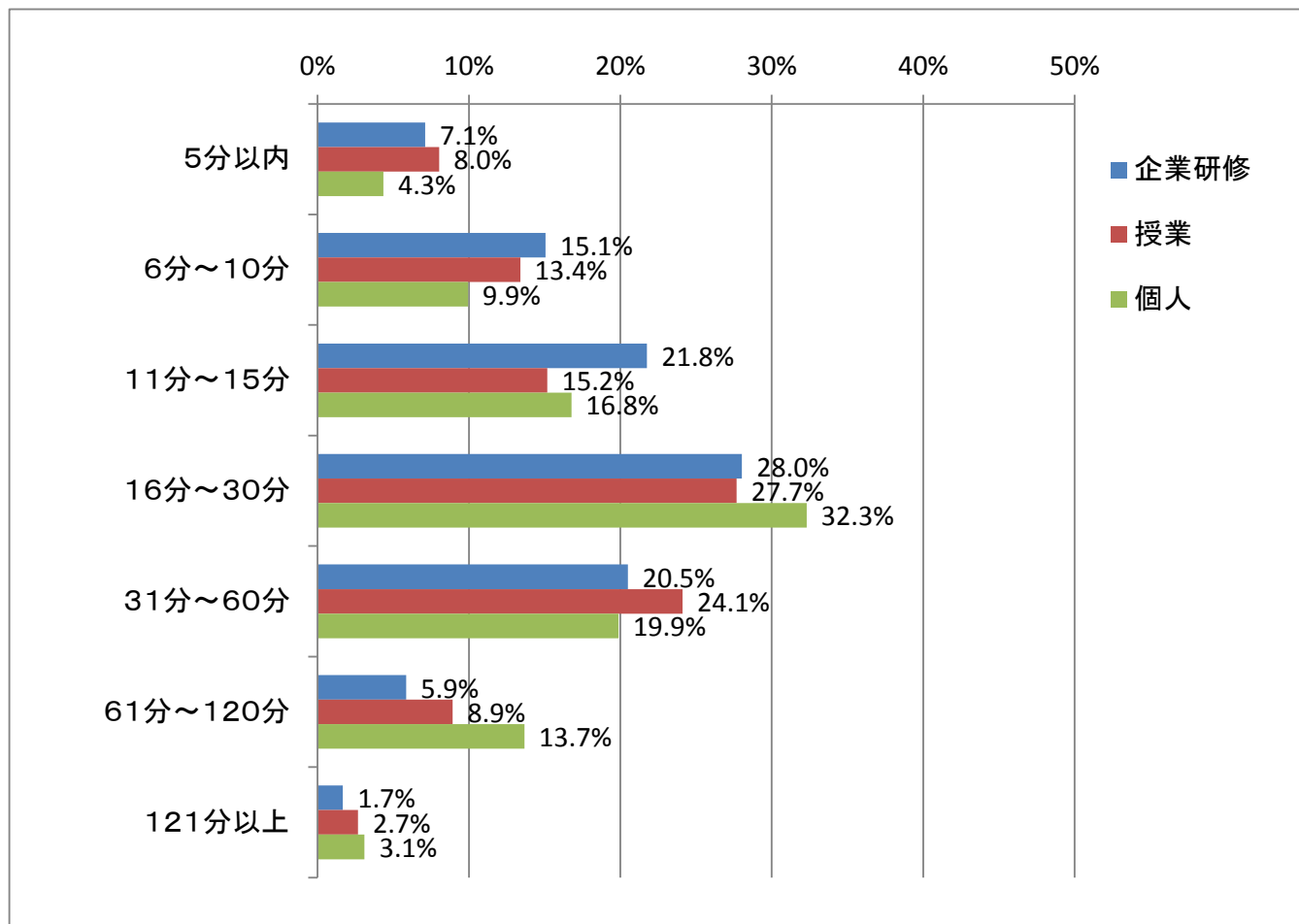
		企業研修	授業	個人
		n=239	n=112	n=161
#	eラーニングシステムを通じて提供される教材をみる	201	82	104
	YouTubeなどの映像配信サイトから動画をみる	38	27	52
	FacebookやTwitter、もしくは社内専用SNSを用いてディスカッションをする	18	13	18
	専用の学習アプリを用いる	27	19	30
	その他(*)	1	1	3
		企業研修	授業	個人
%	eラーニングシステムを通じて提供される教材をみる	84.1%	73.2%	64.6%
	YouTubeなどの映像配信サイトから動画をみる	15.9%	24.1%	32.3%
	FacebookやTwitter、もしくは社内専用SNSを用いてディスカッションをする	7.5%	11.6%	11.2%
	専用の学習アプリを用いる	11.3%	17.0%	18.6%
	その他(*)	0.4%	0.9%	1.9%

【2015年度】



		企業研修	授業	個人
		n=255	n=98	n=176
#	eラーニングシステムを通じて 提供される教材をみる	209	69	101
	YouTubeなどの映像配信 サイトから動画をみる	33	22	49
	FacebookやTwitter、もしくは 社内専用SNSを用いて ディスカッションをする	8	10	13
	専用の学習アプリを用いる	36	25	56
	その他(*)	3	1	4
		企業研修	授業	個人
%	eラーニングシステムを通じて 提供される教材をみる	82.0%	70.4%	57.4%
	YouTubeなどの映像配信 サイトから動画をみる	12.9%	22.4%	27.8%
	FacebookやTwitter、もしくは 社内専用SNSを用いて ディスカッションをする	3.1%	10.2%	7.4%
	専用の学習アプリを用いる	14.1%	25.5%	31.8%
	その他(*)	1.2%	1.0%	2.3%

K-③ 「eラーニング」の1度の利用時間 <択一回答>



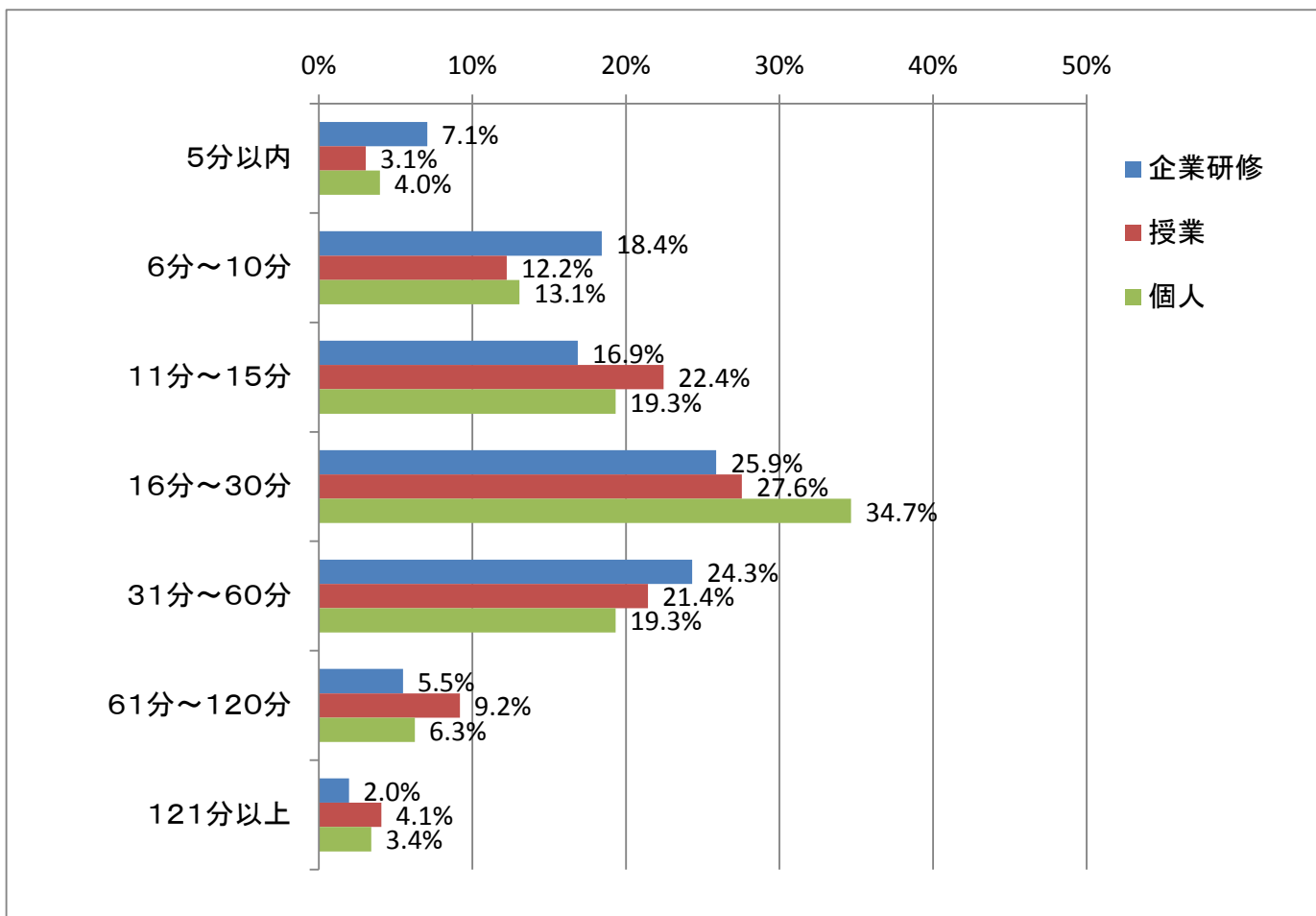
#		企業研修	授業	個人
	5分以内	17	9	7
6分～10分	36	15	16	
11分～15分	52	17	27	
16分～30分	67	31	52	
31分～60分	49	27	32	
61分～120分	14	10	22	
121分以上	4	3	5	
計(n)	239	112	161	

#		企業研修	授業	個人
	5分以内	7.1%	8.0%	4.3%
6分～10分	15.1%	13.4%	9.9%	
11分～15分	21.8%	15.2%	16.8%	
16分～30分	28.0%	27.7%	32.3%	
31分～60分	20.5%	24.1%	19.9%	
61分～120分	5.9%	8.9%	13.7%	
121分以上	1.7%	2.7%	3.1%	
計(n)	100.0%	100.0%	100.0%	

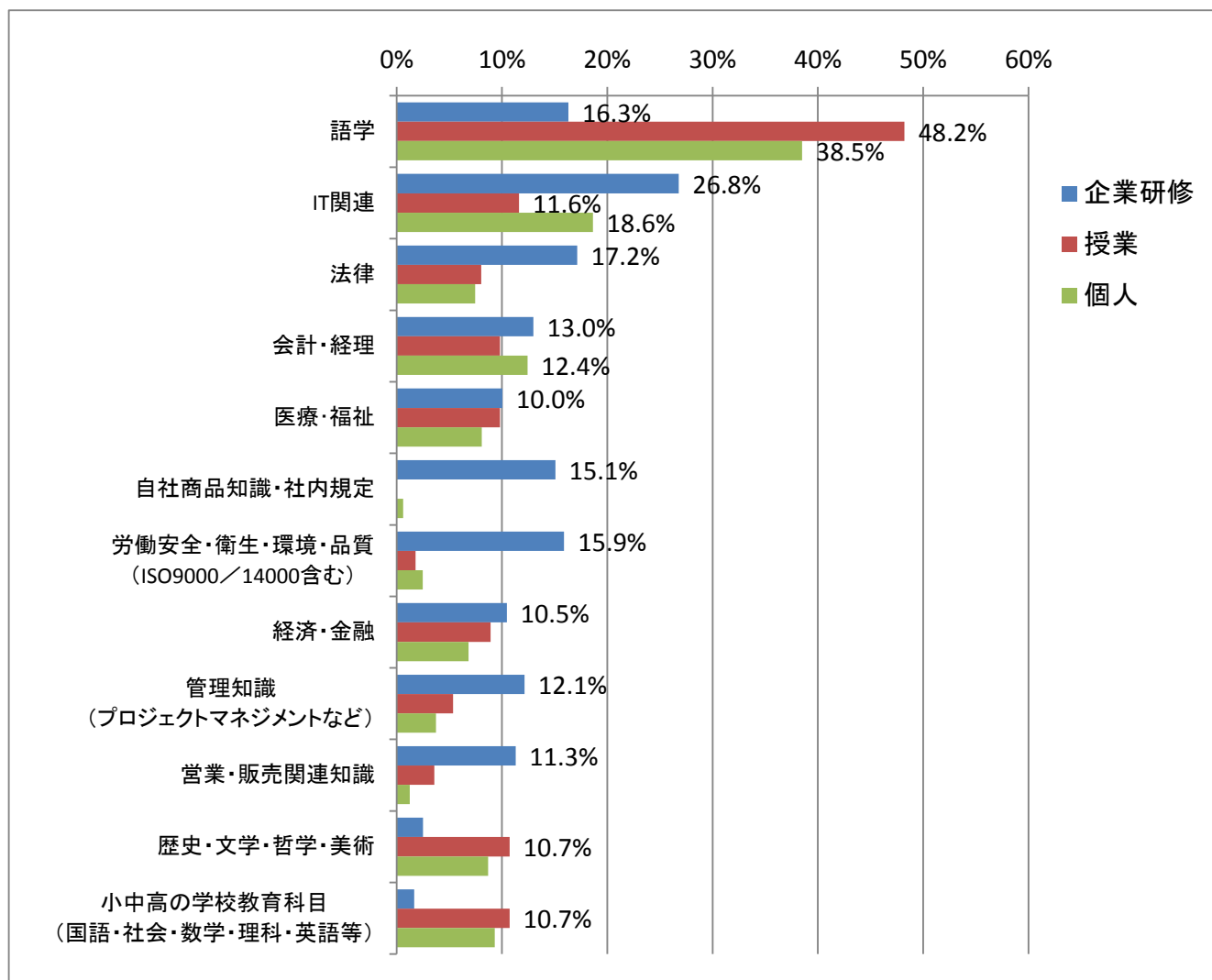


【2015年度】



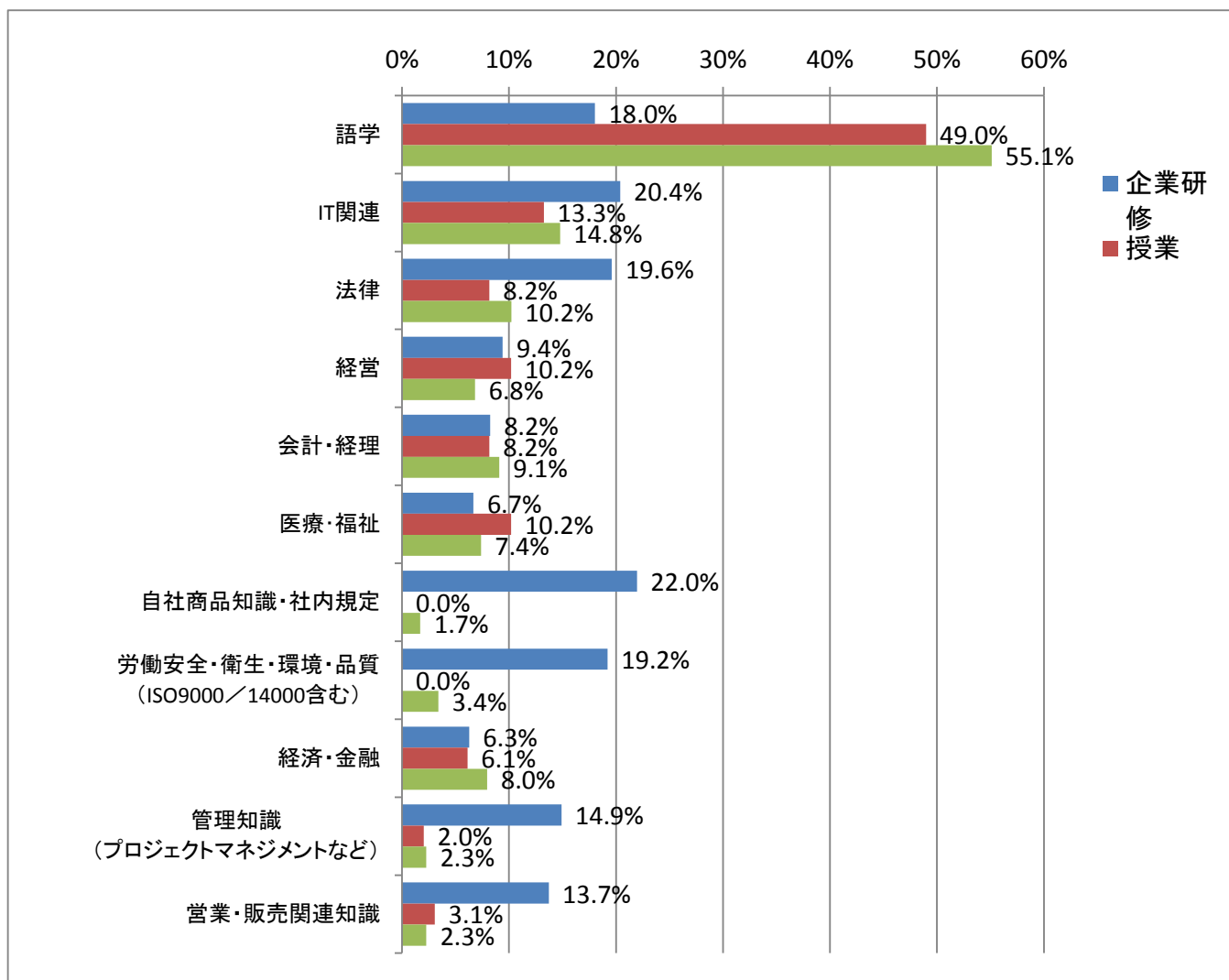
#		企業研修	授業	個人
	5分以内	18	3	7
6分～10分	47	12	23	
11分～15分	43	22	34	
16分～30分	66	27	61	
31分～60分	62	21	34	
61分～120分	14	9	11	
121分以上	5	4	6	
	計(n)	255	98	176
%		企業研修	授業	個人
	5分以内	7.1%	3.1%	4.0%
6分～10分	18.4%	12.2%	13.1%	
11分～15分	16.9%	22.4%	19.3%	
16分～30分	25.9%	27.6%	34.7%	
31分～60分	24.3%	21.4%	19.3%	
61分～120分	5.5%	9.2%	6.3%	
121分以上	2.0%	4.1%	3.4%	
	計(n)	100.0%	100.0%	100.0%

K-④ 「eラーニング」の学習分野 <複数回答可>  
 (企業研修、授業、個人のいずれかが10%超え)



	#			%		
	企業研修	授業	個人	企業研修	授業	個人
	n=239	n=112	n=161			
語学	39	54	62	16.3%	48.2%	38.5%
IT関連	64	13	30	26.8%	11.6%	18.6%
法律	41	9	12	17.2%	8.0%	7.5%
会計・経理	31	11	20	13.0%	9.8%	12.4%
医療・福祉	24	11	13	10.0%	9.8%	8.1%
自社商品知識・社内規定	36	0	1	15.1%	0.0%	0.6%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	38	2	4	15.9%	1.8%	2.5%
経済・金融	25	10	11	10.5%	8.9%	6.8%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	29	6	6	12.1%	5.4%	3.7%
営業・販売関連知識	27	4	2	11.3%	3.6%	1.2%
歴史・文学・哲学・美術	6	12	14	2.5%	10.7%	8.7%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	4	12	15	1.7%	10.7%	9.3%
数学・物理・化学	7	11	11	2.9%	9.8%	6.8%
経営	20	9	10	8.4%	8.0%	6.2%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	12	1	8	5.0%	0.9%	5.0%
技術(建築・土木)	4	1	2	1.7%	0.9%	1.2%
技術(電気・電子・自動車)	9	5	4	3.8%	4.5%	2.5%
技術(機械)	10	3	2	4.2%	2.7%	1.2%
不動産	1	1	3	0.4%	0.9%	1.9%
その他	12	3	6	5.0%	2.7%	3.7%

【2015年度】



	#			%		
	企業研修	授業	個人	企業研修	授業	個人
	n=255	n=98	n=176			
語学	46	48	97	18.0%	49.0%	55.1%
IT関連	52	13	26	20.4%	13.3%	14.8%
法律	50	8	18	19.6%	8.2%	10.2%
経営	24	10	12	9.4%	10.2%	6.8%
会計・経理	21	8	16	8.2%	8.2%	9.1%
医療・福祉	17	10	13	6.7%	10.2%	7.4%
自社商品知識・社内規定	56	0	3	22.0%	0.0%	1.7%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	49	0	6	19.2%	0.0%	3.4%
経済・金融	16	6	14	6.3%	6.1%	8.0%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	38	2	4	14.9%	2.0%	2.3%
営業・販売関連知識	35	3	4	13.7%	3.1%	2.3%
歴史・文学・哲学・美術	3	7	11	1.2%	7.1%	6.3%
数学・物理・化学	2	7	8	0.8%	7.1%	4.5%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	4	7	6	1.6%	7.1%	3.4%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	6	4	5	2.4%	4.1%	2.8%
技術(建築・土木)	8	4	2	3.1%	4.1%	1.1%
技術(電気・電子・自動車)	8	2	5	3.1%	2.0%	2.8%
技術(機械)	6	1	4	2.4%	1.0%	2.3%
不動産	3	0	2	1.2%	0.0%	1.1%
その他	14	1	5	5.5%	1.0%	2.8%